

## 保險業法改正法律案委員會議錄(記)第八回

付託議案  
保險業法改正法律案(政府提出)

(二六一)

昭和十四年三月七日(火曜日)午前十時二十  
九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 田中 亮一君

理事寺島 権藏君 理事木村 淳七君

理事金澤 正雄君 理事西川 貞一君

松田 正一君 服部 英明君

紅露 昭君 田尻 生五君

玉野 知義君 小池 四郎君

中村 高一君 田川大吉郎君

同月六日委員三木武夫君辭任ニ付其ノ補闕  
トシテ田川大吉郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ  
出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 松村 光三君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

陸軍政務次官 西村 茂生君

司法政務次官 司法政務次官 倉元 要一君

商工參與官 商工政務次官 今井 健彦君

商工省保險局長 牧 利吉君

拓務政務次官 厚生政務次官 寺田 市正君

保險院長官 保険院長官 進藤 誠一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如  
シ

大藏書記官 山口 喬君

保險事務官 吉岡千代三君

保險書記官 喬君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
保険業法改正法律案(政府提出)○田中委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、中  
村高一君ニ發言ヲ許シマス○中村委員 私ノ先づ第一ニ御尋ラシテ置  
キタインハ、政府ハ本保険業法改正案ヲ提  
案セラルニ至リマシタノハ、無論保険業法ニ對シマシテノ現在ノ色々ノ缺點ヲ是正  
スルト云フ目的ニアルト思フノデアリマシ  
テ、商工大臣ノ提案ノ説明ナドヲ見マシテモ、既ニ保険業法ガ制定ヲセラレマシテカ  
ラ四十年以上モ經ツタ今日ノ状態ニ於キマ  
シテ、明治三十三年當時ニ制定セラレタ保

險業法ガ土臺ニナツテ居リマシテ、其ノ間

日本ノ國內ニ於キマシテノ各般ノ進歩ト云  
フヤウナモノカラ考ヘテ見マスルナラバ、  
モツト早ク保険業法ト云フモノガ改正ヲセラレナケレバナラヌ時期ニ到達シテ居ツタ  
ト吾々ハ考ヘルノデアリマス、本會議ニ於

ノ言明ニ對シテ非常ニ感謝ヲシテ、度々御

禮ノ言葉ヲ申上ゲテ居ツタヤウデアリマス、  
是ハ私ハ業界ノ方面ヲ中心トシテノ御意見カドウカト云フ點ニ付テモ、多クノ同僚諸  
君、委員諸君カラ色々質問ヲセラレテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ質問ノ中ニ現ハレ  
テ居ル點ニ付テ、モウ一度御聽キ致シテ置キタインハ、保険業法ノ國營ニ關スル問題  
デアリマス、是ハ度々政府ノ御意見ヲ拜聽致シマシタカラ、重ネテ其ノ點ニ付テ聽力  
ウトスルノデハアリマセヌガ、國營問題ニモ拘ラズ、是ガ實施ヲサレテモ直チニサ  
ト云フコトニ著手スル意思ガナイト云フコ  
トヲ言ハレテ居ルノヲ、私ハ甚ダ遺憾ニ思トナ考ヲ以テ、此ノ法案ヲ提案サレテ居ルノ  
トカ、或ハ經營ノ合理化ヲシヨウト云フヤウ  
ダト思フノデアリマスルガ、政府ハ今日保  
險業法ヲ改正シテ溢立——更ニ不當ナ競争  
ヲ致シテ居リマスル今日ノ會社ヲ整理スル

方ガ宜イノデハナイカ、唯弱小會社ノ整理ト云フコトデ、一々會社ノ名前ナドニ及ブト云フコトデアリマスレバ、是ハ無論避ケナケレバナラヌト思ヒマスガ、先日來ノ政府ノ意見ヲ聞イテ居リマスト、現在色々ナ弊害ノアルコトハ認メテ居リナガラ、直チニ會社ノ整理トカ、或ハ併合トカ云フコトニ付テハ、極メテ臆病ナ答辯ヲ致シテ居ルノデアリマス、折角政府ガ斯ウ云フ法案ヲ出スカラニハ、モウ今日デハ思ヒ切ソテ事業ノ整備ヲスル必要ガアル時ニ迫ツテ居ルノデアリマスカラ、モウ少シ大膽ニ政府ノ御意見ヲ御伺致シタイト思フノデアリマス○牧政府委員 今回提出シマシタ法律案ノ改正ノ主眼點ハ、此ノ委員會ヲモ申上げマシタ通り、現在ノ保險事業ニ色々弊害ガアリマス、ソレハ軽テハ業績ヲ悪化セシムル弊害デアリマスガ、ソレ等ノ弊害ガ澤山ゴザイマスコトハ、此ノ委員會デ稍、詳細ニ述べタ通リデザイマス、是等ノ弊害ヲ除考ヘルノデアリマス、サウ云フ意味カラ考務デアルコトハ、御諒解ニ相成ツタコトトキ、業績ノ向上ヲセシムルコトガ當面ノ急ヘマスト、現行法ハ甚ダ不備デアリマス、ソレ等ノ點ヲ一々擧ゲマシテ、之ヲ指導シ監督シテ行クコトガ出來ナイノデアリマス、

サウ云フ意味ニ於キマシテ、先ヅ監督規定ヲ整備充實スルト云フコトニ主眼點ヲ置イタノデアリマス、然ルニソレ等ノ監督規定ガ整備サレマシテ、是ノ運用ニ依ツテ各保険會社ノ業績ノ向上ヲ圖ルコトニ努メマスト。ト雖モ、從來ノ經驗カラ申シマスト、財界ノ變動等ニ因リマシテ、非常ニ思ハザル業績ノ悪化ヲ來スヤウナ場合ガアルノデアリマス、善導スレバサウ云フ場合ニモ堪へ得ルヤウナモノニナラナクハナラナイノデアリマスガ、從來ノ經驗カラ見マスルト、理窟ハ兎モ角ト致シマシテ、サウ云フモノヲジタ場合ニ於キマシテ、出來ルダケ契約ノ現狀ヲ維持シマシテ、是等ノモノヲ保護スルコトガ保険監督ノ要諦ニアラウカト考ヘラレルノデアリマス、如何ニシテモ保険契約者ニ迷惑ヲ掛けテ整理シタノデハ、意味ヲ成サナイヤウニ考ヘマス、如何ナル場合ニ立至リマシテモ現在契約ハ其ノ儘維持セラレルコトガ、保険業ニ對スル總テノ處置隨テ若シ萬一サウ云フ狀態ヲ生ジタル場合ニ於キマシテモ、保険契約者ニ安心ノ行クヤウニ、契約ノ移轉デゴザイマストカ、會社ノ管理デゴザイマストカ、サウ云フコトニ

依ツテ先ツ第一ニ、サウ云フ狀態ヲ救濟スルニ努メヨウト云フノガ、法律ノ趣旨デゴザイマス、從來ノ現行法ニ於キマシテハ、云フ場合ニ處スル所ノ法律上ノ手段ガゴザ非常ニ其ノ點ガ不備デゴザイマシタ、サウシテ居ルコトハ、當委員會デ詳シク申上げタコトニ依ツテ御諒承ノ通リデアリマスガ、サウ云フ場合ニ處スル爲ノ方法ヲ備ヘル、謂ハバ豫メ備フル所アツテ今申上ゲタヤウナ狀態ガ生ジタ時ニ、之ヲ救濟スルノニ、手際好ク契約者ニ迷惑ヲ及ボサナイヤニシテモ、圓滿ニ契約者保護ノ方法ヲ講ズルト云フコトカラ考ヘマシテモ、積極的ニ會社ヲ整理スルト云フガ如キコトハ、經驗カラ見マスルト、非常ニ契約者ニ不利益ヲ與ヘル結果ニナルノデゴザイマス、保險監督ノ要諦ハ如何ニシテモ現在契約者ノ保護ヲ全カラシメヨウト云フノニアルヤニ、吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、積極的ニ整理スルト云フコトハ非常ナル不安ヲ與ヘ、解約、失效等ヲ續出セシメマシテ、多數ノ民衆ニ非常ナ不利益ヲ與ヘルカノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、隨テサウ云フコト

ヲ積極的ニヤル、殊ニ多數ノ會社ニ當ツテ  
サウ云フコトヲヤルガ如キハ、執ルベキ策  
デナイヤウニ考ヘルノデゴザイマス、實ハ  
傳ハリマシテ、要綱等ノ發展ヲ致シマシタ  
コトニ依リマシテ、或ハ爲ニスル人モアリ  
マシテ、色々ナ流説ガ廣マツタノデゴザイ  
マス、其ノ擴マツタ流説ニ依リマシテ、相  
當ノ惡影響ヲ及ボシテ居ルヤウニ私共ハ感  
ジテ居ル、是等ノ事實カラモ推シマシテ、  
多數ノ會社ヲ積極的ニ整理スルト云フガ如  
キコトハ、執ルベキ策デナイヤウニ考ヘル  
ノデゴザイマス、サウ云フ意味デゴザイマ  
シテ、別段法律ノ立法趣旨カラ申シマシテ  
モ、今マデ申上ゲタヤウナコトニ喰違ガナ  
イノミナラズ、保險會社ノ現狀カラ見マシ  
テモ、今整理シテサウシテ其ノ會社トノ契  
約ヲ何處カニ移ストカ、何トカシナクテハ  
ナラヌト云フヤウナ會社ガアル譯デハゴザ  
イマセヌカラ、實質上ノ點カラ見マシテモ  
サウ云フコトヲスル必要ハ、現在ニ於テハ  
ナカラウカト考ヘテ居ル次第ゴザイマス  
○中村委員 只今ノ御話ニ依リマスルト、  
積極的ニ會社ヲ合併スルトカ、或ハ其ノ他  
管理ヲ命令スルトカ、サウ云フヤウナコト  
ハシナイト云フ御言葉デアリマスルガ、若シ

業界ヲ刺戟スルコトガ、結果ニ於テ保険契約者ニ色々ナ不安ナドヲ與ヘタリナンカスルカラ、イケナイト云フコトヲ言ハレルノデアリマスガ、サウ云フ御考デアルトシマスルナラバ、今度ノ改正案ノ九十九條トカ、百條トカ云フヤウナ條文ニ基イテ合併サセルトカ、或ハ契約ヲ移轉サセルトカ云ヤウ此ノ條文ヲ適用セラルルコトハ殆ドナイノデハナイカト云フ風ニ考ヘラレル、條文デハ或ハ勸告スルトカ、或ハ命令ヲスルトカ云フ色々ナコトヲ書イテ、サウシテ恰モ今日ノ事業會社ト云フモノヲ整理ヲシテ、一般ノ契約者ヲ保護スルノダト云フ風ナコトヲ書イテアリナガラ、事實今ノ局長ノ意見ヲ聽イテ見マスレバ、是程現在弊害ガアルト云フコトヲ、大臣モ、今又局長モ言ハレテ居リナガラ、ソレデ居テ弊害ハ現在アルノダケレドモ、別ニ今直チニ會社ヲ整理シナケレバナラヌ會社ハ一ツモアリマセスト云フノデハ、何ヲ言ツテ居ルノカ一ツモ譯ガ分ラヌト私ニハ考ヘラレル、弊害ガアルカラ此ノ法律ニ依ツテ弊害ヲ改メヨウト言ツテ居リナガラ、事實問題ニナツテ來ルト現在ノ會社ニハ、一ツモサウ云フヤウナコトヲスル必要ハアリマセスト云フナラバ、

是ハ私ハ永久ニソシナコトハ出來ナイト思  
フ、若シ局長ノ言フヤウナ整理ヲスル必要  
ノアルト云フコトデアルナラバ、恐ラクハ  
破産カ何カニ瀕スルト云フヤウナ、最モ悪  
イ場合ノ、殆ド稀ナ場合ニノミ局限ヲシテ  
ハ今日ノ保険業法ト云フモノヲ改正シテ、  
積極的ニ國策ノ線ニ沿フテ、事業ナリ或ハ  
契約者ナリヲ健全ニシ、保護シヨウト云フ  
ヤウナ趣旨ニハナラスト私達ハ思フノデア  
リマス、サウ云フ風ニ若シ此ノ條文ノ適用  
ヲセラルルト云フヤウナ場合ハ、今後ニ於  
テモ殆ド稀ノ場合ニシカ適用ガナイノダト  
云フ風ニ、解釋シテ宜シウゴザイマスカ  
○牧政府委員 生命保険業界ニ於キマシテ  
各種ノ弊害ガアリマス、是等ノ弊害ニ對シ  
テ是正ノ方法ヲ講ズルコトガ、保険監督上  
最モ必要デアルコトハ申スマデモアリマセ  
ヌ、然ラバ今回ノ法律改正ニ依ル九十九條、  
百條ノ如キハ、今中村サンノ御述ベニナ  
ツタヤウナコトカラスレバ、之ヲ適用スル  
ヤウナ場合ハナイノデハナイカ、謂ハバ不  
必要ナ規定ヲ入レテ、サウシテ業界ニ刺戟  
ヲ與ヘルニ止マルノデハナカラウカト云フ  
ヤウナ御質問ト伺ツタノデアリマスガ、私  
共ハ監督上ノ經驗カラ致シマスト、此ノ規

定ガ最モ必要トスル事情ガゴザイマス、ソレハ理論ハ別ト致シマシテ、此ノ約十年見當ノ期間ニ於キマシテ、保険會社ノ各種ノ事情ニ因リマシテ、無クナリマシタ保険會社ガ十三ゴザイマス、是ハ或ル相互會社四五社ノモノガ一緒ニナツテ合併ヲスルコトニ依ツテ、一度ニ多數ノ會社ガ無クナツタノヲ除キマシテ、其ノ他ノモノハ何等カノ整理ヲ要スルヤウナ事情ガゴザイマシテ、其ノ整理ノ結果十三ノ會社ガ無クナツテ居ルノデアリマス、此ノ經驗ニ徵シマスルト、サウ云フ狀態ヲ生ジタ會社ニ對シマシテ、適當ナル手段ヲ講ズルコトガ出來ナイト云フコトデアルトスレバ、契約者ニ非常ナル迷惑ヲ及ボスノデアリマス、先達モ一例ヲ申上ゲマシタガ、二億七千万圓程ノ契約ヲ有スル會社ガ整理ヲ要スルヤウナ狀態ニ立到リマシテ、整理ヲシ終ルマデニ相當ノ期間ヲ費シタ爲ニ、一二億六千万圓ノ契約ガ八千餘万圓ニ減ツタノデアリマス、是等ハ保険ノ監督ヲスル責任アル者トシテハ、最モ苦痛ニ堪ヘナイ所デアラウト考ヘマス、サウ云フ狀態ヲ生ジタ場合ニ手際良ク之ヲ整理シテ、現在ノ契約者ニ不利益ノ及バノナイヤウニスルコトノ必要ガ、最モ痛感セラレテ居ルノデゴザイマス、隨テサウ云フ

状態ヲ生ジタ場合ニ處スル方法ヲ豫ス考ヘテ置クト云フコトガ、最モ必要デハナカラウカト考ヘテ、是等ノ規定ヲ置イタ譯デゴザイマス、隨テ或ハ其ノ見込ノ付ク場合ニ於キマシテハ、早目ニサウ云フ處置ヲ執ルコトモ必要デアラウカト考ヘマシテ、九十九條ノ如キモノヲ今回新ニ設ケタ譯デゴザイマス

シツコイ保険ノ勧誘員ナドニハ相當皆恼マ  
サレテ居ル、新規開拓ニ付テ人ニ非常ナ無  
理ヲサセテ居ルバカリデナク、外務員ニ言  
ハセマスト、新シイ契約ヨリ、モウ既ニ何  
處カニ掛けテ居ルモノヲ掠奪スルト云フカ、  
何ト云フカ、其ノ方ガ金額ガ纏ツテ容易イ、  
新シイ者ヲ口説イタツテ極ク僅カナ金額シ  
カ取レヌガ、一旦入ツテ居ル人ハ多少保険  
ニ付テノ理解ガアルノダカラ、之ヲ口説キ  
落シテ自分ノ方ニ獲得スルコトハ、外務員  
トシテハ一番能率ヲ擧ゲル方法ダトカ云フ  
ヤウナコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、  
私ハ是ナドモ今日會社ノ濫立致シテ居リマ  
ス所ノ弊害デアルト思フ、更ニ外務員ト  
保険員トガ結託ヲ致シマシテ、色々告知  
ノ義務ニ違反シタリナド致シテ、文書ヲ作  
成シテ置イテ、サウシテ無理ニ勧誘サセマ  
シテ、其ノ後デ契約者ニ迷惑ヲ掛けテ居ル  
ト云フヤウナ弊害モ今日澤山アルノデアリ  
マス、吾々ハモウスウ云フヤウナ弊害ハ國  
營ニスルカ、或ハ國家ノ統制ノ下ニアル所  
ノ特殊會社ト云フヤウナモノデ、一元的ニ國  
家ガ力ヲ加ヘテ行クヨリ外ニハ、今日デハ

此ノ弊害防止ノ方法ハ、ナイト思フ、愁ジイ  
手ヲ加ヘヨウトシマスナラバ、何處ニ其ノ  
手ガ及ブカト云ヘバ、私ハ無論今日ノ保険  
会社ノ中ノ弱小ナ部分ニ對シテ手ガ加ヘラ  
レルト思フ、サウスルト五大會社トカ何大  
會社トカ云フヤウナ大キナ保險會社ハ残ツ  
テシマフ、假ニ五ツトカ六ツトカノ小サナ  
會社ガ段々ニ合併サレタリ整理サレタリシ  
テモ、アトニ大會社ガ殘ツテシマヒマスナ  
ラバ、其ノ大會社ト整理ヲサレタ會社トノ  
間デ、又今マデト同ジ無駄ナ費用ヲ拂ヒ、  
無駄ナ競争シテ、結局契約者ニ迷惑ヲ掛け  
ルコトハ絶エナイト私ハ思フ、若シ九十九  
條トカ百條トカガ傳家ノ寶刀デアツテ、最  
後ノ場合ニ抜クノダト云フノナラバ、是ハ  
一ツノ意味ガアルト思フ、ケレドモ此ノ條  
文ノ通常ノ解釋カラ致シマスナラバ、今日  
弊害ガアルノダカラ積極的ニ此ノ條文ニ依  
ツテ進ンデ行クト云フ風ニ私達ニハ解釋ガ  
出來ル、サウスルト愁ジイ手ヲ著ケルコトニ  
ナルト、弱小會社ニダケ手ヲ著ケルコトニ  
争フサセルコトニナツテ、弊害ハ少シモ除  
去セラレナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、

一體此ノ條文ハ傳家ノ寶刀式ニ掲ゲテ置イ  
テ、一タビ斯ウ云フ状況ニナツテ來ルナラ  
バ抜クノダゾト云フ意味ノ條文デアルカ、  
或ハソコマデ最後的ナモノデハナクシテ、  
危険ナモノガアルナラバ前以テ假ニ勧告ヲ  
シテ、ソレガ會社ノ爲ニ多少ノ動搖ガアツ  
テモ進ンデヤルト云フノカ、ツモウ少シ突  
込ンダ御見解ヲ承リタイト思フノデアリス  
○牧政府委員 保険會社ノ業績ガ低下スル  
原因、又各種ノ弊害ノ起ル原因等ハ、色々  
研究致シテ見マスト、其ノ會社ソレ自體ニ  
其ノ原因ノ存スル場合モゴザイマス、併シ  
ナガラ又一面會社相互間ノ關係ニ因ツテ生  
ズル場合ガゴザイマス、是ハ御承知ノ通り  
非常ニ激シイ競争ラスル場合ニ於テ然リデ  
アリマスガ、サウ云フ場合モアリマス、各、  
ソレ等ノ原因ニ遡ツテ見テ是等弊害ヲ矯  
正シ、業績ノ向上ヲ圖ルト云フノガ本法案  
ノ根本ノ趣旨デアリマス、九十九條、百條  
ノ如キハ今申上ゲマシタ通リノ趣旨デゴザ  
イマスガ、大體ニ於キマシテ保険會社ノ經  
營ノ狀態ハ御承知デモゴザイマセウガ、保  
險數理、高等數學ニ基礎ヲ置キマシテ、一  
定ノ目途ヲ立テテ經營ヲシテ居ル譯デゴザ  
イマス、數理ニ基イテ經營ヲスルモノデゴ

ノ結果ガ數字ニ現ハレテ來ルノデゴザイマス、隨テ或ル會社ノ業績ガドウ云フ風ナ傾向ヲ帶ビテ居ルカ、或ハ向上シツツアルカト云フコトハ、是等ノ各種ノ數字ニ就テ相當見極メガ付クノデゴザイマス、殊ニ監督官廳ニ於キマシテハ、各種ノ比較考慮スベキ材料ヲ持ツテ居リマス關係上、是等ノ見極メハ一應付クカノヤウニ考ヘマス、其ノ業績ガ低下スル傾向ガ著シイ場合、廳テハ先ノ見極メガ付カナイ、救濟シ得ラレナイト云フコトノ見極メガ付クヤウナ場合ニ於キマシテハ、早目ニ之ヲ約ヲ維持セシムルコトガ最モ肝要ナ問題テ何等カノ手段ヲ執ツテ、現在ノ契約者ノ契約ヲ以テサウ云フ見極メガ付イタ場合ニヲ生ジタ場合ニ於キマシテハ、監督官廳ハ責任ヲ以テサウ云フ見極メガ付イタ場合ニ於テハ、早目ニ適當ナ手段ヲ執ルコトガ必要デアルカトモ考ヘマス、隨て是等ノ規定ハ唯單ニ規定ヲ明ニシタノニ過ギナインノデハアリマセヌ、適當ニ運用ヲ致シマスコトニ依リマシテ、保険契約者ノ保護ノ實ヲ擧ゲシヌルコトガ出來ヨウト考ヘテ居リマスデ、其ノ點ハ其ノ程度ニ止メテ置キマシテ、○中村委員 ソレ以上政府委員ニ言明ラサセルコトモ或ハ出來ナイカモ知レマセヌノ

其ノ次ニ事業經營ノ方面ニ付テ、今度ノ改正案ノ第十一條ニ付テ御尋ヲシタイノデスガ、之ニ依リマスト保険會社ノ會社同士デ統制協定ヲサセル、或ハ自主的ニ統制ヲヤツテオ互ニ不當ナ競争ヲ防止サセルト云フ、政府ガ經營方面ニ對シテ一ツノ方針ヲ定メ是ハ交通會社ノ統制協定トカ、或ハ「ビール」會社ノ統制協定トカ云フ風ニ、一ツトカ三ツトカ云フヤウナ極ク僅ノ會社ノ間ニ於キマシテハ、或ハサウ云フ協定ガ出來ルカモ知レナインデアリマスガ、今日ノヤウニ、生命保險會社ダケデモ三十六トカアルサウデアリマスシ、損害保險ノ數モ相當ノ數ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ガ果シテ統制協定ガ出來ルカドウカ、私ハ非常ニ疑問ダト思フノデアリマシテ、若シ統制協定ノ問題ナドガ出テ來ルトスルナラバ、保険料トカ、或ハ解約返戻金ノ問題トカ、或ハ今日色々保險ノ種類ガアリマスガ——兎ニ角競争致シテ居リマスコトニ付テ、オ互ニ何等カノ協定ヲシテ不當ナ競争ヲ防止サセヨウト政府モ考ヘテ居ルノダト思フノデアリマスガ、今日ノヤウニ澤山ノ會社ガアツテ、猛烈ナ競争ヲ致シテ居リマス會社ガ、政府ノ考ヘテ居ラレルヤウニ果シテ統制協定ガ

出来ルカドウカ、私ハ此ノ點ヲ承ツテ見タイト思フノデアリマス、若シ現在ノ狀態ノガ、之ニ依リマスト保険會社ノ會社同士デ統制協定ヲサセル、或ハ自主的ニ統制ヲヤツテオ互ニ不當ナ競争ヲ防止サセルト云フ、政府ガ經營方面ニ對シテ一ツノ方針ヲ定メ是ハ交通會社ノ統制協定トカ、或ハ「ビール」會社ノ統制協定トカ云フ風ニ、一ツトカ三ツトカ云フヤウナ極ク僅ノ會社ノ間ニ於キマシテハ、或ハサウ云フ協定ガ出來ルカモ知レナインデアリマスガ、今日ノヤウニ、生命保險會社ダケデモ三十六トカアルサウデアリマスシ、損害保險ノ數モ相當ノ數ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ガ果シテ統制協定ガ出來ルカドウカ、私ハ非常ニ疑問ダト思フノデアリマシテ、若シ統制協定ノ問題ナドガ出テ來ルトスルナラバ、保険料トカ、或ハ解約返戻金ノ問題トカ、或ハ今日色々保險ノ種類ガアリマスガ——兎ニ角競争致シテ居リマスコトニ付テ、オ互ニ何等カノ協定ヲシテ不當ナ競争ヲ防止サセヨウト政府モ考ヘテ居ルノダト思フノデアリマスガ、今日ノヤウニ澤山ノ會社ガアツテ、猛烈ナ競争ヲ致シテ居リマス會社ガ、政府ノ考ヘテ居ラレルヤウニ果シテ統制協定ガ

出来ルカドウカ、私ハ此ノ點ヲ承ツテ見タイト思フノデアリマス、若シ現在ノ狀態ノガ、之ニ依リマスト保険會社ノ會社同士デ統制協定ヲサセル、或ハ自主的ニ統制ヲヤツテオ互ニ不當ナ競争ヲ防止サセルト云フ、政府ガ經營方面ニ對シテ一ツノ方針ヲ定メ是ハ交通會社ノ統制協定トカ、或ハ「ビール」會社ノ統制協定トカ云フ風ニ、一ツノ方針ヲ定メテ行カウデヤナイカト云フコトニナレバ、誰ガ損ヲスルカト言ヘバ、一番名ノナイ資本ノ少い會社ガ損ヲシテ行クニ決ツテ居ルモノト私ハ思フ、同ジ條件ニナレバ、古ク信用ガアツテ、更ニ契約高ノ多イモノトカ、資產狀況ノ宜イモノトカ云フ大會社ガ益、宜クナツテシマフ、若シ協定ヲスルト云フコトニナレバ小サナ會社ハ、私ハ是デ潰滅アリト致シマシテモ、ヤルコトニ依リマシテ、相當ノ實績ヲ舉ゲルコトハ出來ヨウカルノデアリマス、隨テ幾ラ統制ノ協定ヲシテ不當ノ競争ヲ防止サセヨウト致シマシテモ、現在ノヤウナ會社ノ瀕立ヲ致シテ居リモザイマセウカ知レマセヌガ、寧ロ制限ヲサレル場合ニ於ケル苦痛ト申シマスカ、モザイマセウカ知レマセヌガ、寧ロ制限ヲモ考ヘマス、殊ニ小會社ガ斯ウ云フ協定ヲスルコトニ依ツテ困ルデアラウト云フ見方モザイマセウカ知レマセヌガ、寧ロ制限ヲモ考ヘマス、御承知デモゴザイマセウガ、大キナモノハヤハリ大キイダケノ力ヲ持ツソレハ却テ大會社ニアルノデハナカラウカトモ考ヘマス、御承知デモゴザイマセウガ、ト力ト兩方ニ依リマシテ、却テ自由競爭デトモ考ヘマス、又之ニ加フルニ信用ガアレバ信用ト思ヒマス、同ジ條件デ、同ジ「スター」云フノハ、私ハドウ考ヘテモ理窟ニ合ハト思ヒマス、同ジ條件デ、同ジ「スター」ニ並バシタナラバ、弱イモノハ忽チ負體私ノ聽キタイノハ、ドンナ點ガ若シ出來ルトスレバ協定ガ出來ルト思ハレルノカ、

○牧政府委員 御意見ノ通り多數ノ會社ガカト考ヘルノデアリマス  
アリマシテ、中々協定ヲ保ツト云フコトハ、或ハ政府委員ノ言ハレルヤウニ大會社ト云フ儘ニ於テ統制協定ヲシテ、例ヘバ保險料或ハ解約金ト云フヤウナモノニ付テ、一ツノ基準ヲ決メテ、オ互ニ不當ナ競争ヲシナイ行カウデヤナイカト云フコトニナレバ、誰ガ損ヲスルカト言ヘバ、一番名ノナイ資本ノ少い會社ガ損ヲシテ行クニ決ツテ居ルモノト私ハ思フ、同ジ條件ニナレバ、古ク信用ガアツテ、更ニ契約高ノ多イモノトカ、資產狀況ノ宜イモノトカ云フ大會社ガ益、宜クナツテシマフ、若シ協定ヲスルト云フコトニナレバ小サナ會社ハ、私ハ是デ潰滅アリト致シマシテモ、ヤルコトニ依リマシテ、相當ノ實績ヲ舉ゲルコトハ出來ヨウカルノデアリマス、隨テ幾ラ統制ノ協定ヲシテ不當ノ競争ヲ防止サセヨウト致シマシテモ、現在ノヤウナ會社ノ瀕立ヲ致シテ居リモザイマセウカ知レマセヌガ、寧ロ制限ヲサレル場合ニ於ケル苦痛ト申シマスカ、モザイマセウカ知レマセヌガ、寧ロ制限ヲモ考ヘマス、御承知デモゴザイマセウガ、大キナモノハヤハリ大キイダケノ力ヲ持ツソレハ却テ大會社ニアルノデハナカラウカトモ考ヘマス、御承知デモゴザイマセウガ、ト力ト兩方ニ依リマシテ、却テ自由競爭デトモ考ヘマス、又之ニ加フルニ信用ガアレバ信用ト思ヒマス、同ジ條件デ、同ジ「スター」云フノハ、私ハドウ考ヘテモ理窟ニ合ハト思ヒマス、同ジ條件デ、同ジ「スター」ニ並バシタナラバ、弱イモノハ忽チ負體私ノ聽キタイノハ、ドンナ點ガ若シ出來ルトスレバ協定ガ出來ルト思ハレルノカ、

○牧政府委員 協定ノ例トシテ考ヘラレテ定ニ依リマシテ、小會社ガ非常ニ經營ガ困難ニナルト云フヨリモ、寧ロ經營ガ合理化サレルト云フヤウニ見フレル場合ガアラウ

ノ方法、或ハ保険外務員ノ雇傭條件ニ關ス  
ル協定、或ハ代理店手數料ノ率、又損害保  
險ニ於キマシテハ、契約ノ締結條件及ビ代  
理店手數料、再保險ノ手數料等ニ付テ不當  
競争ヲ防止スル意味ノ協定ガ考ヘラレ居  
リマス

○中村委員 御答辯ノヤウニ色々ノ點ニ付  
テ假ニ協定ガ出來ルトスルナラバ、其ノ時  
ニハモウオ互ヒニバラノニ會社ガナツテ  
居ル必要ガナイカラ、一緒ニナラウデハナイ  
カ、自發的ニ併合出來ルト云フ時期ガ來レ  
バ、ソレハ統制協定ト云フヤウナ問題モ實行  
出來ルカモ知レマセヌガ、恐ラクハ私ハ今  
日ノヤウニ競争狀態ニ於テノ協定ハ、中々  
難カシイト思フノデアリマスガ、今言ハレ  
タヤウニ色々ノ點ニ付テ協定ガ出來ルト云  
フコトニナレバ、モウ會社ガ今日ノヤウニ  
三十モ四十モ出來ル必要ガ私ハナイト思フ、  
一ツノ條件デ皆ガ一致出來ルト云フコトニ  
ナレバ、合併シテシマツテ無駄ノ費用ヲ省  
當ヲ出ストカ、色々ノコトガ出來ルト思フ  
ノデアリマスルガ、私ハドウモ其ノ點ニ付  
テハ統制協定ト云フヤウナモノハ、中々困  
難ダト思フノデアリマスガ、ソレ以上私ハ

ノ方法、或ハ保険外務員ノ雇傭條件ニ關ス  
ル協定、或ハ代理店手數料ノ率、又損害保  
險ニ於キマシテハ、契約ノ締結條件及ビ代  
理店手數料、再保險ノ手數料等ニ付テ不當  
競争ヲ防止スル意味ノ協定ガ考ヘラレ居  
リマス

○中村委員 御答辯ノヤウニ色々ノ點ニ付  
テ假ニ協定ガ出來ルトスルナラバ、其ノ時  
ニハモウオ互ヒニバラノニ會社ガナツテ  
居ル必要ガナイカラ、一緒ニナラウデハナイ  
カ、自發的ニ併合出來ルト云フ時期ガ來レ  
バ、ソレハ統制協定ト云フヤウナ問題モ實行  
出來ルカモ知レマセヌガ、恐ラクハ私ハ今  
日ノヤウニ競争狀態ニ於テノ協定ハ、中々  
難カシイト思フノデアリマスガ、今言ハレ  
タヤウニ色々ノ點ニ付テ協定ガ出來ルト云  
フコトニナレバ、モウ會社ガ今日ノヤウニ  
三十モ四十モ出來ル必要ガ私ハナイト思フ、  
一ツノ條件デ皆ガ一致出來ルト云フコトニ  
ナレバ、合併シテシマツテ無駄ノ費用ヲ省  
當ヲ出ストカ、色々ノコトガ出來ルト思フ  
ノデアリマスルガ、私ハドウモ其ノ點ニ付  
テハ統制協定ト云フヤウナモノハ、中々困  
難ダト思フノデアリマスガ、ソレ以上私ハ

質問ハ致シマセヌケレドモ、私ノ此ノ十一  
條ニ對シマシテノ考ハ、サウデアルト云フ意  
見ダケヲ申上ゲデ置キマス、更ニ其ノ次ハ、  
日本ノ保険會社ノ海外進出ノ問題デアリマ  
ス、昨日服部委員カラ滿洲國ニ對シマシテ  
問ガアリマシタカラ滿洲國ノコトニ付テハ  
私ハ聽キマセヌガ、海外ニ日本人ノ澤山居ル  
所ハ相當今日デハアルト思フノデアリマス、  
例ヘバ亞米利加ノ「カリフォルニヤ」州デア  
ルトカ、或ハ南米ノ「ブラジル」デアルトカ  
或ハ南洋デアルトカ、非常ニ日本人ノ進出  
シテ居リマスル所ガ、今日デハ海外ニ澤山  
アルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ海外ノ  
日本人ヲ目標ニ致シマシテ、契約ヲ取ルト  
云フヤウナコトモ、外貨ノ獲得ト云フヤウ  
ナ方面ニ非常ニ助ケニナルコトハ、私ガ申  
上ゲルマデモナイト思フノデアリマス、今  
ノ狀況ニ於キマシテハ、ドンナ風ニナツテ  
居リマスルカ、此ノ點モ一つ御尋致シタイ  
ト思フノデアリマス

○牧政府委員 生命保險ト損害保險ニ付キ  
マシテハ、實情ガ稍異ツテ居ルノデアリマ  
ス、生命保險ニ付キマシテハ、外國ニ於ケ  
ル營業ハ殆ド滿洲國ト支那トダケデゴザイ  
マス、御承知ノ通り今御指摘ノヤウナ土地  
ニ、進出スルコトモ考ヘラレルノデゴザイ  
マスルガ、一面其ノ土地ニ於ケル生命保險  
事業ノ發達ガ非常ニ著シイ場合ニ於キマシ  
ニ、日本内地ノ會社ガ向フデ營業スルコ  
トハ、營業費其ノ他ニ於テ到底競爭ニナラ  
ナイノデアリマシテ、ヤハリ向フノ保険ニ  
掛ケルト云フヤウナコトニナルノデハナカ  
ラウカト思フノデアリマス、ト申シマスノ  
ハ、日本ニ於キマシテ外國會社ガ營業シテ  
居ツタモノガ從來アツタノデアリマスガ、  
最近ハ我國ノ生命保險事業ノ發達ニ伴ヒマ  
シテ、殆ド營業ガ出來ナクナツテ、皆引上  
ゲタヤウナ狀態デアリマス、勿論現在殘ツ  
テ居リマス契約ノ管理ヲ内地會社ニ委託シ  
テ、引揚ガテ居ルヤウナ關係ガ外國ニ於テモ生ズル  
ノデハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマ  
ス、損害保險ニ於キマシテハ御承知ノ通り、  
損害保險事業ハ國際的ナモノデゴザイマス  
ノデ進出セシムルヤウニ導イテ居ル譯デア  
リマス、隨テ本邦保險會社ノ外國ニ於ケル  
元請契約ト云フモノハ、毎年多少增加シテ  
居リマス、殊ニ再保險關係ニ於キマシテ  
ト競争ガ出來ナイ、色々ノ點ニ付テ條件ガ

ル營業ハ殆ド滿洲國ト支那トダケデゴザイ  
マス、御承知ノ通り今御指摘ノヤウナ土地  
ト考ヘテ居リマス、先般印度ニ於キマシテ  
見ダケヲ申上ゲデ置キマス、更ニ其ノ次ハ、  
日本ノ保険會社ニ對シテ、法律上營業開始ノ  
ス、昨日服部委員カラ滿洲國ニ對シマシテ  
問ガアリマシタカラ滿洲國ノコトニ付テハ  
私ハ聽キマセヌガ、海外ニ日本人ノ澤山居ル  
所ハ相當今日デハアルト思フノデアリマス、  
例ヘバ亞米利加ノ「カリフォルニヤ」州デア  
ルトカ、或ハ南米ノ「ブラジル」デアルトカ  
或ハ南洋デアルトカ、非常ニ日本人ノ進出  
シテ居リマスル所ガ、今日デハ海外ニ澤山  
アルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ海外ノ  
日本人ヲ目標ニ致シマシテ、契約ヲ取ルト  
云フヤウナコトモ、外貨ノ獲得ト云フヤウ  
ナ方面ニ非常ニ助ケニナルコトハ、私ガ申  
上ゲルマデモナイト思フノデアリマス、今  
ノ狀況ニ於キマシテハ、ドンナ風ニナツテ  
居リマスルカ、此ノ點モ一つ御尋致シタイ  
ト思フノデアリマス

○牧政府委員 生命保險ト損害保險ニ付キ  
マシテハ、實情ガ稍異ツテ居ルノデアリマ  
ス、生命保險ニ付キマシテハ、外國ニ於ケ  
ル營業ハ殆ド滿洲國ト支那トダケデゴザイ  
マス、御承知ノ通り今御指摘ノヤウナ土地  
ト考ヘテ居リマス、先般印度ニ於キマシテ  
見ダケヲ申上ゲデ置キマス、更ニ其ノ次ハ、  
日本ノ保険會社ニ對シテ、法律上營業開始ノ  
ス、昨日服部委員カラ滿洲國ニ對シマシテ  
問ガアリマシタカラ滿洲國ノコトニ付テハ  
私ハ聽キマセヌガ、海外ニ日本人ノ澤山居ル  
所ハ相當今日デハアルト思フノデアリマス、  
例ヘバ亞米利加ノ「カリフォルニヤ」州デア  
ルトカ、或ハ南米ノ「ブラジル」デアルトカ  
或ハ南洋デアルトカ、非常ニ日本人ノ進出  
シテ居リマスル所ガ、今日デハ海外ニ澤山  
アルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ海外ノ  
日本人ヲ目標ニ致シマシテ、契約ヲ取ルト  
云フヤウナコトモ、外貨ノ獲得ト云フヤウ  
ナ方面ニ非常ニ助ケニナルコトハ、私ガ申  
上ゲルマデモナイト思フノデアリマス、今  
ノ狀況ニ於キマシテハ、ドンナ風ニナツテ  
居リマスルカ、此ノ點モ一つ御尋致シタイ  
ト思フノデアリマス

惡イ爲ニ、日本ノ契約ヲ段々取レナクナツ  
タノダト云フノデアリマスガ、サウ云フヤ  
ウナ點カラ考ヘマスルト、日本ノ會社ガ外  
國ニ進出シテ行ツタ時ニ當ツテ、外國人ノ  
契約ヲ取ルト云フコトハ或ハ困難カモ知レ  
マセヌケレドモ、在留日本人ニ對シテハ、  
サウ云フ點カラ行ケバ保険料ナドハ外國ニ  
於テモ、外國會社ト日本ノ會社トノ間ニ於  
テハ、條件ガ日本人ニハ日本人ノ會社ノ方  
ガ有利ナノデアリマスルカラ、多少ノ經費  
ト云フヤウナ點ニ付テ劣リマシテモ、サウ  
云フヤウナ點デ契約ヲ得ルト云フコトハ、  
困難デハナイト思フノデアリマスガ、保険  
料ト云フヤウナモノニ對シテハ、海外ニ進

出シテ居リマスル日本ノ會社ハ、外國會社  
ト一體ドウ云フ狀態ニナツテ居リマスル  
カ、其ノ點ヲ御伺シタイト思フノデアリマ  
ス

○牧政府委員 保険料率ニ付キマシテ今比  
較スベキ詳シイ資料ヲ持合セテ居リマセヌ  
ガ、外國會社ハ亞熱帶ニ於ケル死亡表ヲ作  
ツテ居ツタモノモアルヤウデス、隨テ少シ  
高イモノモアツタカト考ヘテ居リマス、ソ  
レガラ外國ニ居ル在留邦人ニ對スル契約ハ  
相當現在モアルサウデアリマス、御趣旨ノ  
點ハ考ヘマシテ將來ヤハリ在留邦人ノ契約

ガ成タケ多數出來ルヤウニ、仕向ケテ行キ  
タイト考ヘテ居リマス

○中村委員 日本ニ於テノ外國保険會社ニ  
對シマシテハ、特別ナ法律ガアツテ、外國  
人ノ會社ガ日本デ經營スル場合ニハ、色々  
ノ制限ガアルヤウデス、外國保険會社ニ關  
スル件ト云フノガアツテ、ソレヲ見マスル  
ト、日本ノ保険會社ガ海外ニ出テ居リマスル場  
合ニ於テモ、ヤハリ斯ウ云フ風ナ何等カノ  
ノデアリマスルカドウカ、其ノ點モ一ツ御  
伺シマス

○牧政府委員 法律ニ保険醫ニ關シテ明記  
ハゴザイマセヌガ、實際ノ監督法ト致シマ  
シテハ、保険關係ニ於キマシテハ、第一條  
ノ基礎書類ト申シテ居リマスルガ、ソレノ  
第一條第二項第二號「事業方法書」ノ中ニ契  
約ニ關スル手續ヲ詳シク書カセルコトニシ  
テ居リマス、ソレニ保険醫ニ關スルコトヲ  
記載セシメマシテ、サウシテ取締ルト云フ  
ヤウナ方法ヲ執ツテ居リマス

○中村委員 勸誘員ニ關スル取締ノ規定ガ  
アルヤウデアリマスガ、ヤハリ保険醫ニ付  
テモ、私ハ何等カモウ少シハツキリシタ規  
定ヲ置ク必要ガアルノデハナイカト思フノ  
デス、醫師デアリマスルカラ、無論醫師法  
ニ依ツテノ取締ヲ受ケテ居ルコトハ固ヨリ  
デアリマスルガ、私ハ醫師法ノ取締以上ニ  
取締ル必要ガアルト考ヘマスルノハ、無論  
デハ激甚ナ不當ナ競争ノ爲ニ生レテ來ル所  
はハ好イオ客ダト思フ時ニ於テハ、其ノ會  
社ノ最高ノ保険醫——保険醫モ多勢居ルヤ  
ウデスガ、其ノ中ノ何ト云ヒマスカ、オ醫  
者サンノ取締ト云フカ、主任ト云フノカ、  
其ノ最高ノ人——是ハ外交貿トシテモ是レ  
位ノ契約ナラバ此ノ程度ノオ醫者サンニ御  
馳走スレバ宜イノダガ、アナタノ血壓が少  
シ高過ギルカラ、普通ノオ醫者サンデハ是  
シ高過ギルカラ、普通ノオ醫者サンニ御  
醫者サンニ一ツ御馳走シナケレバ物ニナラ  
ノ弊害ノ一ダト思フノデアリマスガ、最近  
デハ保険醫ガ相當墮落シテ來テ居ルト私ハ  
者サンノ相場ヲ決メテ居ル、更ニ普段保険

醫ト云フモノニ自分で特殊關係ヲ結ンデ置  
イテ、愈々難カシイト云フ時ニナレバ、特  
ニ其ノ人ヲ頼ムト云フヤウナコトヲヤリマ  
シテ、サウシテ保險ヲ取ツテ居ルト云フヤ  
ウナコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、サ  
ウ云フモノハ醫師法トハ別箇ニ、保險業法  
ノ上ニ於ケル所ノ醫師ノ取締ヲ必要ト考ヘ  
ルノデアリマス、此ノ點ニ付テノ御所見ヲ  
承リタイ

○牧政府委員 只今申上ゲマシタ通リノ方  
法ニ依リマシテ監督ニ努メ居リマスガ、サ  
イマス、隨テ外務員ニ於ケルト同様ナ法規  
ノ制定等ニ付キマシテ、研究ヲ致シテ居リ  
マスカラ、見テ見ヌ振リヲシテ、何トカ一  
ツデモ外務員ニ契約ヲ取ラシテヤラウト云  
フヤウナ、惡ク言ヘバ全ク外務員ト結託ヲ  
シテ、サウシテ告知事項ノ記載ナドニ付テ  
モ、事實告ゲテ居ルノニ拘ラズ、契約ヲ取  
ル爲ニ告ゲナイコトニシテ、記載ヲシナイ  
デ置イテ、サウシテ後ニナルト是ガ問題ニ  
ナツテ來ル、サウシテ問題ニナレバ、其ノ  
時ニハ契約者ガ言ツタノダケレドモ、ソん  
ナコトハ言ハナクテモ宜イト言ツタト言ツ  
テ見タ所ガ、外務員ニシテモ醫者ニシテモ、  
ドモ、澤山出テ居ルヤウデアリマス、ソレ  
ハ皆此ノ方法ニ依ツテト云ヘルカドウカ分  
リマセヌガ、或ハ中ニハ無論契約者ノ告知  
義務違反モアリマスケレドモ、其ノ大部分  
ハ外務員ガ誘惑スルノデス、サウシテ實ハ  
私ハドウモ前ニ肋膜ヲヤツタンダケレドモ

ト云フヤウナコトヲ言フト、外務員ガイヤ  
ソンナコトハ言ハヌデ宜イノダカラ、私ニ任  
シテ下サイト言ツテ、假ニ告ゲテモ、ソレヲ  
告ゲナカツタコトニ、記錄ニ載セラレテシ  
マフノデアリマシテ、是ハオ醫者サンモ知  
ラヌノデヤナイ、外務員トオ醫者サンノ前  
デ、實ハ私ハ斯ウダト云フヤウナコトヲ言  
ツテモ、外務員ガマアノト言フト、オ醫  
者サンハ外務員ニ連レラレテ來ルノデアリ  
マスカラ、見テ見ヌ振リヲシテ、何トカ一  
ツデモ外務員ニ契約ヲ取ラシテヤラウト云  
フヤウナ、惡ク言ヘバ全ク外務員ト結託ヲ  
シテ、サウシテ告知事項ノ記載ナドニ付テ  
モ、事實告ゲテ居ルノニ拘ラズ、契約ヲ取  
ル爲ニ告ゲナイコトニシテ、記載ヲシナイ  
デ置イテ、サウシテ後ニナルト是ガ問題ニ  
ナツテ來ル、サウシテ問題ニナレバ、其ノ  
時ニハ契約者ガ言ツタノダケレドモ、ソん  
ナコトハ言ハナクテモ宜イト言ツタト言ツ  
テ見タ所ガ、外務員ニシテモ醫者ニシテモ、  
ドモ、澤山出テ居ルヤウデアリマス、ソレ  
ハ皆此ノ方法ニ依ツテト云ヘルカドウカ分  
リマセヌガ、或ハ中ニハ無論契約者ノ告知  
義務違反モアリマスケレドモ、其ノ大部分  
ハ外務員ガ誘惑スルノデス、サウシテ實ハ  
私ハドウモ前ニ肋膜ヲヤツタンダケレドモ

外務員ナドヲ取締ルト同ジニ、私ハサウ云  
フオ醫者サンヲ取締ル必要ガアル、全部ノ  
醫者ヲ私ハ惡イト言フノデハアリマセヌガ、  
サウ云フ者ヲ取締ル必要ガアルト云フコト  
ヲ考ヘルノデアリマス、モウ少シ契約者ヲ  
困ラセナイヤウニ、醫者ガ一定ノ診査ヲシ  
タナラバ、モウは後ニナツテ問題ノナイ  
ヤウニスルヤウニ、法律ノ改正ヲスル必要  
ガアルト私ハ思フ、立派ナ醫者ガ入ノ體ヲ  
検査シテ置イテ、サウシテ後ニナツテ本人  
ガ言ハナカツタカラ告知義務違反ダナンテ  
ガアルト私ハ思フ、立派ナ醫者ガ入ノ體ヲ  
ゴザイマシテ、是等ノ事實ハ出來ルダケ防  
止シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、根本  
的ノ制度ノ問題ニ付キマシテハ、告知義務  
ノ規定ハ商法ノ規定デゴザイマシテ、商法  
ノ改正ハ、先般富委員會ニ於キマシテ民  
事局長カラモ御話ガゴザイマシタガ、改正  
ヲスル豫定ニナツテ居リマス、其ノ際ニ於  
キマシテ適當ニ研究ノ上、改正スペキモノ  
デアレバ改正シテ行キタイト考ヘテ居リマ  
ス

○中村委員 是ハ保險ノ外務員ニ付テノ取  
締ニ關シテデアリマスガ、保險募集取締規  
則ノ第四條ニ、外務員ハ斯ウ云フコトヲシ  
テハナラスト云フ規定ガ書イテアリマス、  
其ノ中ノ一つハ、將來ニ於ケル利益又ハ剩  
余金ノ分配ニ關スル豫想ヲシテハイカヌ、  
ソレカラ次ハ、他ノ保險會社トノ比較ヲシ

テハイカヌ、斯ウ云フ風ニ書イテアルノデ  
アリマスルガ、實際問題ト致シマシテハ、  
ドノ保険ノ勧誘員ニ致シマシテモ、他ノ保  
險會社トノ比較ヲシナイト云フヤウナ外務  
員ハアリハシマセヌ、モウ勧誘ニ來レバ直  
グ、一流會社トシテ是ダケアル中デ、私ノ  
所ノ會社ハスウダ、他ノ會社ハスウダト言ツ  
テ、他ノ會社ノ成績表ダノ何ダノヲ持ツテ  
來ル、或ハ自分ノ所ノ配當ハスウナル／＼  
ト言フ、斯ウ云フコトヲ勧誘ニ使ツテハ行  
カヌト云フノデアリマスケレドモ、勸誘員  
ハ先ヅ第一ニ之ヲヤル、他ノ會社ト比シテ  
自分ノ會社ノ方ハスウ云フ利益ガアルト言  
フ、ドウ云フ譯デ一體斯ウ云フ規定ヲ置イ  
テアルノカ、而モ事實ニ於テハ其ノイケナ  
イト云フ規定ガ、一番外務員ノ武器デアル  
ト云フヤウナコトハ、取締規定ノ不備カ何  
カ私ニハ分リマセヌケレドモ、兎ニ角先ヅ  
第一ニ之ヲドウニカシナケレバナラスト云  
フ風ナ今日ノ情勢ニナツテ居ルノデアリマ  
スルガ、一體斯ウ云フヤウナ違反ダトシテ  
今マデニ摘發サレタリ、或ハ問題ニサレタ  
ル例ガアリマスルカ、アリマシタナラバ一  
體ドンナ數ニナツテ居リマスルカ、御分リ  
ニナツタラ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマ  
ス

テハイカヌ、斯ウ云フ風ニ書イテアルノデ  
アリマスルガ、實際問題ト致シマシテハ、  
ドノ保険ノ勧誘員ニ致シマシテモ、他ノ保  
險會社トノ比較ヲシナイト云フヤウナ外務  
員ハアリハシマセヌ、モウ勧誘ニ來レバ直  
グ、一流會社トシテ是ダケアル中デ、私ノ  
所ノ會社ハスウダ、他ノ會社ハスウダト言ツ  
テ、他ノ會社ノ成績表ダノ何ダノヲ持ツテ  
來ル、或ハ自分ノ所ノ配當ハスウナル／＼  
ト言フ、斯ウ云フコトヲ勧誘ニ使ツテハ行  
カヌト云フノデアリマスケレドモ、勸誘員  
ハ先ヅ第一ニ之ヲヤル、他ノ會社ト比シテ  
自分ノ會社ノ方ハスウ云フ利益ガアルト言  
フ、ドウ云フ譯デ一體斯ウ云フ規定ヲ置イ  
テアルノカ、而モ事實ニ於テハ其ノイケナ  
イト云フ規定ガ、一番外務員ノ武器デアル  
ト云フヤウナコトハ、取締規定ノ不備カ何  
カ私ニハ分リマセヌケレドモ、兎ニ角先ヅ  
第一ニ之ヲドウニカシナケレバナラスト云  
フ風ナ今日ノ情勢ニナツテ居ルノデアリマ  
スルガ、一體斯ウ云フヤウナ違反ダトシテ  
今マデニ摘發サレタリ、或ハ問題ニサレタ  
ル例ガアリマスルカ、アリマシタナラバ一  
體ドンナ數ニナツテ居リマスルカ、御分リ  
ニナツタラ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマ  
ス

○牧政府委員 今御話ノ點ニ關スル違反者  
ダケデヤゴザイマセヌガ、募集取締規則ノ  
違反デ商工省ニ毎年知レマスモノガ數百件  
ゴザイマス、其ノ中デ第四條ノ規定ニ違反  
スル場合ガ最モ多イノデゴザイマス  
○中村委員 大分此ノ違反ノ數ガ多イト云  
フノデアリマスルガ、結局ドウナルノデス  
カ、違反ヲシタカラト言ツテ一々罰デモ與  
ヘタリ、或ハ外務員ノ資格ヲ取消シタリス  
ルト云フヤウナコトヲ、實際ニ於テ行ツテ  
居ルノデセウカ  
○牧政府委員 其ノ事實ノ輕重等ニ依リマ  
シテ、嚴罰ニ處スル場合モゴザイマスガ、  
ヤハリ會社ノ經營ノ當局者ヲ適宜ニ戒タル  
コトガ最モ必要ト思ヒマシテ、取締役等ニ  
對シマシテ、將來違反ノナイヤウニセシム  
ルコトニ努メテ居リマス、尙ほ事務的ニ申  
シマスト、サウ云フ外務員ニ對シマシテハ、  
御承知ノ通り登錄シテ居リマスガ、注意  
「カード」ト云フヤウナモノヲ作ツテ、將來  
ノ違反防止ニ努メテ居リマス、ソレカラ最  
モ極端ニ場合ハ、解職セシムルト云フヤウ  
ル  
○中村委員 私ハ此ノ條文ハ隨分無理ナ規  
定デアルト思フノデスガ、一體今日ノヤウ  
ニ保險會社ガ猛烈ナ競争ヲシテ居ツテ、モ

ウ網ノ目ヲ潜ルヤウニ小サナ所マデモ喰込  
ンデ行ツテ、加入者ノ奪ヒ合ヲヤツテ居ル、  
其ノ外務員ニ外ノ會社ノコトヲ言フナ、或  
ハ豫想ヲ言フナト云フヤウナコトニシテ置  
イテ、一體ドウシテ勧誘ガ出來ルト思ハレ  
ルノカ、私ハ不思議ダト思フ、初メカラ會  
社ニ競爭ヲサセナイ建前ヲ執ツテ置クナラ  
セイノデス、會社同志ノ競爭ハ幾ラデモサ  
ニ飛出シタ外務員ガ、他ノ會社ノ成績ダト  
セテ置イテ、サウシテ其ノ猛烈ナ競爭ノ中  
ニ飛出シタ外務員ガ、他ノ會社ノ成績ダト  
カ色々ナコトヲ言フナドト云フソンナ無理  
ナコトハ、私ハナイト思フ、ダカラコンナ  
規定ガアツタツテ一ツモ守ラレル筈ハナイ、  
玄關ヲ潛ツテロヲ開ケバイノ一番ニ、他ノ  
會社ハスウダト言ハナケレバナラヌヤウナ  
情勢ニナツテ居ルノデアリマスガ、今ノヤ  
ウニ外務員ノ間ニ競爭ヲサシテ置イテ、斯  
ウ云フヤウナコトヲ言フナト云フコトハ無  
理ダト私ハ考ヘルノデアリマス、一體此ノ  
條文ニ對シテドウ御考ニナルカ、率直ナ御  
意見ヲ承リタイト思フノデアリマス  
○牧政府委員 保險ノ勧誘ニ當リマシテ、  
自己ノ會社ノ內容及ビ其ノ勧メヨウトスル  
○中村委員 今他ノ會社ト比較スルト弊害  
コトハ差支ナイト思ヒマスガ、他ノ會社  
ガアルト言フノデスケレドモ、ソレハ契約者  
ト比較スルト云フコトハ色々ナ弊害ガアル  
ニ對シテ甚ダ不親切ナ言葉デハナイカト思フ、

ト思ヒマス、殊ニ相手方ガ保險ニ關スル知  
識、會社內容ニ付テノ知識ノ無イ者ニ對シ  
テ、他ノ會社ト比較シマスト非常ニ迷ヒ易  
ス、此ノ規定ガアル爲ニ保險勧誘上公正ニ  
行ハレテ居ル點ガ多イデアラウト思ヒマ  
ス、其ノ反面ヲ申シマスト、他ノ會社トノ  
比較ヲ自由ニヤラセルト云フコトニナリマ  
スレバ、非常ナ弊害ガアルト思ヒマス  
○田中委員長 中村君ニ一寸御詰リ致シマ  
ス、アナタノ質問ハマダ大分アリマスカ  
○中村委員 私ハ十二時頃マデニハ終リマ  
ス、アナタノ質問ハマダ大分アリマスカ  
○中村委員 私ハ十二時頃マデニハ終リマ  
ス  
○田中委員長 アナタノ質問ハ商工當局ニ  
對スル質問ガ大體デスネ、實ハ西川君カラ  
大藏省關係ノ質問ヲ保留シテアツテ、今大  
藏省ノ理財局長ガ見エマシタ、理財局長ハ  
午後ハ差支ヘルサウデアリマスカラ、アナ  
タノ方ヲ暫ク保留サセテ戴イテ、西川君ニ  
ヤラシテ戴キタイノデスガ……  
○中村委員 ソレデハ今ノ問題ダケ伺ツテ  
オ終ヒニシマス  
○中村委員 サウ願ヒマス  
○田中委員長 サウ願ヒマス  
○中村委員 今他ノ會社ト比較スルト弊害  
コトハ差支ナイト思ヒマスガ、他ノ會社  
ガアルト言フノデスケレドモ、ソレハ契約者  
ト比較スルト云フコトハ色々ナ弊害ガアル  
ニ對シテ甚ダ不親切ナ言葉デハナイカト思フ、

契約者ハ素人デアリマスカラ、他ノ會社ト比較シテ、サウシテ有利ナ方ニ入ルノガ當然デアツテ、ソレヲ比較サセテハイカスト云フノデハ、素人ノ契約者ヲ甚ダ保護シナイ政府ノ考デアルト私ハ思フ、ドノ會社トドノ會社ト云フモノガアツテ、此ノ會社ハ基礎ガ確實デ、サウシテ此ノ會社ハ條件ガ良クテト云フコトデアルナラバ、良イ方ヲ契約者ニ選擇サセテ入レルノガ當然デハナイカ、嘘ヲ言ツタラソレハイカヌデセウ、此ノ會社ハ斯ウ云フ配當ガアルノダトカ、コンナニ資產ガアルノダトカ言ツテ嘘ヲ言ツテ説明スルナライカヌノデセウ、他ノ保險會社トノ比較デナクシテ、他ノ保險會社ノ缺點デアルトカ、或ハ虛偽ノ事ヲ言ツテハイカヌト云フノデ、ソレヲ取締ルナラ宜イガ、契約者ト云フモノハ素人デアリマスカラ、色々他ノ會社トノ比較研究ヲシテ、最モ有利益ナ、最モ確實ナ所ニ入レルト云フコトモ政府委員ノ御説明デハ契約者本位デナクテ、會社本位ノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、モウ少シ契約者ノコトヲ考ヘタナラバ、自由ニ比較検討ヲサセテ良イ方ニ入レサセル方ガ、契約者ノ爲ニ親切ダト思フノデアリマスガ、如何デゴザイマセウカ

○牧政府委員 ヤハリ勸誘スル者ト致シマシテハ、自己ノ會社ヲ一番良イヤウニ言フ經驗カラ見マスト、オ互ニ傷ツケ合フヤウナ事ヲ比較シテ居ルノデアリマス、相手方ガ保険ニ關スル知識ナリ、保險會社ノ内容等ヲ知悉シテ居リマス場合ハ、是デモ宜識ト云フモノハ、割合ニ一般ノ人ハ持ツテ居リマセヌ、從來ノ經驗カラ此ノ點ガ最モ弊害ガ多イト思ヒマシテ、他社トノ比較ハ禁止シテ居ル譯デアリマス

○中村委員 ソレデハ私ノ質問ハ保留シテ置キマス

○田中委員長 ソレデハ保留シテアル西川君ニ發言ヲ許シマス

○西川委員 私ハ保険ノ如キ長期的信用ヲ基礎ト致シマス事業ニ於テ、之ニ關係致シマス廣汎ナル範圍内ニ於ケル者ガ、最モ不安ノ根源トナルノハ、將來ノ經濟界ノ見透シニ關スルコトデアリ、特ニ貨幣價値ノ變動ニ關スルコトデアリ、屢々議會ニ於テモ、世上ニ於テモ問題トナル惡性「インフレ」ノ問題デアリム、モウ少シ契約者ノコトヲ考ヘタナラバ、其ノ第一ハ、私ガ是カラ申上げマスコトハ、甚ダ非常識デアルカモ知レナイ、詰リ常識ニ反シテ居ルカト思フノデアリマス、併ナガラ現在ノ我國ニ於ケル常識ニ反シテ、我國ニ於ケル常識ニ反シテ居リマシテモ、經濟學界ニ於キマシテハ、シマシタ時ニモ、將兵カラ常ニ此ノ事ヲ聽

コトガ、我國ノ國策ノ上ニ非常ニ大キイ惡シテ、影響ヲ與ヘテ居ルト云フコトヲ、私ハ非常ニ持ツテ色々言葉ガ使ハレルノデアリマスカラ、私ハ大マカナ質問ニナツテ來ルノデアリマスガ、此ノ議會ニ於キマシテ、屢々惡性「インフレ」ナル言葉ガ使ハレルノデアリマス、之ニ對シテ大藏大臣ノ答辯ヲ速記録ニ就テ讀ンデ見マスト、流石ニ大藏大臣ハ用意ヲシテ居ラレルト思フノデアリマス、大藏大臣ノ答辯ニハ惡性ト云フ文字ハ、我國ノ財界一般、内外ノ人心ニ與ヘル影響ガ極メテ多大デアルト思ヒマスノデ、其ノ事ヲ質シタカツタノデアリマスガ、大藏大臣ハ私共此ノ委員會ノ要求致シマシタ時間ニ御出席ヲ得ナインデアリマシテ、實ハ他ノ機會ニ大藏大臣ニ御伺致シテ明ニシナケレバナラヌノデアリマス、併シ此ノ保險業法ノ委員會ニ於キマシテ、大藏省ノ理財ノ局ニ當ツテ居ラレルトノ間ニ、私ノ指摘致シマス事項ニ付テ御意見ヲ伺ツテ、後日大藏大臣ニ根本的ナ御尋ヲ致ス基礎ニ致シタイト思フノデアリマス。

其ノ第一ハ、私ガ是カラ申上げマスコトハ、甚ダ非常識デアルカモ知レナイ、詰リ常識ニ反シテ居ルカト思フノデアリマス、財政ノ責任ヲ負ウテ輔弼ノ任ヲ盡サレル大藏大臣ガ、積極的ニハツキリト左様ナコトハ、斷ジテ起ラナイノダト云フコトヲ、理論的ニ實證的ニ否認ヲ爲サラナイト云フコトガ、長期聖戰ヲ續ケテ居リマス此ノ我國內外ノ人心ニ與ヘル影響ガ、極メテ少クナイノデアリマス、私共昨年來現地ノ將兵ヲ慰問致シマシタ時ニモ、將兵カラ常ニ此ノ事ヲ聽

カレタノ「デアリマス、吾々ハ前線ニ於テ斯ノ如ク苦心シテ居ルノデアルガ、日本ノ財界ガ惡性「インフレ」ガ起ツテ萬事窮スト云フヤウナコトガ生ジハシナイダラウカ、ドウモ新聞ヲ讀ンデモ、雑誌ヲ讀ンデモ、又云フ議論ガ屢々アルト云フノデ、將兵ノ間ニサウ云フコトガ懸念サレテ居ル、之ニ對シ議會ニ於ケル言論ノ様子ヲ伺ツテモ、サウテ何故財政當局ガ、此ノ經濟學說ノ理論ト又近年ニ於ケル我國ノ金融現象、經濟現象ノ上ニ於ケル實證的事實ヲ以テ、斷ジテ惡性「インフレ」ハ我國ニ於テハ起ル可能性ガナイノデアルト明言サレナイノデアルカ、甚ダ曖昧ナル當局ノ態度ニ付テ、私ハ疑惧ヲ持チ、又甚シク不滿ノ意ヲ持ツノデアリマス、斯ク私ガ申シマス所以ハ、元來惡性「インフレ」ニ付テ、當局ハ餘程當時簡々ノ問題ニ就テ御研究ニナツテ居ツタト思ヒマス、惡性「インフレ」ヲ經濟現象ト御覽ニナルカ、社會現象ト御覽ニナルカ、經濟現象ハ經濟的數量ノ變化ニ因ツテ起リ得ルノデアリマス、公債ガ増加スルトカ、通貨ガ膨脹スルトカ、物價ガ騰貴スルトカ、所謂經濟能的範疇ニ於テ起リ意爾現象ガ經濟現象デアツテ、經濟的範疇ニ於テ起リ得ル現象ハ「インフレ」デアル、「インフレ」ガ起ル、併シナガラ

惡性ト云フ言葉ヲ冠シテノ惡性「インフレ」ハ、  
ニ於テ其ノ徵候ヲ現シタルガ如ク、一時佛蘭西  
近世ニ於ケル經驗ニ於テハ、西南事變ノ際  
ニ於テ見タルガ如ク、或ハ亞米利加ノ南北  
戰爭ニ於テ見タルガ如ク、斯ノ如キコトガ  
所謂惡性「インフレ」デアルト云フノデア  
ル、ソレデ萬事休スト云フ觀念ヲ國民ニ與  
ヘルノハ此ノ惡性「インフレ」デアル、而モ  
此ノ惡性「インフレ」ハ決シテ經濟的數量ノ  
變化ニ因ツテ起ルノデハナイ、是ハ社會統  
制ノ根底ニ鱗ガ入ツタ時ニ起ルノデアツ  
テ、即チ社會現象デアル、其ノ意味ハ經濟  
的數量ハ經濟現象ノ範圍内ニ於テ、所謂政府  
ガ統制力ヲ失ツテシマヒ、國家ガ統制力ヲ  
失ツテシマツテ、社會統制ノ根幹ニ疵ガ付  
イタ時デナケレバ、嘗テ惡性「インフレ」ノ  
起ツタコトハナイト私ハ斯様ニ考ヘテ居  
ル、隨テ「インフレ」ハ經濟現象デアルケレ  
ドモ、惡性「インフレ」ハ社會現象デアル、社會統制  
會現象トシテノ惡性「インフレ」ハ、如何ニ  
經濟的數量ガ變動致シマシテモ、社會統制  
ノ力デ強化サレルガ故ニ是ハ起ラナイ、之

ヲ現在ノ日本ニ當缺メテ見マスト、我國ノ財政經濟的事情ニ於テ、經濟的數量ハ「インフレ」ニ向ツテ進行シツアリマス、然ルニ一面此ノ長期聖戰ニ立向ハナクテハナヌ日本國民ニ於テハ、精神ノ緊張、又政府ノ統制力、是等ノ社會現象トシテノ惡性「インフレ」ヲ抑壓スベキ非常ナ力ガ加ツテ來テ居ル、經濟的數量ハ膨脹シヨウト致シマシテモ、社會的ノ統制力ガ強ク之ヲ締付ケテ來マスカラ、惡性「インフレ」ハ起ラナイ、而モ此ノ將來ノ趨勢ヲ見マスルナラバ、經濟的數量ガ惡性「インフレ」ニ導カウトスル現象ガ強クナレバナル程、社會現象トシテ惡性「インフレ」ヲ防止シヨウトスル本國民ノ國體ニ對スル忠誠ノ念ヲ以テセバ、斷ジテ惡性「インフレ」ハ起リ得ナイモノデアルト云フコトヲ、斷言シ得ルノデアル、大藏省ノ理財ノ當局ニ立ツテ居ラマシテ、此ノ經濟的現象トシテノ「インフレ」ト、社會現象トシテノ惡性「インフレ」ヲ能ク噛ミ分ケテ御研究ニナリ、斷ジテ惡性「インフレ」起ラズト云フ信念ノ下ニ、總テノ經濟政策ニ當ツテ居ラレ、金融政策ニ當ツテ居ラレマスカ、之ニ對シテ當路者ノ御意見ヲ御伺致シタイ

○相田政府委員　只今西川サンカラ色々學說上ノ根據カラシテ、我國ニ於テハ斷ジテ惡性「インフレーション」ハ起キナイノデアルト云フ信念ヲ持ツテ居ルカドウカト云フ御尋ダト存ジマスガ、學說上經濟的現象デアルトカ、或ハ社會的現象トカ仰セラレマシタガ、色々ノ見方ハアルダラウト存ジマス、併シ自分ノ考ヘテ居リマスコトハ、要スルニ所謂惡性「インフレーション」ハ斷ジテシテハナラヌ、其ノ爲ニ全力ヲ盡サナケレバナラヌ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、大藏大臣モ當議會ニ於キマシテ屢々各種ノ機會ニ申サレマシタヤウニ、此ノ「インフレーション」ノ防止ノ爲ニ、資金ノ方カラ申シマスレバ貯蓄ノ獎勵ヲスル、又臨時資金調整法ニ依ツテ資金ノ調整ヲ致シ、又外國爲替管理法ニ依リマシテ資本ノ逃避ヲ防止スル、又現ニ審議中デアリマス所ノ總動員法第十一條ノ配當制限ノ勅令案ガ、公布セラレルニ至リマスレバ、又之ニ依リマシテ資金ガ思ハシカラザル方面ニ使ハレルコトヲ防イデ行ク、斯ウ云フ方法ヲ資金ト云フ側カラハ採リマシテ、又ハ物價騰貴ノ抑制ト云フヤウナ、此ノ兩方面カラ押ヘテ行キマシテ、惡性「インフレ

「ーション」ガ起ルコトノナイヤウニ、萬全ノ對策ヲ講ジタイ、是ハ獨リ政府ノミノ力デハ出來ナイノデアリマシテ、國民ノ全般ガ貯蓄ノ獎勵、更ニ國債ノ消化ト云フコトハ自ラ各種ノ方策ヲ講ズルト共ニ、國民ノ協力ヲ舉ガテ協力シテ戴カナケレバ出來ナイコトデアリマス、此ノ點ニ向ツテ政府ハ自ラ各種ノ方策ヲ講ズルト共ニ、國民ノ協力ヲ切ニ希望シテ居ル次第デアリマス

○西川委員 一寸議事進行ニ付テ、私満足ノ行クヤウニ御質問申上ゲルト、相當時間ガ掛カルノデアリマスガ、アト十五分位御許願ヒタイト思ヒマス、零時五分ニナリマスレバ私途中デモ止メマスカラ……

○田中委員長 承知シマシタ

○西川委員 只今政府ノ御答辯ニ依リマス

ト、惡性「インフレ」ハ斷ジテ起リ得ナイト

云フ認識ヲ持ツテ居ルノデハナクシテ、惡性「インフレ」ヲ起シテハナラナイト云フ

願望ヲ持ツテ居ラレル、此ノ願望方遂グラ

レルカドウカハ、未知數ノ問題デアル、惡性「インフレ」断ジテ起ラズト云フ認識ハ確

定的ノモノデアリ、斷言的ノ命題デアルケレドモ、惡性「インフレ」ヲ起シテハナラナイト云フ願望ハ、ソコニ不安ノ起ル餘地ガアルノデアリマス、根本的ニ當局ノ認識ト私ノ認識ノ違フコトハ、當局ハ斯ウ云フヤ

ウニ考ヘテ居ラレルデアリマセウ、公債ガ增加シテ其ノ公債ガ民間ニ於テ消化サレル、詰リ日銀ノ保有高ガ増加スルト通貨ノ膨脹ヲ來ス、通貨ノ膨脹ハ物價ノ騰貴ヲ導ク、即チ國債ノ増發ト日銀保有高ガ増加スルコトト、通貨ノ膨脹トノ間ニ因果關係ガアル、通貨ノ膨脹ハ物價ノ騰貴ニ對シテ因果ノ關係ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フヤウニ御考ニナツテ居ルト云フコトヲ、只今ノ御答辯ナリ又此ノ議會ニ於ケル色々ノ機會ニ於テノ答辯ニ依ツテ、承知スルノデアリマスガ、左様デゴイマスカ、答辯ハ「イエス」カ「ノー」カデ宜シイノデアリマス

○相田政府委員 只今御尋ノヤウナ因果關係ハアルト存ジテ居リマス

○西川委員 是等ノ因果關係ハ政府ハ貨幣數量說ノ示ス意味ニ於テ、其ノヤウニ御認識ニナツテ居ルノデアルカ、又大藏當局獨自ノ信念ナリ認識ナリヲ體系的ニ持ツテ居ラレルノデアルカ、貨幣數量說等ニ於テ示サレテ居ル理論ニ依ツテ考ヘラレルノデアルカ

○相田政府委員 貨幣數量說ニモ更ニ色々派モアルコト存シマスガ、私共考ヘテ居リマスコトハ、サウ云フ非常ニ嚴格ナ學說的ノ意味デハゴザイマセヌガ、併シナガラ此ノ通貨ガ膨脹致シマシテ、一方物ノ増

加方之ニ伴ハヌト云フコトニナリマスト、ソコニ金ト物トノ調和ガ失ハレマシテ、經濟界ニ面白カラヌ狀況ヲ生ズル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、自分考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○西川委員 斯ル問題ハ漠然タル言ヒ方ヲシマシテハ水掛論ニナル、結局大キイ聲ヲスル方ガ勝ニナツテ、委員會デ問答スルト私ノ勝ニナル、役所ニ行ツテ問答スレバアナタノ勝ニナル、立場ノ違ヒデサウナリマスガ、是ハヤハリ嚴密ナ科學ニ基イテ論議ヲ進ヌルノデナケレバ意義ヲ成サヌ、ベ、ソレニ伴フ所ノ物ノ價格ハ高クナル、ギナイ、貨幣數量說ハ通貨ノ數量が増加シテ、他ノ條件ニシテ若シ動カナカツタナラノハサウデアルト思フ、結局數理經濟學ト云フモノハ或ルツノ關係ヲ表示スルニ過

アル、斯ウ云フ見識ヲ以テスレバ學說ヲ否定スルコトモ出來ルノデアリマスガ、自分考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○西川委員 斯ル問題ハ漠然タル言ヒ方ヲシマシテハ水掛論ニナル、結局大キイ聲ヲスル方ガ勝ニナツテ、委員會デ問答スルト私ノ勝ニナル、役所ニ行ツテ問答スレバアナタノ勝ニナル、立場ノ違ヒデサウナリマスガ、是ハヤハリ嚴密ナ科學ニ基イテ論議ヲ進ヌルノデナケレバ意義ヲ成サヌ、ベ、ソレニ伴フ所ノ物ノ價格ハ高クナル、ギナイ、貨幣數量說ハ通貨ノ價格ガ低下スルト云フ關係ヲ現ハシタモノデアリマシテ、結局約ヌテ申シマスト、或ル時期ニ於テ賣ラレタ總價格ハ、買

ハレタ總價格ニ等シイト云フコトヲ、數學的ニ表示スル以外ノ何モノモ意味スルモノデハナイト私共ハ承知スル、是ハ自明ノ理デス、所謂數理經濟學ト云フモノハ、自明ノ理ヲ約メテ表白シタモノガ數理經濟學デアル、

ソコデ貨幣數量説ニ因果ノ關係ガナイト云  
マコトハ、此ノ貨幣數量説ヲ深ク吟味致シ  
マス者ガ皆認メテ居ル、是ハ我國近年ノ資  
材ノ現象ノ上ニ於キマシテ、實證的ニモ因  
果關係ハナイノアリマス、ソレハ當局ヨ  
リ差出サレマシタ此ノ資料ヲ能ク御通覽ニ  
ナリマシテ、是デ「グラフ」デモ作ツテ御覽ニ  
ナツタラ、因果關係ノナイコトハ明カデア  
リマス、茲ニ兌換銀行券ノ發行ノ數量ガ出デ居  
リマス、全國手形交換高ガ出テ居リマス、  
此ノ手形交換高、兌換銀行券ノ發行高ニ回  
轉度數ヲ乘ジマシタモノガ、此ノ年度ニ於ケ  
ル通貨ノ、所謂貨幣數量説ニ於テ示ス通貨  
ノ總量ニナツテ居ル、サウ云フコトガ物價  
率ノ上ニドウ影響シテ居ルカト言ヒマスト、  
物價率ノ上ニハ直接ノ影響ヲ持ツテ居ナイ、  
是ハ大藏省ニハ數學ノ達者ナ方ガ幾ラモ居  
ラレマスカラ、毎月ノ此ノ相關率ト云フモ  
ノヲ擧ゲテ御覽ニナリマシタナラバ、相關  
率ハ「プラス」ヲ出シテ居リマス、時ニ「マイナ  
ス」ノ月モアリマスガ、大抵ハ「プラス」デアリ  
マス、ケレドモ其ノ「プラス」ノ値ハ極メテ小  
サイ、之ヲ極ク大マカニ申シマスト、昭和  
十一年ト昭和十三年ヲ較ベテ見マスト、國  
債ノ總額ハ六割ヲ増シテ居リマス、其ノ國  
債ノ日銀ノ保有高ハ三十割ヲ増シテ居ル、

兌換銀行券ハ三割ヲ増シテ居ル、手形交換  
高ハ二割五分ヲ増シテ居リマシテ、物價指  
數ハ二割ノ騰貴ニシカナツテ居ナイノデア  
リマス、詰リ是等ハ外ノ因果關係ニ依リマ  
シテ、相伴ウタ方向ニ進ミハシマスケレド  
モ、其ノ足並ガ、所謂是等ノ數ノ間ノ因果  
關係ガアルト云フ程ニ、正確ナ因果ノ關係  
ヲ持ツテ居ナイト云フコトハ、實證的ニ明  
ニ讀取ラレルノデアリマス、此ノ點ニ付キ  
マシテハ私ノ方ノ立場ノ宜イヤウナ、委員  
會デハドウシテモ政府委員ノ立場ハ弱クナ  
ルヤウデアリマスカラ、此處デハ斯シナ水  
掛論ニナルヤウナ議論ハ致シマセヌ、他ノ  
機會ニ於テ私ハ局長ニ精緻ナ研究ヲ伺ツテ  
見タイト思フノデアリマスガ、大マカナ問  
題ト致シマシテ、政府當局ガ國債ヲ御出し  
ニナツタノガ、直チニ是ガ國民ニ買取ラレ  
マス

○相田政府委員 政府ガ國債ノ發行ニ依ツ  
ハ、是ハ國債ノ完全ナル消化トハ言ハレナ  
イ、詰リ國債トシテ出サレマシタ所ノ資金  
ガ、其ノ儘直チニ國債トシテ凍結シマシタ  
ナラバ、生産力ノ擴充等ニ持ツテ行ク資金  
ノ供給ニモ事ヲ缺キマセヌヤウニ、ソコハ  
萬全ノ注意ヲ拂ツテ計畫シ、又臨時資金調  
整法等ノ運用ニ當ル考デ居リマスカラ、生  
產力擴充資金ガ不足シテ、生産力擴充ガ思  
デアレバ、ソコニ生産力擴充ニ必要ナル資  
金ヲ供給スル源泉ガ無クナルノデハナイカ  
ト云フ御尋カト存ジマスルガ、我國ノ國民  
賄蓄ハ御承知ノヤウニ、年々相當ノ增加ヲ  
來シテ居リマス、又此ノ政府資金ノ撒布ノ  
モ能ク勘考シマシテ、資金ノ流レニ付テモ

ナリ、ソレダケノ品ヲ購入サレル、或ハ人  
的資源ノ關係モアリマセウシ、勞銀ノ關係  
ノヲ購入サレル、購入サレバソレハ供給  
スル側デハ、政府ノ購買力ガ増加シタダケ  
ノヲ購入サレルコトガ肝腎グト考ヘ  
ルノデアリマス、西川サンノ仰セノヤウニ  
モアリマスケレドモ、兎ニ角ソレダケノモ  
ノヲ購入サレル、購入サレバソレハ供給  
スル側デハ、政府ノ購買力ガ増加シタダケ  
ノヲ購入サレルコトガ增加シナケレバナラヌ、  
即チ生產資金ハソレダケノモノガナクテハ  
ナラヌノデアルガ、其ノ政府ノ出サレタ國  
債ガ全部國債ニ凍結シテシマツタナラバ、  
ニ依ツテ撒布サレマシタ政府資金ガ其ノ儘  
直グニ國債消化資金ニナツテシマシタナラ  
バ、此ノ國債ヲ以ツテ政府ガ要求スル購買  
力、其ノ購買力ヲ充足サセル生產資金ト云  
フモノハ、一體何處カラ出ルト考ヘテ居ラ  
レマスカ、此ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒ  
マス

適當ナ調整ヲ加ヘタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○西川委員 御考ハ非常ニ素朴的デアツテ、決シテ科學的ニ事物ノ眞髓ヲ擗マレタ見解デハナイト思フノデアリマス、併シ時間モアリマセヌシ、又サウ云フコトニ付テ押問答ヲ致シテ居ル餘裕モナイノデ、私ハ他ノ方面カラモウ一ツ御聽シタイ、大體國債ヲ政府ガ發行サレマシテ其ノ資金ヲ撒布サレマス、其ノ資金ハ恰度水源地カラ水ガ川ノ中ニ流レテ來ルヤウナモノデアリマシテ、其ノ流レ出シタ水ハ絶對ニ無クナルモノデハナイ、國債トシテ出サレタ資金ハ如何ナル迂余曲折ヲ經テ流レテ行キマシテモ、最後ニハ同ジ所ニ集ツテ來ル、ソコデ政府ガ資金ヲ撒布サレテカラ國債ヲ出サレテ、早ガ資金ヲ回収シテ其ノ國債ヲ消化スルト云フコトハ御焦セリニナラナクテモ、私ガ此ノ法案ニ對シテ問ハントスル所ヲ率直ニ申シマスト、國民ガ保険金ヲ掛込ム、詰リ保険會社ニ集メタ資金デ國債ヲ持タセルヤウナ方法ヲ御採リニナラナクテモ、其ノ資金ハ株式ニ投資サレルカ、社債ニ投資サレルカ、ドノ方面ニ投資サレルトシテモ、其ノ資金ト云フモノハ永久ニ無クナルモノデハナイ、例ヘバ金カラ物ヘノ傾向ト云フ

コトヲ言ヒマスルケレドモ、物ヲ買ウタ者ガアレバ賣ツタ者ガアツテ金ヲ拂ヘバ地主ガ其ノ金ル、土地ヲ買ツテ金ヲ拂ヘバ地主ガ其ノ金ヲ受取ル、工作機械會社カラ工作機械ヲ買ヘバ會社ハ金ヲ受取ル、勞働者ハ働くテ勞賈ツテ金ヲ受取ル、米屋ハ米ヲ、八百屋ハ野菜ヲ賣ツテ金ヲ受取ツテ居ル、而シテ國債ハ政府ノ信用證券デアル、其ノ國債ヲ一度設定シテ御出シニナツタナラバ、其ノ資金ト云フモノハ絶對ニ無クナルモノデハナイ、海外ニ正貨ガ流出シタモノ以外ハ資金ハ無クナルモノデハナイ、ソコデ政府ハ其ノ資金ヲ、急イデ直線的ニ掬ヒ上ゲヨウトオ焦リニナラナクテモ、恰度川ノ流ガ色々ノ田ヲ潤シテ作物ヲ育テテ、然ル後ニ又川ニ戻ツテ大海ニ注グヤウニ、其ノ資金ト云フモノハ必ず又金融市場ニ還ツテ來ルモノデアル、餘リオ焦セリニナラズニ時期ヲ少シ御待チニナルナラバ、其ノ保險會社ニ集ツタ金ト云フモノモ或ハ社債トナリ、或ハ株式トナリ、或ハ貸付金トナリマシテ出テ行ツテ、ソレガ土地ト變リ、機械ト變リ、工場ト變リ、或アルカラ、其ノ時ニハ自然ノ國債ヲ買フヨリ外ニ行場ガナイ金ナノデアリマス、詰リ國債ニ依ツテ潤ホサレタ資金ト云フモノ

ハ、窮極ハ國債ヲ買フヨリ外ニハ絕對ニ行場ノナイ金デアルカラ、政府ハ是等ノ資金ヲ受取ル、工作機械會社カラ工作機械ヲ買ヘバ時局ニ必要ナル生產力擴充ニ要スル資金ヲ優先的ニ振向ケラレテ、ソレ等ガ一廻リ迴ツテ金融市場ニ戻ウタ時ニ、國債ヲ消化サセル方策ヲ御採リニナラバ、ソコニ金ト物トノ釣合ガ取レテ、經濟的ニ所謂「インフレ」ノ豫防ガ出來ルノデアリマス、然ルサセルトシテ出タ資金ヲ外ノ方へ流レテ行カヌヤウニ、恰度水ガ氷トナツテ凍結スルヤウニ、其ノ資金ヲ國債ニ凍結サセルト、ニ國債トシテ出タ資金ヲ外ノ方へ流レテ行カヌヤウニ、恰度水ガ氷トナツテ凍結スルヲ、急イデ直線的ニ掬ヒ上ゲヨウトオ焦リニナラナクテモ、恰度川ノ流ガ色々ノ田ヲ潤シテ作物ヲ育テテ、然ル後ニ又川ニ戻ツテ大海ニ注グヤウニ、其ノ資金ト云フモノハ必ず又金融市場ニ還ツテ來ルモノデアルノ不釣合ガ生ズル、私ハ此ノ點ニ對スル力擴充ニ必要ナ資金ヲ貸スモノモ無クナツテ、產業界ガ萎縮致シマシテ、茲ニ物ト金トノ不釣合ガ生ズル、國債ガ消化サレル根本的ノ認識ガ、當局ニ於テハ缺ケテ居ルノデハナイカト思フ、國債ガ消化サレルノハ當局ガ色々宣傳獎勵サレテ居ル爲デハナイ、又國民ノ貯蓄ガ増加スルノモ當局ノガイケナイナラバ、只今ハ御答辯ヲ聽イテ居ル時間ハナイカラ、又他ノ機會ニ於テ御示ラ願ヒマセウシ、又口ノ先ノ争デハ水掛け論ニナリマスカラ、後日書面等ニ於テ之ニ對スル當局ノ意見並ニ認識ヲ伺フコトニシテモ宜イト思ヒマス、是ハ何トシテモ動力スコトノ出來ナイ眞理デアル、此ノ點ニ對シマシテハ生命保險業ニ關係致シマス者ニ、非常ニ大キナ關聯ノアルコトデアリマスカラ、只今私ノ申シマシタコトニ付テノ御意見ダケ、御伺致シタイト思ヒマス

モノダラウト思フ、ソコデ其ノ點ハ私ガ茲デ獨リ獨自ノ研究ヲ述ベルマデモナク、最早學說トシテ殆ド定マツテ居ル、我國ニ於キマシテハ京都帝大ノ小島昌太郎博士ガ、相當緻密ナル研究ヲ發表シテ居ル、尙ほ政府ハサウ云フ新シイ學說理論ノミデナク、實證的ニ證明サレルコトヲ取上げテ、サウシテ一般經濟界ニ不安ヲ與ヘヌヤウニ、特ニ此ノ保險業法ノ改正法ニ於テハ、相當生保資金ニ依ツテ國債ヲ消化セシメヨウト云フ意圖モアルヤウデスガ、ソレ等モ生產力擴充方面ノ資金ノ供給ヤ、產業資金ノ供給ヲ妨ゲナイヤウニ將來御運用ニナル、サウナサツテモ少シモ防ゲナイト思フガ、ソレガ資金ニ依ツテ國債ヲ消化セシメヨウト云フ意圖モアルヤウデスガ、ソレ等モ生產力擴充方面ノ資金ノ供給ヤ、產業資金ノ供給ヲ妨ゲナイヤウニ將來御運用ニナル、サウナサツテモ少シモ防ゲナイト思フガ、ソレガイケナイナラバ、只今ハ御答辯ヲ聽イテ居ル時間ハナイカラ、又他ノ機會ニ於テ御示ラ願ヒマセウシ、又口ノ先ノ争デハ水掛け論ニナリマスカラ、後日書面等ニ於テ之ニ對スル當局ノ意見並ニ認識ヲ伺フコトニシテモ宜イト思ヒマス、是ハ何トシテモ動力スコトノ出來ナイ眞理デアル、此ノ點ニ對シマシテハ生命保險業ニ關係致シマス者ニ、非常ニ大キナ關聯ノアルコトデアリマスカラ、只今私ノ申シマシタコトニ付テノ御意見ダケ、御伺致シタイト思ヒマス

○相田政府委員

國債ヲ直グニ生命保險ヤ

其ノ外色々ナモノニ持タシメナクテモ、結ツテ來テ、國債ノ外ニハ行キドコロガナ、其ノ時ニ國債ノ應募ニ向ハセタナラバ宜イデハナイカト云フ御意見モ拜察致シタノデアリマスガ、途中ニ於キマシテ是ガ時局カラ見マシテ、餘り急ガナイデモ良イ方面ニ使ハレルト云フヤウナコトガアルカモ知レマセヌ、時局ト物資ノ關係ニ於キマシテ、今日ハ一ツ控ヘテ貰ヒタイト云フヤウナ方面ヲ、其ノ資金ガ通ツテ又還ツテ來ルト云フヤウナコトガ、アルカモ知レマセヌノデ、ヤハリ其ノ最後ノ金融市場ニ出テ來ルマデ待ツテ居ル譯ニハ參ラヌノデハナイカト存ズルノデアリマス、ソレカラ生命保險ニ國債ヲ持タセルト云フヤウナコトヲ何カニ力ヲ注ガセタ方ガ、宜イノデハナイカト云フヤウナ御趣旨ニ拜セラレル點モゴザイマシタガ、成程生命保險ニ限ラズ金融機關ニハ、生産力擴充ノ方面ニモ相當ノ力ソレト同時ニヤハリ國債ノ消化ニ付キマシテモ、生命保險ハ生命保險デ相當ノ貢獻ヲ盡シテ貰ハナケレバナラヌノデアリマス、テ保險會社ニ於キマシテモ、今後トモ公債ハヤハリ出來ルダケ持ツテ戴キタイ、斯ウ云フ考ヲ私共ハ懷イテ居ル次第デゴザイマス、色々學說上ノ御話ガゴザイマシタガ、昨年是ガ投下資金ノ三分ノ一ハ國債ニ投資

ヲシヨウト云フヤウナ申合セモ、サウ云フヤウナ趣旨カラ出來テ居ルコトト考ヘルノ時ニ、銀行ガ國債ヲ持テバ宜シイデハナイカト云フ考モ、確ニ一ツノ考デアルトハ存ジマスルガ、今日國債ノ消化ニ付テ政府ガ執ツテ居リマス方策ハ、サウ云フ金融機關ニ於ケル消化ヲ求ヌルバカリデアリマセヌノデ、其ノ外直接國民ニモ持ツテ貰フ、生命保險ニモ、信託會社ニモ其ノ他各方面ニモ、出來ルダケ多方面ニ之ヲ持ツテ貰フ、斯ウ云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマシテ、今日ノヤウニ毎年四十億或ハ五十億ノ公債ヲ出サナケレバナラヌト云フ時代ニ於キマシテハ、ヤハリ是ハサウセザルヲ得ナイト思フノデアリマス、又サウ云フ方針ヲ執ツテ居リマス、成績モ實ハ大藏大臣カラモ屢々スムデモ、其ノ方ハ寧ロ生産力擴充資金ヤ何カニ力ヲ注ガセタ方ガ、宜イノデハナイカト云フヤウナ御趣旨ニ拜セラレル點モゴザイマシタガ、成程生命保險ニ限ラズ金融機關ニハ、生産力擴充ノ方面ニモ相當ノ力ソレト同時ニヤハリ國債ノ消化ニ付キマシテモ、生命保險ハ生命保險デ相當ノ貢獻ヲシテ戴カナケレバナラヌト云フ考カラ、ス、色々學說上ノ御話ガゴザイマシタガ、昨年是ガ投下資金ノ三分ノ一ハ國債ニ投資

ヲシヨウト云フヤウナ申合セモ、サウ云フヤウナ趣旨カラ出來テ居ルコトト考ヘルノ時ニ、銀行ガ國債ヲ持テバ宜シイデハナイカト云フ考モ、確ニ一ツノ考デアルトハ存ジマスルガ、今日國債ノ消化ニ付テ政府ガ執ツテ居リマス方策ハ、サウ云フ金融機關ガ執ツテ居ルニ拘ラズ表面同ジヤウナ場合モアルト思ヒマスルノデ、是ハ又他ノ機會ニ於キマシテ篤ト御意見ヲ伺ツテ、研究致シタイト存ズル次第デアリマス

○田中委員長 ソレデハ是デ暫ク休憩致シマシテ、午後ハ二時ヨリ再開致シマス

午後零時二十三分休憩

午後一時八分開議

○田中委員長 午前ニ引續キ開會致シマス、質問ガ保留サレテ居ツタ中村君ニ發言ヲ許シマス——中村君

○中村委員 午前中聽イテ途中ニナツテ居リマス、成績モ實ハ大藏大臣カラモ屢々スムデスガ、此ノ保険ノ勸誘ノコトニ付テモウ一ツ聽キタイノデスガ、他ノ保険會社トノ比較トカ或ハ利益ノ豫想ト云フヤウナモノハ、此ノ條文ヲ見マスト文書圖畫ヲ使用スルコトハ出來ナイト云フ風ニ書イテアリマスカラ、外交ノ數ハ相當ニアルト私ハ思フ、所ガ此ノ外交タルヤ實ニ悲慘ナモノデ、何デモ勤務ノ年限ガ平均三年ダサウデアリマス、短イノニナルト外務員ニナツテカラ半年或ハ一年デ誠ニナツテシマフ、所ガ此ノ外務員ニ對シテハ能ク新聞ナドニ廣告ガ出テ居リマスルガ、誰デモナレル、他ノ方面ニ就職スルノハ中々出來ナクテモ、

○牧政府委員 口頭ヲ以テヤルノハ法律上禁止シテ居リマセヌ

○中村委員 ソレデハドウモ取締規則ガ甚ダ不徹底ニナツテシマツテ、支書ヤ圖畫デハイケナイガ、口デハ幾ラ喋ツテモ宜イト云ブノデハ、此ノ取締規則ト云フモノハ全ク意味ヲ爲サヌヤウニナルト思フノデアリマスガ、其ノ點ハ若シサウ云フ御趣旨デアルナラバ、何等カ一ツ取締方針ヲ變ヘナケレバ意味ガナイト思フ、是ハ特ニ田川委員カラ其ノ點ヲ御注意ガアリマシタノデ質シテ置クノデス、モウ一ツ保険勸誘員ノ身分ニ付テ、私ガ政府ニ考ヘテ貰フ必要ガアルト思ヒマスノハ、保険ニ從事シテ居リマス從業員ハ約二十萬人カアル、其ノ中九割ト云フモノハ所謂外交ダト言ハレテ居ルノデアリマスカラ、外交ノ數ハ相當ニアルト私ハ思フ、所ガ此ノ外交タルヤ實ニ悲慘ナモノデ、何デモ勤務ノ年限ガ平均三年ダサウデアリマス、短イノニナルト外務員ニナツテカラ半年或ハ一年デ誠ニナツテシマフ、所ガ此ノ外務員ニ對シテハ能ク新聞ナドニ廣告ガ出テ居リマスルガ、誰デモナレル、他ノ方面ニ就職スルノハ中々出來ナクテモ、

○牧政府委員 口頭ヲ以テヤルノハ法律上

居ルカラ、初メノ中ハ親戚知合ト云フモノヲ勧誘シテ行クガ、纏テ勧誘シ盡スト後ハ普通ノ手腕ノ者デハ取レナイサウデス、デスカラ自分ノ知合ヤ親戚ヲ散々頼ンデ歩イテ、半年ヤ一年ハソレデ外務員ガ勤マルサウデスガ、ソレカラ後ハ大部分ノ者ハ契約ガ取レナイノデ、誠ニナツタリ自分デ辭メテシマフノデ、三年ニモ満タナイトハレテ居リマス、中ニハ契約者カラ約ハレテ居リマス、中ニハ契約者カラノ委託サレタ金ヲ使ヒ込ンダリ、或ハ契約ヲ取ル爲ニ運動費ヲ使ツタリ、或ハ保險醫ヲ御馳走シタリスルヤウナコトデ金ヲ使ツテシマツテ、散々ナ目ニ遭ツテ拋リ出サレルト云フヤウナ外務員ノ生活ヲ吾々ガ見ル時ニ、外務員ヲ野放シニシテ置イテ、保險會社ニ搾ラレルダケ搾ラレテ、後ハ拋リ出サレルト云フヤウナ外務員ノ制度ニ對シテ、外務員ノ採用トカ身分ニ關シテ、何等カ保護スルヤウナ方策ヲ御考ニナツテ居ラノデアリマス

○牧政府委員 保険ノ外務員ハ、登録セラレテ居ル者ガ十七万餘アルト思ヒマスガ、是等ノ者ニ對スル待遇ト致シマシテハ、保險會社ガ——其ノ仕事ノ性質上カラモ來ルノデアリマスガ、出來高拂ニ依ヅテ勸誘料ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、隨テ出來高ヲ舉ガルコトニ依ヅテ報酬ヲ高メヨウトスルガ爲ニ相當努力シ、其ノ努力ガ程度ヲ越シテ弊害モ生ジテ來ル譯デアリマス、其ノ生活安定若クハ身分ニ付テノ考慮ガ加ヘラレテ居ルカト云フ點デアリマスガ、是ハ保險會社全體ノ問題デアリマシテ、或ル一社ニ於テサウ云フコトヲサセルト云フダケデハ、效果ガナカラウカト思ヒマスノデ、是等ノ點ニ付キマシテモ保險會社全般ヲ考慮ニ入レマシテ、適當ナ生活安定方法等ヲ考ヘテ見タイト思ツテ居リマス

○中村委員 鬼ニ角澤山ノ外務員ガ、會社ヲ誠ニナツテカラノ後ト云フモノハ、洵ニ悲慘ナ狀態デアリマシテ、取付キ易イモノダカラ之ニ皆取付クノデアリマスケレドモ、一二年手先トシテ使ハレレバ、ソレデ後ハ拠リ出サレルト云フノガ、現在ノ外務員ノ運命デアリマス、私ハ此ノ外務員ノ保護ノ爲ニ何等カノ方法ヲ執ラレル必要ガアルト思ヒマシテ、其ノ點ニ付テノ希望ヲ申上げテ置クノデアリマス、アト二三點此ノ改正案ノ條文ニ付テ不明ナ點ヲ御尋シテ置キタイト思フノデスガ、其ノ第一ハ百四十二條ノ第四號ノ、會社ノ事業ノ範圍外ニ於テ投機取引ノ爲ニ會社財産ヲ處分スルコト

ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、隨テ出來高ヲ舉ガルコトニ依ヅテ報酬ヲ高メヨウトスルガ爲ニ相當努力シ、其ノ努力ガ程度ヲ越シテ弊害モ生ジテ來ル譯デアリマス、其ノ生活安定若クハ身分ニ付テノ考慮ガ加ヘラレテ居ルカト云フ點デアリマスガ、是ハ保險會社ニ關スルモノデアリマシテ、振合上同ラシムルト云フヤウナ趣旨カラ致シマシテモ、是ハ禁止スルノガ當然ダト思フノデアリマスガ、ソコニ書イテアリマス「事業ノ範圍外ニ於テ」ト云フノハ、事業ノ外ニ於テハ投機ノ取引ヲヤツテハイケナイト云フノデスケレドモ、事業ノ範圍内ニ於テモ投機取引ト云フヤウナコトハ、私ハ許サレナイト思フノデス、一體事業ノ範圍外トカ範圍内ト云フヤウニ、ニツニ分ケテアルノガ分ラナイ、私ハ保險會社ハ投機取引ノ爲ニ本デ行クベキガ本當デアラウト思フ、是ハ會社ノ財產ヲ處分シテハイケナイト云フ一事業ノ範圍内ニ於テナラバ、投機シテモ宜イト云フ風ニ解釋シテ宜イノヤラ分ラナイガ、一體事業ノ範圍外ト云フヤウナ文字ヲ入レテ居ルノガ甚ダヨカシト思フ、事業ノ範圍内ニ於テモ投機ナント云フモノハ禁止スベキモノダト思フノデスガ、其ノ點ハカト思ヒマス、又事實上ハサウ云フコトハナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○中村委員 事實上ハモウ事業ノ範圍ノ内外ヲ問ハズ、投機取引ヲヤツテハイケナイト解説シテ宜シイデスカ

○牧政府委員 觀念上ハ範圍内ト云フコト

ハ考ヘラレナイト考ヘテ居リマス

○中村委員 觀念上考ヘラレルノデス、事業ノ範圍外ニ於テハイケナイト云フスウ云

フ文字ガアレバ……ナケレバ考ヘラレスカモ知レマセヌケレドモ、範圍外ト云フ外ノ字ヲ置イテオイテ、内ガ考ヘラレナイト云

フヤウナコトハ、私ハ餘程ドウカシテ居ルト思フノデス、外ガアレバ内ヲ考ヘラレナレハナケレバ考ヘナイカモ知レマセヌケレ

ドモ、外ハイケナイト云フノガツタラ、内ハ宜イダラウト云フコトヲ誰デモ考ヘルダラウ、觀念上考ヘラレルカラ私ハ言フノデ、考ヘラレナイト云フ考デアリ

○牧政府委員 實際上ナイト云フ考デアリマスガ、商法ノ株式會社ノ罰則ノ規定ガ、保険會社ニ付テモ適用ニナツテ居リマス、隨テ其ノ釣合ヲ取ル意味ニ於キマシテ、斯ウ云フ規定ヲシタ譯デアリマス

○中村委員 ソレデハ是ハ釣合ノ爲ニアル

ナイト云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、後ニナツテ實施ニナツテカラ、キット

私ハ問題ニナツテ來ルト思フ、特ニ會社ノ半ヲ、或ル保険會社ガ持ツテ居ル、サウシテ其ノ會社ノ重役トカ幹部ノ者ハ、其ノ保

來ル文句ダト思フカラ聽クノデスガ、唯釣合上アルノダナント云フヤウナコトデ、解釋シ放シニシテ置イテ差支ナケレバ私ハ宜

イノデス

○牧政府委員 保險會社ノ事業ノ範圍内

デ、投機取引ノ爲ニ會社財産ヲ處分スルト云フコトハ、アリ得ナイコト思ヒマス、思ヒマスガ、株式會社タル保険會社ニ商法ノ株式會社ノ罰則ノ規定ガ別ニアリマスカ

ラ、釣合上混同ヲ來サナイ爲ニ、規定シタノデアリマス

○中村委員 ドウモ能ク意味ハ分リマセヌケレドモ、釣合上置イテオイタト云フコト

以外ノ解釋ガ願ヘナイヤウデスガ、ソレデハソレハ分ラナイ儘ニ致シテ置キマス、ソレカラ第五條ニ「保險會社ハ他ノ事業ヲ營ムコトヲ得ズ」斯ウ云フコトガアリマスガ、是ハ現在ノ保險業法ニモアルノダト思ヒマス、

現在ノ保險業法ニモアルノダト思ヒマス、ハナコトハ幾ラデモアルト思フ、例ヘバ其ノ會社ノ株式ニ於テ過半數ニ達シナクテモ、ナクトモ、殆ド會社ノ實權ヲ握ルト云フヤウナコトハ幾ラデモアルト思フ、例ヘバ其ノ會社ニ大ニ資金ヲ貸出シテヤツテ置イテ、裏面ノ方カラ實際ニハ殆ド其ノ經營

合ハ一體ソレデハドウナルデセウ、表面上ハ他ノ事業ニ名前ヲ出シテハヤラスケレドク同ジ意味ダト思フノデスガ、斯ウ云フ場

ノデ、別ニ外ト云フモノニ特ニ説明ハ出來

ナイト云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、後ニナツテ實施ニナツテカラ、キット

實際ノ運用ノ上ニ於テ、私ハ問題ニナツテ

險會社ノ自由ニナル人ヲ入レテ置クト云フ

ヤウナコトニナリマスルト、事實上ハ保險會社ガ殆ド其ノ實權ヲ握ルト云フヤウナコトニモナリ得ルト思ヒマス

○中村委員 モウ一つ、次ニ第六條ノ規定

デゴザイマスルガ、保險會社ノ常務ニ從事スル取締役ヤ監査役ヤ支配人ニ付テハ、他ソンナコトハ構ハヌト云フヤウナ御趣旨デゴザイマセウカ、其ノ點ヲ一ツ明確ニシテ置キタイト思ヒマス

○牧政府委員 第五條其ノモノノ適用ハゴザイマセヌガ、他ノ會社ヲ支配シテ行クト云フヤウナコトハ、資產ノ運用ノ制限モゴザイマ持ツテ、他ノ會社ヲ半數以上ノ株ヲ

○中村委員 過半數以上ト云フタラ或ハ例シテ、弊害ヲ除クコトニ努メテ居リマス

○中村委員 過半數以上ト云フタラ或ハ例シテ、弊害ヲ除クコトニ努メテ居リマスガ、過半數デナクトモ、殆ド會社ノ實權ヲ握ルト云フヤウナコトハ幾ラデモアルト思フ、例ヘバ其ノ會社ノ仕事ニ對シテ事實上勢力的ニヤルコトガ出來ナイト云フ風ニナルノダト思フ

○中村委員 サウスルト外ノ會社ノ所謂常務取締役ト云フヤウナモノデナクトモ、他マスケレドモ、サウ云フコトニ對シテハ一カ、シナイトカ云フコトヲ計リマスカ、何

マスケレドモ、サウ云フコトニ對シテハ一カ、シナイトカ云フコトヲ計リマスカ、何

マスケレドモ、サウ云フコトニ對シテハ一カ、シナイトカ云フコトヲ計リマスカ、何

マスケレドモ、サウ云フコトニ對シテハ一カ、シナイトカ云フコトヲ計リマスカ、何

ノト致シマシテ、取締ルコトガ出來ルト考

○牧政府委員 其ノ取締役若クハ監査役ガ、

ヘマス

○中村委員 モウ一つ、次ニ第六條ノ規定

デゴザイマスルガ、保險會社ノ常務ニ從事スル取締役ヤ監査役ヤ支配人ニ付テハ、他

ノ常務ト云フノハ所謂常務取締役トカ云フノ常務ト云フノカ、ソレトモ事實上常務ニ携ル務ト云フノカ、ソレトモ事實上常務ニ携ル御解釋ニナリマスカ

○牧政府委員 今御話ノアトノ場合ヲ考へウナコトハ、資產ノ運用ノ制限モゴザイマ

○中村委員 今御話ノアトノ場合ヲ考ヘテ居リマス

○中村委員 サウスルト外ノ會社ノ所謂常務取締役ト云フヤウナモノデナクトモ、他マスケレドモ、サウ云フコトニ對シテハ一カ、シナイトカ云フコトヲ計リマスカ、何

マスケレドモ、サウ云フコトニ對シテハ一カ、シナイトカ云フコトヲ計リマスカ、何

マスケレドモ、サウ云フコトニ對シテハ一カ、シナイトカ云フコトヲ計リマスカ、何

マスケレドモ、サウ云フコトニ對シテハ一カ、シナイトカ云フコトヲ計リマスカ、何

マスケレドモ、サウ云フコトニ對シテハ一カ、シナイトカ云フコトヲ計リマスカ、何

其ノ會社ニ於テ持ツテ居ル地位其ノ他ノ點ヲ考慮シマシテ、實質ヲ見テ決メルト云フ  
蓄銀行業法等ノ規定ト同ジコトデアリマシテ、實質ヲ以テ其ノ常務デアルカドウカラ  
コトヲヤツテ居リマス、是ハ銀行業法、貯  
レデハ保留サレテ居ツタ紅露君ニ發言ヲ許  
シマス

長老カラ御伺スルコトニ致シテアツタノデ  
アリマスガ、ドウ云フ譯カ——御忘レニナ  
ツタノカ、御中止ニナツタヤウデアリマス  
カラ、又私カラ伺フコトニ致スノデアリマ  
ス、ソレハ八十四條ト八十六條ト八十七條  
デゴザイマス、併シ此ノ八十四條ニ付テハ  
八木先輩ハ何カ誤解シテ居ラツシヤルノデ  
ハナイカト思フノデアリマス、所謂均等利  
廻評價ノ方法ニ關スル規正デアリマシテ、  
是ハ申上ゲルマデモナク、昭和六、七年ノ  
頃、有價證券ノ非常ニ暴落致シマシタ際ニ、  
業者ガ之ヲ憂ヘマシテ、寧ロ商工當局ニ對  
シテ此ノ方法ヲ採用シテ貰ヒタイト云フコ  
トヲ度々陳情シタノデアリマシタガ、御承  
知ノ如ク其ノ後經濟界ノ變動ニ依リマシテ、  
有價證券ガ又值上リヲシマシタ爲ニ、立消  
エニナツテ居ツタト云フヤウナ歴史ヲ持ツ  
テ居ル條文デアリマシテ、此ノ際、政府ガ  
八十四條ヲ御入レニナツタノデアルカラ、  
業者ハ寧ロ喜ンデ居ルコトデアラウト思フ  
ノデス、此ノ歴史カラ觀マシテモ、此ノ條  
文ヲ讀ミマシテモ何等疑問ガアリマセヌノ  
デ、私ハ此ノ點ニ關スル質問ハ止メマス、  
ソレカラ八十六條ト八十七條デアリマス、  
所謂評價益、賣却益ノ積立金ノ問題デアリ  
マスガ、八木先輩ノ先日ノ御質問ハ業者ノ

立場カラ御尋ノヤウデアリマシテ、若干此ノ問題ニモ觸レテ居ツタノデハナカツタカ、ト云フヤウニ、私ハ伺ツタノデアリマス、ソコデ私ハ、此ノ切迫シテ居リマス時間中ニ、此ノ規定ヲ設ケマシタ理由ト云フヤウナコトノ質問ハ、省略シタ方ガ宜イト思フノデアリマスガ、唯、業者側トシテ之ニ付テ聽キタイノハ、所謂有價證券ノ利息附ノ場合ニハ、之ヲ此ノ儘持ツテ居レバ利息收入ニナルノヲ、賣却スルト賣却益トシテ積立テ行カナケレバナラヌノデ、ソレハ困ル、又實情ニモ反スル、隨テ但書ニアル通り、認可ニヨリ全部又ハ一部ヲ積立テルコトヲ緩和シテ貰ヒタイ、ト云フ此ノ點デアラウト想像スルノデアリマス、ソレデ私ノ質問ト八木長老ノ質問トヲ併セマシテ、政府カラ然ルベク御答辯ヲ願ツテ置キマシテ、速記ニ止メテ置キタイト思ヒマス○牧政府委員　此ノ評價益、賣却益ノ積立ニ付キマシテハ、八木サンニ、松田サンカラモ御尋ガゴザイマシテ、當時御答シテ置キマシタカラ、ソレデ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、之ニ付テ二點御尋ガアルヤウニ、他ノ場合ニ私承ツタノデアリマス、其ノ一ツハ今紅露サンノ仰シヤル通リニ株式ヲ配當附デ賣ツタ場合、配當ヲ取ツテ賣レバ利息

收入ニナルモノヲ、配當附デ賣ルト云フヤ  
ウナ場合ガアル、サウ云フ場合ニハ決算上  
非常ニ困ルヤウナ場合ガアルカラ、何カ適  
當ナ方法ハナイカト云フ御尋ノヤウデゴザ  
イマス、株式ヲ配當附デ賣レバ、賣却代金  
ノ中ニ含マレマスカラ、利益ノ生ジタ場合  
ニモ賣却益ニナツテシマフ譯デアリマス、  
併シナガラ保険會社ニ於キマシテハ、多ク  
ノ場合配當附デ買フト云フ場合ノ方ガ多イ  
ノデアリマス、寧ロ買入價格中ニ配當ヲ含  
ムト云フ場合ガ多カラウト思フノデアリマ  
ス、併シ御尋ニナルヤウナ場合モアリマス  
ガ、何等カノ事情デソレ等ノモノヲ利息收  
入ニスル必要ガアルヤウナ場合ニ於キマシ  
テハ、第八十六條ノ但書ニ依リマシテ、其  
ノ事由ノ如何ニ依リマシテ積立ヲ免除スル  
コトガ出來ヤウト考ヘテ居リマス、ソレカ  
ラモウ一つノ點ハ、評價益ハ斯ウ云フ積立ヲ  
セシムルコトガ適當デアルカ、賣却益ハモ  
ウ既ニ生ジタ利益デアツテ、之ヲ利益ニ計  
上シテモ宜イデハナイカト云フ御質問ト、  
御意見ヲ合ハセタヤウナ御尋デゴザイマシ  
タ、評價益ヲ出シテソレヲ例ヘバ利益處分  
ヲスルコトハイケナイト云フコトハ、十分  
御分リデゴザイマスガ、評價益ノミヲ押ヘ  
テ賣却益ヲ其ノ儘ニシテ置キマスト、收支ノ

決算ノ苦シイ會社ニ於キマシテハ、賣却益、ナラバ宜シイト云フコトニナツテ居ル關係上、賣ラナイデ濟ムヤウナモノヲ賣ル、賣却益ヲ出スガ爲ニ無理ナコトヲスルト云フヤウナ結果ヲ生ズルコトハナカラウカ、結局評價益ヲ押ヘタ趣旨ガ沒却セラレルモノト考ヘマシテ、評價益ト賣却益トヲ同ジシテ居ル譯デゴザイマス。

○紅靈委員 大體ソレデ宜シイト思ヒマス、ソレデハ、私、——自分ノ質問ニ入ルノデアリマスガ、私ノ「質問」ハ數點デアリマス、尙ホ最後ニ二點ダケ政府ニ對シテ「質問」旁々「御注意」ト云フヨリハモット強イ意味ニ於テ「警告」ヲ發シテ置キタイト思フノデアリマス、即チ其ノ「警告」ノ第一點ハ私ヨリ「本會議」デモ御質問申上ゲタヤウニ、本法ニハ非常ニ強イ、又非常ニ效果ノ顯著ナ、又效力ノ及ブ範圍ノ廣大ナ「命令」ガ主務大臣ニ於テ而モ單獨ニ發シ得ルコトニナツテ居ルノデアリマス、隨テ、此ノ「命令」ヲ御出シニナルニ付テハ、深甚ノ御考慮ヲ、拂ハケレバナラヌコトハ、勿論デアリマスルガ、私ノ體驗シマシタ一例ヲ、數分間申上

マデシテ、如何ニ、此ノ中央ノ「命令」ガ、地方ニハ、ヒドク響キ、又強ク波及シテ居ルカ、ト云フコトヲ御記憶願ツテ、政府當局ノ反省ヲ促シ、且ツ御質問申上ゲタイト思フノデアリマス、ソレカラ第二ノ「警告」——「質問」ト申シマスノハ「本法案」ヲ通讀スル時ニ於テ、又審査スル時ニ於テ幾多ノ矛盾、撞著、不備、缺點ヲ發見スルノデアリマス、モット惡イ言葉デ申上ゲマスレバ、「拔穴」ガ澤山アル、所謂「子供騙シ」、「素人騙シ」ノ「法案」デアルト云フコトガ出来ルノデアリマス、ガトテモ今日ハ、時間ガアリマセヌカラ、——申上ゲルコトハ出來ルノデアリマス、ガトテモ今日ハ、時間マセヌガ、其ノ所謂、拔穴、不備、缺點ヲ數箇所バカリ指摘致シマシテ、斯ウ云フ缺點ガアル、ト、私ハ、思フカラ、本法案ガ、若シ、假ニ、通過シ、法律トシテ實施サル場合ニハ、是非トモ御注意願ヒタイ、トス、

云フコトヲ申上ゲテ置キタイ、ソコデ先づ伺ヒタイノハ十一條ノ問題デアリマス、之ヲ見ルト、「保險會社」ハ「命令」ノ定ムル所ニ依リ其ノ「事業」ニ關シテ「統制協定」ヲヤルコトガ出來ルコトニナツテ居ル、ソシテ「統制協定」ガ出來タラ、主務大臣ニ「届出」デナケレバナラナイ、「變更」トカ「廢止」ヲシテ、

マデアレバドウ云フ效果ガ發生スルノカ、ドウカト云フ點デアリハドンナコトヲ言フノカ、第二ニ「統制協定」ガアレバドウ云フ效果ガ發生スルノカ、此ノ御案ノ十一條ト民法九十條ノ所謂公序良俗ノ定ムル所ニ依リトアルガ、タル場合ニハ「命令」ノ定ムル所ニ依リトアルガ、其ノ内容ヲ伺ヒタ、此ノ「統制協定」ヲヤル場合ニソレニ入ツテ居ルモノ——所謂「加盟會社」——此ノ「加盟會社」タルト「非加盟會社」タルトヲ問ハズ、效力ガ及ブト定メタ場合ニソレニ入ツテ居ル會社ハ格別トシテアリマスガ、若シサウダ尔斯ルト「届出」デタ時カラ、日本ノ會社タルト外國會社タルトヲ問ハズ總テ日本ニ存在シテ居ル會社ニハ、當然其ノ效力ガ及ブト云フコトニナルト思ヒマスガ、其ノ「行政命令」ハ、一體、ドンナ理由ト、ドノ法律上ノ效力デ及ブノカ、其ノ理由ト根據ヲ伺ヒタイ、

（委員長退席、西川委員長代理著席）  
第六トシテハ、ソノ效果ハ欲シナイ場合デ害ガ出テ來ハセヌカト思ヒマスガ、以上ノ數點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ  
○牧政府委員 初ヌノ三點位マヂハ先程中村サンニ御答シタコトニ依ツテ御諒承願ヒテハ、協定ヲ爲シタル場合ニ於テ届出ヅベキ期間等

ヲ命令デ定メヨウト思ツテ居リマス、是ハ  
重要産業統制法ナドノ例ニ依ツテ命令ヲ作  
リタイト思ツテ居リマス、ソレカラ十一條  
ノ第三項ノ御尋ノヤウデアリマシタガ「ア  
ウトサイダー」及ビ「インサイダー」何レニ  
對シマシテモ、強制的ニ此ノ命令ニ從ハセ  
ル場合ガアル、サウ云フ命令ヲ發スル場合  
ニハ、其ノ命令ガアツタコトヲ告示スル例  
ニナツテ居リマシテ、之ヲ關係者ニ知ラシ  
ムルコトノ方法ヲ採ツテ居リマス、勿論之  
ニ從ハナイ者ガアツテ、サウシテ業界ノ健  
全ナル發達ニ支障ヲ來スヤウナ場合ニ、斯  
ウ云フ命令ガ發セラレル譯デアリマス、欲  
スルト欲シナイトニ拘ラズ之ニ從ハシムル  
コトニナルノデアリマス、ソレカラ民法ト  
ノ關係ハ、民法九十條ノ所謂公序良俗ノ規  
定ガ働ク場合モアリマセウガ、是ハ別ノ見  
地カラ此ノ統制協定其ノモノヲ取消サシム  
ル場合ヲ言ツテ居ル譯デアリマス、第八ノ  
斯ウ云フ協定ノアルコトヲ知ラナイ會社ニ  
對シテハ、酷デハナイカト云フ御尋デアリ  
ニハ、告示其ノ他ノ方法ヲ以テ知ラシムル  
コトニ努メル譯デアリマス

○紅露委員 次ニ「管理」ノ意義ト範圍ガ此  
ノ法案上明カニナツテ居ナイノデアリマス、寧ロ改  
民法ノ「管理」トモ違フヤウニ思ヒマスガ、  
第一ニ伺ヒタイコトハ「管理」ノ意義ト性質  
ト效果デアリマス、之ニ付テ御答辯ヲ願ヒ  
タイ、ソレカラ民法ノ「管理」ト處方違フ  
トヲ管理ト言フノデ、ドウ云フコトヲヤ  
ラセテ、ドウ云フ效果ガアルノカ、此ノ「管  
理」ガ始マツタ場合ニ會社ト政府トノ關係  
ハドウナルカ、尙ホ會社ト會社トノ關係ハ  
ドウナルカ、ソレカラ又會社ト第三者トノ  
關係及び會社ト契約者トノ關係ハドウナル  
カ、斯ウ云フ諸方面カラ御答ヲ願ヒタイト  
思ヒマス

○牧政府委員 管理ノ法律上ノ意義、性質  
效果ニ付テノ御尋デアリマスガ、管理ハ主  
務大臣ガ行政上ノ特別ノ必要ニ依リマシテ、  
會社ノ業務ニ必要ト認ムル制限ヲスル、之  
ヲ自己ノ支配下ニ置ク所ノ一種ノ形成的行  
政分ノヤウニ考ヘテ居リマス、併シ主務  
大臣ガ自ラ之ヲ行フノデハアリマセヌデ、特  
定ノ保険管理人ヲシテ之ヲ行ハシムル、此  
ノ點デ嚴正ナ意味ニ於ケル國家管理デハア  
リマセヌ、此ノ意味ニ於キマシテ改正法ノ  
規定スル管理ハ、諸外國ノ保険業法ノ規定  
スル保険監督官ノ行フ所謂強制管理ノ制度

トハ異ツテ居ルヤウデゴザイマス、寧ロ改  
正商法ノ第三百八十六條ノ規定スル會社ノ  
業務及財產ニ關スル管理命令ノ制度ニ近イ  
ト考ヘテ居リマス、即チ管理ハ主務大臣監  
督ノ下ニ保険管理人ガ行フノデアリマシ  
テ、保険管理人ハ公務員デハアリマセヌ  
ガ、著シク公法的色彩ヲ帶ビテ居ル一種ノ  
法定代理人ト云フヤウニ考ヘテ居リマス、  
管理ノアツタ場合ノ政府トノ關係ハ今申上  
ゲタ通リデアリマスガ、其ノ會社ト契約者  
トノ關係等ニハ法律上ノ直接ノ效果ハナイ  
モノト考ヘテ居リマス

○紅露委員 實ハ交通事業ノ統制法ノ時ニ  
モ鐵道當局ノ御答辯ガ非常ニ曖昧デアツタ  
ノデアリマス、例ヘバ富士身延鐵道ガ非常  
ニ經營困難ニ陥ツテ鐵道省ガ管理ヲシテ居  
ル、サウ云フ場合ニ山崩レガアツテ逆モ駄  
目ダト云フヤウナコトヲ假定シテ、其ノ隧  
道ヲ再び開通サセヨリモ、敷地ヲ買收シ  
テ線路ヲ敷設シタ方ガ事業遂行上便利ダト  
云フヤウナ場合ニハ、其ノ前ノ土地ノ所有  
權ヲ拋棄シ處分シテ、新シク土地ヲ買入レ  
テ鐵道ヲ建設スルト云フヤウナ、或ル程度  
リマス

○牧政府委員 御示シノ此ノ處分ト申シマス  
ノハ、例ヘバ其ノ保有財產ヲ處分スルト云  
フヤウナ意味デアツテ、其ノ事業ノ範圍内  
ノコトヲ當然ヤル場合ニ於ケル處分ダト思  
フノデス、所ガ私ノ申スノハ幾多ノ事業ノ  
範圍外ノコトヲヤル必要ガ出來テ來タ場合  
ニモドシノヤレルノデスカ、其ノ時ニハ  
ヤハリ主務官廳ノ認可デモ經ナケレバイカ  
ナインデゴザイマセウカ、サウ云フ點デア  
リマス

テ、此法案ノ第一條ノ第二項第五號ヲ御覽願ヒマス、即チ「財産利用方法書」トアリマス、申スマデモナク、保險事業ハ免許事業ニアリマス、免許ノ申請ヲスルニハ、附屬書類トシテ第一條所定ノ書類ヲ添付シテ免許申請ヲシナケレバナラヌコトハ當然ニアリマス、所ガ第十條ノ二項ニ依リマスト、主務大臣ハ保險會社ノ業務若ハ財產ノ狀況ノ如何ニ依リ又ハ事情ノ變更ニ依リ必要アリト認ムルトキハ前項ノ事項ノ變更ヲ命ズルコトヲ得」トナツテ居リマス、即チ免許申請ノ時ニハ斯タノ方法ニ依ツテ財產利用ヲ致シマスカラ、免許ヲシテ戴キタイト云ウテモ、免許申請ヲシタ當時ト其ノ後ノ事情トガ變ツテ來ツタ場合ニハ、主務大臣ハ自己一個ノ考ヲ以テ強制命令デ、其ノ財產利用方法ハイカヌカラスウ訂正シロ、ト云フ命令ガ發セラレルコトニ、改正法ハナツテ居リマス、詰リ、主務大臣ガ其ノ必要アリト認メタ場合ニハ、財產利用ノ方法——投資方法ニ付テ、改正法ハ強制權ガ持テルコトニナツテ居リマス、此ノ度ノ日支事變ノヤウナ際、保險會社ニ或ル程度マダノ國債ノ保有ヲサ定ハ今申上ゲタ趣旨ノ爲ニ設ケラレテ居リマス、隨テ積極的ニ國債ヲ幾ラ持テト云フセヨウト云フヤウナコトモ出來得ルト思フ

員法ノ第十一條モ近々發動スルコトニナツテ居リマス、隨テ、總動員法第十一條デモ無論ヤレルノデアリマセウガ、總動員法ハ、戰時ノ場合、此ノ法案ハ平時ノ場合ニ適用ガアリマス、隨テ第一條ト第十條トノ關係ヲ考慮致シマス時ニ於テ(一)政府ハソレマデヤル御考カドウカ、(二)又ソレマデヤリ得ルヤハツキリ残シテ置キタイト思ヒマスニハツキリ残シテ置キタイト思ヒマス、權限ヲ認メタモノカドウカ、此ノ點ヲ速記ヤル御考カドウカ、此ノ點ヲ速記ヤマセヌ、言葉ヲ換ヘテ申上ゲマスレバ出来マセヌ

○牧政府委員 第一條ノ財產利用方法書

ハ所謂附屬書類ト致シマシテ之ヲ認可シ、ソレニ依ツテ財產ノ運用ヲ圖ラシムルト云フ趣旨デアリマス、斯ウ云フ制度ヲ設ケマシタ趣旨ハ、保險契約者保護ノ爲ニ、會社ノ業務、財產上ノ狀況ヲ考量セシムルト云フノガ趣旨デアリマス、隨テ保險契約者保護ノ見地カラ、サウ云フコトニ支障ノアル場合ヲ制限スル意味デアリマス、第十條ニ於キマシテハ、サウ云フ見地カラシテ非常ニ不都合ヲ生ズル場合ニ變更セシムル、變更ノ命令ガ出來ルト云フ譯デアリマシテ、此ノ規定ハ今申上ゲタ趣旨ノ爲ニ設ケラレテ居リマス、隨テ積極的ニ國債ヲ幾ラ持テト云フセヨウト云フヤウナコトモ出來得ルト思フ

○紅露委員 立法ノ趣旨ハ能ク判リマシタ、

ノデアリマス、トコロデ御承知ノ如ク總動員法ノ第十一條モ近々發動スルコトニナツテ居リマス、隨テ、總動員法第十一條デモ無論ヤレルノデアリマセウガ、總動員法ハ、戰時ノ場合、此ノ法案ハ平時ノ場合ニ適用ガアリマス、隨テ第一條ト第十條トノ關係ヲ考慮致シマス時ニ於テ(一)政府ハソレマデヤル御考カドウカ、(二)又ソレマデヤリ得ルヤマセヌ、言葉ヲ換ヘテ申上ゲマスレバ出来マセヌ

○牧政府委員 サウ云フ場合ニハ適用ハアリマセヌ、言葉ヲ換ヘテ申上ゲマスレバ出来マセヌ

○紅露委員 商工省當局ニ對スル御質問ハモウニ、三點デアリマスガ、大藏政務次官ガ御見エニナリマシテ大變御忙シイヤウデアリマスカラ、甚ダ恐入リマスガ、商工當局ヘノ御質問ヲ一寸控ヘサセテ戴イテ、大藏省ニ對シテ御尋致シタインデアリマス、ソコデ先づ第一ニ御伺ヒシタイコトハ、課稅ノ問題デアリマス、御承知ノ如ク昨年カラ稅法ガ改正サレマシテ「保險金」ニ對シテ相續稅ヲ課スルコトニナリ、五千圓マデハ課稅シナイガ五千圓以上ノ「保險金」ニ對シテハ總課稅スルコトニ改正サレタノデアリマス、申上ゲルマデモナク、此ノ「保險金」ハ「保險契約」ト云フ制度ニ依ツテ取得シタ特殊ノ財產デアリマス、保險理論カラ申シマスレバ、「保險契約」カラ得タ資產ニ對シテハ、當然、相續財產トシテ綜合課稅スベキモノデモノト思ヒマス、立法ノ趣旨ハ、能ク分リマシタガ、私ノ御伺ヒシタインハ、サウ云フシタカ、私ノ御伺ヒシタインハ、擔稅力ガアルノダカラ、課ケテモ宜イグラウト、稅源ヲ漁ツテ、ヤツテ居ルノグラウト思フノデアリマスガ、是ハ、保險理論ヲ貫ク上ヨリ見テ、一般相續財產トシテ綜合課稅スベカラザルモノト、斯様ニ考ヘルノデアリマスケレドモ、政府ハ之ヲ改正スル意思ナキヤ否ヤ、是ガ第一ニアリマス、ソレカラ第一ニ、

御伺シタインコトハ、御承知ノ如ク法人所得稅ハ株式會社ニモ相互會社ニモ課ケテ居リマス、併シ現在ノ稅法デハ營業收益稅ハ株式會社ニハ課ケテ居ルガ、相互會社ニハ課ケテ居ナイノデアリマス、是ハ租稅理論ノ上カラ當然ト思フノデアリマスガ、併シ今度ノ法案ハ御承知ノ如ク株式會社ト相互會社トガ組織ヲ變更シテドツチデモ出來ルヤウニナツタ、ソコデ狡イコトヲ考ヘレバ課稅出來ナクナルノデナイカ、即チ時時株式會社ニ變更シテ行ケバ、課稅ガ出來ナクナルヤウナコトニナルト思フノデス、一昨々日デシタカ、御尋シタ所大藏省へハ打合セ濟ダ、ト云フノデスガ、是ハド

ウ云フヤウナコトニナツテ居リマスカ、御答辯願ヒタイ、是ガ第一點デアリマス、ソレカラ第三種所得稅ノコトデアリマスガ、ソ次官閣下御承知ノ如ク、如何ニ多クノ保險支拂ツテ居ヨウトモ、又如何ニ少ク保險料ヲテハ僅ニ二百圓シカ控除シテ居ラナイノデアリマスガ是ハ相當ノ手心ト言ヒマスカ、手加減ト言ヒマスカ、ヲ加ヘテ其ノ支拂フ保險料ノ額ノ多寡ニ依リ又其ノ事情ニ依リ、ソコニ多少ノ斟酌ト手加減ヲシナケレバナラスト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ大藏當局ハ、ドウ云フヤウニ考ヘテ居ルカト云フコトガ第三點デアリマス、ソレカラ、モウ一つ伺ヒタイノハ、政府ハ非常ニ稅源ニ困ツテ、今度ノ改正稅法ナドヲ見マシテモ、色々ナモノヲ漁ツテ居ラレルヤウデアリマスガ、此ノ際學者モ色々論ジテ居リマスルシ、外國ノ立法例ヲ調べテモ、現ニ合衆國ニ於テ最モ強硬ナ「保險業法」ヲ制定致シテ居ル「ニューヨーク」ノ各州デ今現ニヤツテ居ル、監督報償稅ト申シマスカ、此ノ種、稅金ヲ課シテハ如何デスカ政府ハ保險會社及ビ外務員ニ對シ又其ノ他色々ナコトヲ監督スルニ付テ、多クノ費用ガ要ルノデアリマスカラ、大藏省ハ此處

ニ稅源ヲ御求メニナツテ「監督報償稅」ヲ取ツタラドウデセウカ、之ニ付テドンナ御尋シタイコトハ、免許稅デアリマスガ、ソレハ租稅デハナイ、手數料ノ性質ダト言ヘバ、ソレマデデアリマスガ、現ニ大藏省ハ稅ト云フ建前カラ御實施ニナツテ居ルヤウデスカラ、「免許稅」ヲ取ツタラ宜イト思ヒマス、即チ土地ヲ賣買スレバ登錄稅ヲ取ツテ居ルシ、有價證券、移轉稅、試掘稅、採掘稅モ課ケテ居リマス、其ノ他辯護士、醫師ナンカデモ登錄稅ヲ取ツテ居ル、尙又商工省ノ御管轄デモ、特許、實用新案、商標等モ皆登錄料ヲ取ツテ居ルノデアリマスルカラ、是ダケノ莫大ナ利益ヲ擧ゲテ居ル保險業者ニ對シテ、免許稅ヲ取ラヌト云フコトハ權衡ヲ失スルト思フノデス、是ハ一ツ商工省ト大藏省ト御協議ノ上、今マデノ者ニハ何カ過渡的ナ法律デモ御持エニナレバ結構デスガ、少クトモ是カラ新規ニ免許スル場合ニハ、相當ナ免許稅ヲ取ツタ方ガ宜イト思フノデアリマス、ソコデ之ニ付テ商工省ヤ大藏省ハ研究シタコトガアルカナイカ、又スカ政府ハ保險會社及ビ外務員ニ對シ又其ノ他色々ナコトヲ監督スルニ付テ、多クノ費用ガ要ルノデアリマスカラ、大藏省ハ此處

ニ稅源ヲ御求メニナツテ「監督報償稅」ヲ取ツタラドウデセウカ、之ニ付テドンナ御尋シタイコトハ、免許稅デアリマスガ、ソレハ租稅デハナイ、手數料ノ性質ダト言ヘバ、ソレマデデアリマスガ、現ニ大藏省ハ稅ト云フ建前カラ御實施ニナツテ居ルヤウデスカラ、「免許稅」ヲ取ツタラ宜イト思ヒマス、即チ土地ヲ賣買スレバ登錄稅ヲ取ツテ居ルシ、有價證券、移轉稅、試掘稅、採掘稅モ課ケテ居リマス、其ノ他辯護士、醫師ナンカデモ登錄稅ヲ取ツテ居ル、尙又商工省ノ御管轄デモ、特許、實用新案、商標等モ皆登錄料ヲ取ツテ居ルノデアリマスルカラ、是ダケノ莫大ナ利益ヲ擧ゲテ居ル保險業者ニ對シテ、免許稅ヲ取ラヌト云フコトハ權衡ヲ失スルト思フノデス、是ハ一ツ商工省ト御管轄デモ、特許、實用新案、商標等モ皆登錄料ヲ取ツテ居ルノデアリマスルカラ、是ダケノ莫大ナ利益ヲ擧ゲテ居ル保險業者ニ對シテ、免許稅ヲ取ラヌト云フコトハ權衡ヲ失スルト思フノデアリマスカラ、只今ノ所ハ之ヲ改正スルト云フ考ハゴザイマセヌ、ソレカラ、第二ノ御質疑ノ株式會社ニ變更シタ場合ノ課稅ノコトニ付テノ御質問デアリマスガ、今回ノ業法ノ改正ニ依リマシテモ、第何條カニ依リマシテ相互ノ場合ハ從來ノ如ク課稅シナイト云フ規定ヲ明ニ定メテ居リマス、其ノ趣旨ハ私ノ方カラ御答スルコトモドウカト思ヒマスガ、相互ハ御承知ノ通リ非營利法人デアル、所ガ株式會社ハ營利法人ニナルノデアリマスガ、隨テ營利法人ニ對シマシテハ、營業御考アルカ、以上ガ大體大藏省ニ對スル

御尋デアリマス、一々御答辯ヲ願ヒマスト考ヘマスノデ、是モ其ノ點御諒承ヲ願ヒマス、今回此ノ業法ニ依リマシテ、從來特典ヲ受ケタル相互カラ、株式會社ニ變更致シタ時ニ、特ニ營業収益稅其ノ他ノ課稅ヲダケヲ控除致シマス趣旨ハ、五千圓以上ノ超過額ニ付テハ課稅ヲ致スコトニシテ、大體五千圓程度ナラバ之ニ依ツテ突發不時ノ不幸ニ對シテモ十分デアラウト云フコトデ、各種ノ事情ヲ考慮ノ上、五千圓程度ノモノヲ控除スルコトニ致シタノデアリマス、ソレ以上ノモノハ擔稅力ヤ各種ノ事情ヲ考慮シ、又所得稅トカ全般ノコトヲ考慮致シマシテ、五千圓以上ノモノニ對シテハ課稅シテモ差支ヘナカラウト云フ方針デ、斯様ニ定メタノデアリマスカラ、只今ノ所ハ之ヲ改正スルト云フ考ハゴザイマセヌ、ソレカラ、第二ノ御質疑ノ株式會社ニ變更シタ場合ノ課稅ノ問題デアリマスガ、成程斯ウ云フ保証税ノ問題デアリマスガ、成程斯ウ云フ保証税ノ問題デアリマスガ、成程斯ウ云フ保

託スルト云フコトハ重大ナル國家ノ特權ヲ與ヘルコトデアリマスガ、既設ノモノニハ其

ノ儘ニシテ置イテ、新設ノモノニノミ重稅ト申シマスカ、免許稅ヲ課スルト云フコト

モ如何カト思ヒマスノデ、此ノ點ハ商工省ニ於テモ色々意見ハアラウト思ヒマス、マダ此ノ種ノ問題デ協議ヲシタコトハアリマ

セヌガ、是ハ恐らく大藏省ノ考ダケデハ決

シ兼ネマスノデ、商工省當局トモ能ク協議ヲ進メタイト考ヘテ居リマス、尙ホ只今第三番ノ御質疑ノ點ヲ思出シマシタノデ、御答申上ゲマスガ、保険料二百圓ヲ第三種所得カラ控除シテ居ル、是ハモウ少シ其ノ控除ヲ増額シテハ如何カト云フ御趣旨ノヤウデアリマスガ、御承知ノ通リニ所得税ハ先年モ其ノ免税點ヲ引下ゲタヤウナ事情モアリマス、將來ドウナルカ分リマセヌガ、大藏大臣方豫算總會或ハ増稅案等ノ委員會御答申上ゲマシタ通リニ、明年度以降ニ於テ稅法ノ根本的中央地方ヲ通ジテノ改正ヲ致シマス時ニハ、ドウシテモ所得税ヲ根幹トナサネバナラヌコトハ、是ハ議論ノ餘地ハナイヤウニ思ハレマス、サウ云フヤウナコトヲ慮致シマスト、此ノ所得税ハ斯様ナ時局ノ際ニハドウシテモ已ムヲ得ヌモノデアル、ソコデ此ノ所得税ト云フモノヲ中心ニ致ス以上ハ、是ハ大衆ト言ツテハ語弊ガアリマスガ、或ル程度其ノ所得税ノ課稅ヲ普遍化スルコトハ、勢ヒ已ムヲ得ナイコト考ヘマス、ソレヤ是ヤヲ思ヒ合セマス以上擴大スルコトハ、是ハ事情ガ許シマスルナラバ、御説ノ通ノヤウナコトニ致シタノデアリマスガ、今日ノ所二百圓以上ニ

シ兼ネマスノデ、商工省當局トモ能ク協議ヲ進メタイト考ヘテ居リマス、尙ホ只今第三番ノ御質疑ノ點ヲ思出シマシタノデ、御答申上ゲマスガ、保険料二百圓ヲ第三種所得カラ控除シテ居ル、是ハモウ少シ其ノ控除ヲ増額シテハ如何カト云フ御趣旨ノヤウデアリマスガ、御承知ノ通リニ所得税ハ先年モ其ノ免税點ヲ引下ゲタヤウナ事情モアリマス、將來ドウナルカ分リマセヌガ、大藏大臣方豫算總會或ハ増稅案等ノ委員會御答申上ゲマシタ通リニ、明年度以降ニ於テ稅法ノ根本的中央地方ヲ通ジテノ改正ヲ致シマス時ニハ、ドウシテモ所得税ヲ根幹トナサネバナラヌコトハ、是ハ議論ノ餘地ハナイヤウニ思ハレマス、サウ云フヤウナコトヲ慮致シマスト、此ノ所得税ハ斯様ナ時局ノ際ニハドウシテモ已ムヲ得ヌモノデアル、ソコデ此ノ所得税ト云フモノヲ中心ニ致ス以上ハ、是ハ大衆ト言ツテハ語弊ガアリマスガ、或ル程度其ノ所得税ノ課稅ヲ普遍化スルコトハ、勢ヒ已ムヲ得ナイコト考ヘマス、ソレヤ是ヤヲ思ヒ合セマス以上擴大スルコトハ、是ハ事情ガ許シマスルナラバ、御説ノ通ノヤウナコトニ致シタノデアリマスガ、今日ノ所二百圓以上ニ

○紅露委員 大藏省政府委員ノ御答辯ハ、大體了承致シマシタ、併シ一黠バカリ、私ノ質問申上ゲタ趣旨ヲ誤解サレタト言ツテハ甚ダ失禮デアリマスガ、御取違ヘニナツテ居ルノデハナイカト思フ點ガアリマス、其ノ一ハ相互會社ト株式會社トノコトハ、斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、狡イ業者ハ——是ハ課稅ノ實際ヲ申上ゲレバ直グ失禮ダト思ツテ差控ヘテ居ツタノデアリマスガ、株式會社ノ法人所得ハ、前年度ヲ標準ニシテ掛ケテ行クノデアリマス、サウスルト相互會社ノ時ニハ從來課稅シテ居ナイノデスカラ、相互會社ガ一タビ株式會社ニ組織變更シタ場合ニ課稅スルト云ツテモ、前年ニ課稅シテ居ナイノデアリマスカ、課稅ニ付テ調査スベキモノガナイノデ、

○松村政府委員 私ハ先程一點御答ヲ誤解シテ居リマシタ、今回ノ業法ニ依リマシテハ、株式組織ノモノカラ相互會社ニナルコトハ認メルガ、相互會社ノモノガ株式會社ニナルコトハ認メナイト云フノダサウデアリマス、サウスルト今ノ御質疑ノ點ハ自ラ消滅スルモノデアルト思ヒマス、此ノ業法ノ逆ノ場合ダケ成立ツ譯デアリマ

○紅露委員 大藏省政府委員ノ御答辯ハ、大體了承致シマシタ、併シ一黠バカリ、私ノ質問申上ゲタ趣旨ヲ誤解サレタト言ツテハ甚ダ失禮デアリマスガ、御取違ヘニナツテ居ルノデハナイカト思フ點ガアリマス、其ノ一ハ相互會社ト株式會社トノコトハ、斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、狡イ業者ハ——是ハ課稅ノ實際ヲ申上ゲレバ直グ失禮ダト思ツテ差控ヘテ居ツタノデアリマスガ、株式會社ノ法人所得ハ、前年度ヲ標準ニシテ掛ケテ行クノデアリマス、サウスルト相互會社ノ時ニハ從來課稅シテ居ナイノデスカラ、相互會社ガ一タビ株式會社ニ組織變更シタ場合ニ課稅スルト云ツテモ、前年ニ課稅シテ居ナイノデアリマスカ、課稅ニ付テ調査スベキモノガナイノデ、

○松村政府委員 私ハ先程一點御答ヲ誤解シテ居リマシタ、今回ノ業法ニ依リマシテハ、株式組織ノモノカラ相互會社ニナルコトハ認メルガ、相互會社ノモノガ株式會社ニナルコトハ認メナイト云フノダサウデアリマス、サウスルト今ノ御質疑ノ點ハ自ラ消滅スルモノデアルト思ヒマス、此ノ業法ノ逆ノ場合ダケ成立ツ譯デアリマ

ス、ソレカラモウ一ツ、第一點ノ相續稅ノ場合ニ於ケルコトデスガ、成程仰セノ通り特別ノ事情、特別ノ理由ニ依ツテ、保険契約ニ依ツテ得タ所ノ金額デアルト云フ趣旨ハ能ク了解致シマス、併シ實際ノ場合ヲ考ヘマスト、五千圓控除スルト云フ趣旨モソニアル、何十万、何百万ト保険契約ヲシタ、成程死ト云フコトハ洵ニ不幸ナ事情デアル、尤モ是等ノ大キニ保険契約ヲスルニ於キマシテハ、ソレヲ相續稅ニ充當シタリ、色々ナ目的ノ爲ニ保険契約ヲシテ居ルコトモ亦當然デアリマスガ、兎モ角モ何十万、何百万ト云フヤウナコトモアリ得ル、此ノ保険金額ヲ全額受ケタ場合ニ、ソト云フヤウナ場合ニ突然ニ得タ收益ト申シマスカ——收益ト言ツテハ語弊ガアリマススルト云フコトモドウカト思ヒマス、ソレヤ是ヤヲ考ヘ合セマシテ、先づ五千圓程度ハ控除スルノガ當然デアルト見ナケレバナト云フ趣旨デアリマス、尙ホ御趣旨ノ程モアリマスノデ、稅法改正ノ時ニハ其ノ點能ク協議致シマシテ、特ニ研究ヲ進ヌテ参リ

タイト思ヒマスガ、今日ノ所デハ多少困難ナ事柄デアルト云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス  
○紅露委員 大體諒承致シマシタガ、今ノアナタノ御話ニハ何百萬ト云フガ——生命保険ハ慥カ二十五万圓ガ最高デアリマシテ、サウ澤山ナモノハナイト思ヒマスガ——外國保険ハ別デスガ、今ハ此ノ保険業法ヲ研究シテ居ル際デアリマスカラ……サウ云フヤウニ仰セラレルト……何百萬圓モ取ツタノダカラ、五千圓位宜イデヤナイカト云フ御說モ出ルト思ヒマスガ、併シ兎ニ角税理論カラ申シマストイカヌト思フ、「保険金」ニ課税スルト云フコトハ、大藏省ハ擔稅力ガアルノデアリマスガ、一ツ御研究ヲ御願シタイト云フコトデ、大藏省ノ政府委員ニ對スル課稅方面、財政方面ノ質問ハ、一應打切りマス、ソレカラ厚生省政務次官竝ニ保険院長官モ御見エデアリマスシ、大藏省政務次官モ全部オデゴザイマスカラ……他ニ移リマス、實ハ司法政務次官及ビ拓務政務次官モ全部オツノデアリマスルガ、遺憾ナガラ司法務次官モ拓務政務次官モオ見エニナリマセスカラ、御諒致シマス、ト申シマス所以ノ

モノハ同ジ質問ヲ繰返スヤウニナリマスカ、皆様ニオ出デヲ願ツテ、其ノ席デ御質ナ事柄デアルト云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス  
○紅露委員 大體諒承致シマシタガ、今ノアナタノ御話ニハ何百萬ト云フガ——生命保険ハ慥カ二十五万圓ガ最高デアリマシテ、サウ澤山ナモノハナイト思ヒマスガ——外國保険ハ別デスガ、今ハ此ノ保険業法ヲ研究シテ居ル際デアリマスカラ……サウ云フヤウニ仰セラレルト……何百萬圓モ取ツタノダカラ、五千圓位宜イデヤナイカト云フ御說モ出ルト思ヒマスガ、併シ兎ニ角税理論カラ申シマストイカヌト思フ、「保険金」ニ課税スルト云フコトハ、大藏省ハ擔稅力ガアルノデアリマスガ、一ツ御研究ヲ御願シタイト云フコトデ、大藏省ノ政府委員ニ對スル課稅方面、財政方面ノ質問ハ、一應打切りマス、ソレカラ厚生省政務次官竝ニ保険院長官モ御見エデアリマスシ、大藏省政務次官モ全部オデゴザイマスカラ……他ニ移リマス、實ハ司法政務次官及ビ拓務政務次官モ全部オツノデアリマスルガ、遺憾ナガラ司法務次官モ拓務政務次官モオ見エニナリマセスカラ、御諒致シマス、ト申シマス所以ノ

モノハ同ジ質問ヲ繰返スヤウニナリマスカ、皆様ニオ出デヲ願ツテ、其ノ席デ御質ナ事柄デアルト云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス  
○紅露委員 大體諒承致シマシタガ、今ノアナタノ御話ニハ何百萬ト云フガ——生命保険ハ慥カ二十五万圓ガ最高デアリマス、ソレデ私ガ御尋致シタイ要點ハ、過日保険局長サンカラノ御説明ニ依リマスト、今申上ゲマシタ各省へ本法ノ制定ニ付テ相談ヲナスツクサウデアリマス、其ノ御相談ナスツタ内容ハ、大體今マデ數日間審議検討致シマシタコトカラ想像致シマスルト、司法省ヘハ刑罰ノ點トカ、或ハ會社法トノ關係トカ、商法總則トノ關係トカ云フヤウナコトヲ、主トシテ御相談ニナツタヤウニ想像スルノデアリマス、又大藏省ニモサウ混入ツタ御相談ガナク、極ク大難把ナ御相談デアツタヤウニ思ハレマス、拓務省ハ再保險ノ問題トカ、外國保險會社ノ問題トカ、或ハ本法ヲ外地ニ適用スルニ付テ勅令命令ヲドウスルカト云フヤウナ、一言ニシテ言ヘバ事務的ノ御相談ガアツタヤウニ——是モ私ガ獨リデ考ヘルノデアリマス、併シ兎ニ角斯ノ如ク輿論トシテ公營ヲ叫ビ、國營ヲ論ジテ居ルノニ、苟モ明治三十三年制定以來數十年モ經過シテ、幾多ノ不備ト缺陷トヲ發見シテ、コンナ劃期的ノ大法案ノ改正案ヲ出スノニ、斯ウ云フヤウナ唯單ニ事務的ノ御相談ノミシタト云フヤウナコトデハ、

私ハ頗ル遺憾デアリ、又不平ト不満ヲ持ツ  
ノデアリマス、併シソレハ、ハツキリ聞イ  
タ譯デハアリマセヌカラ、私ノ想像力モ知  
レマセヌケレドモ、少クトモサウ云フ風ニ  
委員ニ依ツテ考ヘラレルト云フヤウナコト  
ハ、私ハ沟ニ國家ノ爲ニ憂フベキコトト思  
フ、少クモ輿論トシテ見テモ差支ナイ程度  
ニ國營方叫バレ、公營ガ論ゼラレテ居ルノ  
ニ、各省ニソソナ程度ニ御相談ナサツタノデ  
ハ私ハ完全ナ法案ガ出來ヌト思フノデアリ  
マス、併シ過去ツタコトハ致シ方ナイトシテ、  
私共ガ伺ヒタイコトハ、法案ノ改正ニ付テ  
ドウ言フコトヲ商工當局カラ御相談ヲ受ケ  
タカドウカト云フコトデアリマス、ソレカラ  
各省ハ其ノ相談ヲ受ケタ際ニ、何レ省議ヲ開  
イテ御回答ニナツタコトト思フノダガ、其ノ  
トキ省議ヲ開イタカ開カヌカハ知リマセヌ  
ガ、兎ニ角省トシテノ態度ヲ決ヌル時ニ此ノ  
「國營問題」——少クトモ日本全國ニ澎湃ト  
シテ起ツテ居ル所ノ此ノ公營——國營問題  
ヲ、少シモ考慮シナカツタカドウカ、又話題ニ  
モ上ラナカツタカドウカト云フコトガ第一  
ノ御尋デス、又上ツタカ、上ラヌカ分リマ  
セヌガ、此ノ公營——國營ト云フコトニ付  
テ各省ハ賛成ナノカ不賛成ナノカト云フコ  
トガ第二點ノ御尋デス、ソレカラモウ一つ

ハ此ノ輿論ヲドウ云フヤウニ是カラ指導シ  
テ行ク積リカ、平タク言葉ヲ換ヘテ言ヘバ  
タガ、ソレハ單ニ商工大臣トシテ所管大臣  
トシテノ御答辯デアリマシタガ、少クトモ、  
商工省カラ御相談ヲ受ケタ所ノ各省ハ、此  
ノ問題ヲ一體今後ドウ處理シテ行ク積リデ  
アルカ、斯ウ云フ點ヲ御尋シタイノデアリ  
マス、大藏省トシテハ能ク此ノ問題ハ慎重ニ考究  
スル必要モアリマスノデ、只今ノ所デハ之  
ヲ國營トカ公營トカニスルト云フ考ハ大藏  
省トシテハゴザイマセヌ、商工省其ノ他ニ  
ドウ云フ考ガアリマスルカ、他ノ省ノ考ニ  
基キマシテ、御承知ノ通リ保険事業ハ大藏  
省ト商工省ノ共管デアリマス、ソレ故ニ能  
ク具體的ノコトノ協議ヲ進メタ上デ御答申  
上ゲルノガ當然デアリマスガ、只今之ヲ公  
營、國營ニスルト云フ考ハ大藏省トシテハ  
マシテカラハ省議ヲ開イタコトハ一回モア  
リマセヌ、會議ヲ開イタコトモアリマセヌ  
ガ、其ノ以前ノコトハ能ク承知致シテ居リ  
マセヌガ、大體此ノ問題ニ付キマシテハ、勿  
論斯ウ云フ大問題デアリマスカラ、ドウ云  
フ形デ無論此ノ業法ヲ出シマスル時ニ各省  
ノ間ニ——ドウ云フ形デアツタカハ私ノ參  
リマスル前ノコトハ承知致シマセヌガ、打  
合セノアツタコトハ承知致シテ居リマス、  
ソコデ商工大臣ガ御答ニナツタコトヲ、贊  
成カ不賛成カ只今御話ガアリマシタガ、今  
ノ御尋デス、又上ツタカ、上ラヌカ分リマ  
セヌガ、此ノ公營——國營ト云フコトニ付  
テ各省ハ賛成ナノカ不賛成ナノカト云フコ  
トガ第二點ノ御尋デス、ソレカラモウ一つ

○松村政府委員 只今重大ナル問題ニ付テ  
御質疑デアリマシタガ、私ガ大藏省へ参り  
マシテカラハ省議ヲ開イタコトハ一回モア  
リマセヌ、會議ヲ開イタコトモアリマセヌ  
ガ、其ノ以前ノコトハ能ク承知致シテ居リ  
マセヌガ、大體此ノ問題ニ付キマシテハ、勿  
論斯ウ云フ大問題デアリマスカラ、ドウ云  
ニ、今ノ所デハ公營ニスルト云フ考ハ大藏  
省ニ於テハ持ツテ居リマセヌ、併シ尙ホ御  
研究ヲ整ヘタイト思ヒマス、殊ニ是ハ私ノ  
意見ニナリマスルガ、各國ニ於ケル所ノ保  
險國營ノ現状モ尙ホ十分調査シナケレバナ  
ラスト考ヘテ居リマス、是等各種ノ事情ヲ

○津崎政府委員 私ハ厚生省ノ方面デアリ  
マスガ、御承知ノ通リ社會政策的ノ立場ニ  
アル簡易保険ト云フモノハ國營ニシテ成績  
ヲ擧ゲテ居ル、其ノ他ノ社會政策的ノモノ  
デモ一種ノ國營デアリマスガ、健康保險其  
ノ他ノコトヲヤツテ居ルコトハ御承知ノ通  
リデアリマス、ソコデ只今問題ニナツテ居  
リマスコトヲドウスルカト云フコトハ、是  
ハ今松村政府委員カラ述ベラレタ通り、  
此ノ各省ノ相談ガ同ジコトニナツテ居リマ  
ス、同ジコトヲ繰返シテ申上ゲマスガ、財政、金  
融其ノ他經濟界一般ニ與ヘル影響、動搖モ  
少ナカラザル重大ナル事項デアリマスガ故  
ニ、能ク商工省其ノ他ト協議ヲ進メマシテ、  
ナガラ只今ノ所今日ノ此ノ法律案デ宜カラ  
マス、併シナガラ極メテ重大ナ問題デ、將  
ウト云フコトニ結論付ケラレタサウデアリ  
マス、併シナガラ極メテ重大ナ問題デ、將  
來ハ現在ノ事情ニ照シ段々世ノ中ノ進歩ニ  
從ツテ起リ得ルガラウト思フノデスガ、今  
ノ所政府トシテノ事情ハサウ云フコトニナ  
ツテ居リマス、隨テ此ノコトハ問題ニモナ

リ、更ニ研究モ續ケテ行クト云フコトニナツテ居ルト御諒承ヲ願ヒタイノデゴザイマス

○倉元政府委員 一寸本會議ノ都合ガアリ

マシテ、先ニ答辯ヲサシテ戴キタイト思ヒマス、司法省ノ立場ハ御承知ノ通リデアリマシテ、法案ノ此ノ事業ニ付テノ間接ノ立場ニ居ル譯デゴザイマス、保険行政ノ主導者否ノ問題ト云フコトハ、保険行政ノ主導者アル商工省ガヤルコトデアリマシテ、司法省ト致シマシテハ、専ラ保険會社ノ内容ニ付テ、若シ惡イモノガアレバ、之ヲ健全ナル會社ニ誘導シテ行ク、又取締ツテ行クト云フ立場ニアル譯デアリマス、ソコデ今紅露サンノ頗リニ御主張ニナリ、御心配ニナル所ノ國營ノ可否ト云フコトニ付テハ、前段申上ゲマスルヤウニ主管省デアル商工省竝ニ大藏省デ能ク調査研究致シマシテ、國民全體ノ福利ニ關スルコトデアリマスカラ、國營ニスルコトガ最モ福利ヲ進メル上ニ適當デアルト、斯ウ判断スル時期ガ参リマシタナラバ、或ハ實現スル機運ニ向フカモ知レヌトモ想像致シマス、兎ニ角司法省ノ立場トシテハ此ノ國營ノ可否ニ付テ賛成トモ反対トモ申上ゲルコトハ遠慮シタイト思ヒマス、是ダケ御答申上ダマス

○紅露委員 ソレデハ司法省ハ唯此ノ法案ニ付テ、罰則ノ點トカ、ソレカラ會社法トノ關係トカ、總則ノ關係トカ、サウ云フ

○倉元政府委員 甚ダ遺憾デゴザイマス

ガ、司法省トシテハ保険事業ヲ國營ニスルカセヌカト云フヤウナコトニ付テノ具體的ナ調査ナドヲ進メタコトハゴザイマセヌ、隨テ是ガ司法省内デ省議或ハ其ノ他ノ關係上ニ於テ話題ニ上ツタコトハナイト申上ゲマス

○寺田政府委員 拓務省ト致シマシテ、只今紅露君ノ御質問ニ關係スル分ヲ御答申上ゲテ置キマスガ、外地ニ於キマスル保險業ハ未ダ見ルベキモノガ少イノデゴザイマシテ、極メテ微々タルモノデゴザイマス、併シナガラ保險業ノ國營ト云フヤウナ問題ニ付テハ、拓務省トシテ考慮シタコトハゴザイマセヌ、斯ウ云フ重大チコトニ付テハ諸般ノ事情ヲ十分ニ考量シナケレバ俄カニ是ガ可否ヲ決スルコトハ困難ト存ジマス、殊

ニ外地ニ於テハ内地ノ保險業トモ密接ナ關係ヲ有シマスノデ、大體ハ中央ノ方針ニ順ナモノヲ三ツ、四ツ申上ダマス、例ヘバ八十九條ニ「生命保險會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險計理人ヲ選任シ保險數理ニ關スル事項ヲ擔當セシムルコトヲ要ス」トアリマスガ、數理ニ關スル監督ナド幾ラサセテモ何ノ役ニモ立タナイ、是ハ計理デナケレバナラヌ、數理ニ關スル事項ナド擔當セシムルコトハ問題ニナラナイト思ヒマス、又シテ置キタイ、先程モ淘ニ失禮ナコトヲ申シ上ダマス、唯、斯ウ云フコトヲ一點御尋

○紅露委員 政務次官ハ皆サン大變御忙シ

付テノ御打合セノ時ニ、餘リ大局カラ御考慮ニナラズ、又御觀察ヲ、ナスツタモノデハナクシテ、此ノ條文ニ付テダケ、御協議ヲサレタモノト思ハレルノデアリマス、併シ流石ニ「簡易保險」ト云フ「公營保險」ヲカ、「公營問題」ガ省議ニ上リ、今後モ研究ヲ繼續シテ、行クト云フヤウナ、コトニナツタコト云フ御答辯ガアリマシタガ、其ノ餘ノ事務的ノコトニ付テハ、ヤハリ私ノ想像シタ通リデアリマス、而シテ事務的ノコトニ付キマシテハ、洵ニ不備ト缺點ト矛盾撞著ト拔ケ穴ガ澤山アリマス、是等ニ付テハノ材料ニ、シハセヌカト云フコトヲ私ハ憂外務員ナドハ、之ヲ逆用シテ、「政府ガ許可シダ保険計理人ガ斯ノ如ク確認シテ居リマスト」云フヤウナコトヲ言ツテ、寧ロ宣傳リマシタケレドモ、今日ハ時間ガアリマセスカラ非難サレマス原因ハ幾多アリマセウケレドモ、少クトモ保險計理ノ問題ハ其ノ最タルモノデアリマセウ、故ニ、私ハ、是ハ

數理ト書イテハイカヌ、計理ト書カナケレ  
バイカヌト思ヒマス、ソレカラ私ハ資料ヲ  
要求スル際ニ忘レテ居リマシタカラ此ノ  
際……

○服部委員

一寸關聯シテ伺ヒマスガ、只  
今厚生省ノ御答辯ニ依ルト、現今行ハレテ

居ル官營保險ハ大變成績ガ宜イ、御尤デア  
リマス、ソコデ保險金額モ段々増額サレテ  
行ツテ居ルノデスガ、此ノ發展進歩ニ伴ツ  
テ今後モ尙ホ保險金額ヲ増額スル意思アリ  
ヤ否ヤ、増額ノ意思アリトスレバ、ドノ程  
度マデ増額サレ、何時頃實施サレル豫定デ  
アルカ伺ヒタイ

○津崎政府委員 其ノ問題ニ付テハ昨年增  
額シタノデアリマスカラ、今ノ所額ヲ上ゲ  
ル意思ハナイノデアリマス

○津崎政府委員 今ノ所上ゲル考ハナイト言ハ  
レマスト、先ニナレバ上ゲルコトニナルカ  
モ知レヌト云フコトニナリマスカ

○服部委員 理窟ハサウ云フコトニナ  
リマスガ、世ノ中ガ變ツテ行ケバ、ソコノ  
所ハ先々マデノコトニ付テハ一寸御答出來  
マセヌガ、偶々昨年上ゲタバカリデアリマス  
カラ今ノ所其ノ意思ハナイ、斯ウ御答スル  
ヨリ外アリマセヌ、ソレカラ先ハ賢明ナル  
服部君ノ御考ニ任セル外ナイト思ヒマス

日本ノ保險業者ガ滿洲國ニ於テ支店ヲ持ツ  
ニ外地ノ方面ヲ順應スルヤウニスルト云フ  
ヤウナ御言葉ガアリマシタガ、其ノ御言葉ハ  
内地ノ保險業者ヲ壓迫スルヤウナコトハサ  
セナイ、外地ノ保險業者ノ爲ニ壓迫ヲ受ケ  
ルヤウナコトハサセナイ、斯ウ云フ御趣旨  
デアリマスカ

○寺田政府委員 内地ノ業者ニ云々ト云フ  
ノデハナクシテ、中央ノ政府ノ方針デスネ、  
其ノ方針ニ外地ハ順應シテ保險業ガ成立ツ  
ヤウニシテ行カウト云フノデアリマス、業  
者ニ對シテ壓迫スルトカ云フ意味  
ハナイノデアリマス、外地ダケデサウ云フ  
コトハ出來得ナイノデアリマシテ、總テ内  
地ノ法律ニ依ツテヤル譯デス、現在臺灣ニ  
確カニツノ會社ガアリ、朝鮮ニ一ツノ會社  
ガアルト思ツテ居リマスガ、ソレ等ニ付テ  
ハ内地ノ保險業法ニ準據シテ命令ヲ出シテ  
ヤツテ行ク、斯ウ云フノデアリマス

○服部委員 滿洲國ノ保險業ニ付テ伺ヒマ  
スガ、私ノ聽カントスル要點ハ、滿洲國ノ  
保險業者ヲ保護スルノ餘リニ、滿洲國政府  
ト致シマシテハ、自國ノ保險業ヲ發展セシ  
メルニ熱心ノ餘リ、日本ノ保險業者ニ對シ  
テ色々壓迫ヲ加ヘル、例ヘテ申シマスレバ、  
居ラレタ、是ハ電力問題ハ、色々國家的ニ必  
要ガアリマセウケレドモ、大變贊成ヲシテ  
居タノデアリマス、軍部ハ「電力國營」ニア  
レ程御骨折ニナツタコトデアリマスカラ、  
日本ノ保險業者ガ滿洲國ニ於テ支店ヲ持ツ  
テ居ルノヲ廢止セシメルトカ、或ハ日本ノ  
保險業ヲ滿洲國ノ保險業者ニ代行セシメル  
トカ云フヤウナ方針デアルヤウニ聞イテ居  
リマスガ、私ハサウ云フコトハ杞憂ニ過ギ  
ナイコトデアラウトハ思ヒマス  
ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○寺田政府委員 滿洲國ニ付テハ滿洲國ノ  
方デヤツテ居ルコトデアリ、内地關係ニ付  
テハ對滿事務局デヤツテ居リマスノデ、殘念  
ナガラ拓務省トシテハ御答致シ兼ネマス  
○田中委員長 服務君宜シウゴザイマスカ  
○服部委員 宜シウゴザイマス

○紅靈委員 大藏政務次官ハ御忙シケレバ、  
私ハ御尋スルコトヲ止シマス、モウ御歸  
リニナツテモ宜シウゴザイマス……陸軍政  
務次官ガオ居デゴザイマスカラ御尋致シ  
マスガ、斯ウ云フノデアリマス  
○服部委員 滿洲國ノ保險業ニ付テ伺ヒマ  
スガ、私ノ聽カントスル要點ハ、滿洲國ノ  
保險業者ヲ保護スルノ餘リニ、滿洲國政府  
ト致シマシテハ、自國ノ保險業ヲ發展セシ  
メルニ熱心ノ餘リ、日本ノ保險業者ニ對シ  
テ色々壓迫ヲ加ヘル、例ヘテ申シマスレバ、  
居タノデアリマス、軍部ハ「電力國營」ニア  
レ程御骨折ニナツタコトデアリマスカラ、  
日本ノ保險業者ガ滿洲國ニ於テ支店ヲ持ツ  
テ居ルノヲ廢止セシメルトカ、或ハ日本ノ  
保險業ヲ滿洲國ノ保險業者ニ代行セシメル  
トカ云フヤウナ方針デアルヤウニ聞イテ居  
リマスガ、私ハサウ云フコトハ杞憂ニ過ギ  
ナイコトデアラウトハ思ヒマス  
ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

行シ、「總動員」ヲ上程スルナラ、其ノ前ニ  
「生命保險」ノ「國營」ヲヤル方ガ本當デハナ  
イカ、聞ク所ニ依ルト、企畫院デハ之ニ付  
ル既ニ、調査ガ出來上ツテ居テ、陸軍モ贊  
成シテ居ル、厚生省モ大體贊成シテ居ル、  
ト云フコトダガ……マアソンナ、私共ガ  
聞イタコトハドウデモ宜イケレドモ、是  
程苦心シ、是程努力ヲ拂ツテ「電力國營」ヲ  
ヤリナガラ、何故其ノ前ニ生命保險「國營」  
ヲ斷行セヌカト言ツタ時ニ、其ノ大官ハ言  
下ニ、ソレハサウダ、俺モサウ思フ、併シ  
色々財政經濟上研究、考慮シナケレバナラ  
ヌコトモアリ、其ノ他色々ノ事情ガアツテ、  
後廻シニナツタノダト云フヤウナ意味ノ  
コトヲ言ツテ居ラレタノデアリマス、先刻  
來私ガ各省ノ政府委員ニ色々伺ヒマシタ  
ノハ、先日保險局長カラ「是々」ノ役所ヘハ  
デハドウ云フヤウナコトヲ相談ナサレ、ド  
ウ云フ御言明ガアツタモノデスカラ、ソレ  
デハドウ云フヤウナコトヲ相談ナサレ、ド  
ウ云フコトヲ御研究ニナリ、ドウ云フコトガ  
話題ニ上リ、又其ノ省トシテ今後此ノ保險  
ノ國營ニ付テドウ云フヤウナ方針デ進マレ  
ルノカ、ト云フコトニ付テ實ハ今御尋致シテ  
居タノデアリマス、軍部ハ「電力國營」ニア  
レ程御骨折ニナツタコトデアリマスカラ、

陸軍省トシテ、若シ此ノ「保險國營」、……

「保險公營」ニ付テ御調べニナリ、或ハ御協

議ニナツコトガアルトシマスレバ、御差

支ナイ範圍内ニ於テ御言明ガ得ラルレバ

結構ト思ヒマス、併シ「所管外デアルカラ

答辯ノ限リニアラズ」ト云フ御意向ナラバ

已ムヲ得マセヌガ、サウ云フ意味デ御尋致

シテ置キマス

○西村政府委員 紅露委員ニ御答申上ゲマ

ス、保險ノコトハ錄後國民ニ各種ノ密接ナ

關係ヲ有ツテ居ルコトハ申上ゲルマデモア

リマセヌ、陸軍ト致シマシテモ此ノ點ニ付

テハ相當ナ熱意ヲ持ツテ研究ヲ進メテ居ル

ノデゴザイマス、而シテ只今御質問ノ「國

營」ノコトデゴザイマスガ、之ニ關シマシ

テハ今後關係ノ各省ト密接ナ連繫ヲ保チマ

シテ、陸軍ト致シマシテハ之ニ善處致シタ

イト思ヒマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○紅露委員 非常ニ熱意ノアル、又私共ノ

主張ニ共鳴スルヤウナ意味ノ御言明デ感謝

致シマス、陸軍省ニ對スル質問ハモウアリ

マセヌ

○田川委員 私モ陸軍省ノ方ニ御尋シタイ

コトガアリマス

○田中委員長 關聯シテデスカ

○田川委員 直接關聯ハナイガ、國營ニ關

聯シテ……

○田中委員長 宜シウゴザイマス

○田川委員 私モ陸軍ニ御尋致シタイ、出

征軍人ノ保險ノ狀態ハドウナツテ居リマス

カ、又從來保險ニ加入セズシテ、出征ニ臨

ンデ新ニ加入シタ者ガドレダケアルカ、現

在ノ出征軍人ノ總體ノ幾割ガ保險ニ加入シ

テ居ルカ、其ノ保險料率ハ現在ニ於テハ引

上ヲ許サレナイ規定ニナツテ居ルト思フ、

併シ出征軍人トシテ死亡者分割合ニ多數デ

アレバ、其ノ影響ハ自然ニ保險會社ニ及ブ

筈デアル、隨テ保險會社ノ將來ノコトモ考

ヘナケレバナラヌ、私ハサウ云フコトヲ問

ヒタインデアリマス、關聯ガアルカラ仰セ

ニナルト、直接ノ關聯ハナイヤウニ聞エマ

スガ、保險ヲ國營ニスベシト云フ意思ヲ懷

ケレバナラヌ、特別保險料ヲ計算スルト、

非常ニ高イモノニナリマシテ、其ノ保險料

ヲ取ルコトニナルト、戰地へ向フ人ニ保險

ガ掛ケラレナイト云フヤウナ實際上ノ結果

ヲ來スコトニナリマス、ソレデハ甚ダ戰地

ヘ向フ人ニ對シテ適當ダナイト思ヒマス、

是ハ殆ド公判庭デハ皆ナ無罪ニナルト思ヒ

マス、セヌテ「知リテ」トデモ書イテアレバ

「引掛ル」コトガアルカラモ知レマセヌガ、是

入ルコトニ依ツテ或ル程度金額ヲ増加セシ

メルコトモ出來ルト云フヤウナ考ヘ方ヲ以

保險ノ關係デゴザイマスガ、之ニ付キマシ

テハ私モ大體ハ承知致シテ居リマス、又或

ガ、此ノ事ニ付キマシテハ軍當局トシテハ

御尋致シマスガ、今、申上ゲタヤウニ、是ハ

數字ハ差控ヘタ方ガ宜イト思ヒマスカラ、

左様御諒承ヲ願ヒマス

○田川委員 保險料率ノ問題ハ商工省ノ關

係ニナルノデハアリマセヌカ

○牧政府委員 保險金額ヲ一人ニ付一千圓

ニ制限シテ行ク問題ダト思ヒマスガ、ソレ

ハ御承知ノ通り保險ノ建前カラ致シマスト、

相互通報ニ立ツモノデアリマスカラ、ヤハ

リ賄ヒガ付クダケノ特別保險料デモ取ラナ

ケレバナラヌ、特別保險料ヲ計算スルト、

非常ニ高イモノニナリマシテ、其ノ保險料

ヲ取ルコトニナルト、戰地へ向フ人ニ保險

ガ掛ケラレナイト云フヤウナ實際上ノ結果

ヲ來スコトニナリマス、ソレデハ甚ダ戰地

ヘ向フ人ニ對シテ適當ダナイト思ヒマス、

是ハ殆ド公判庭デハ皆ナ無罪ニナルト思ヒ

マス、セヌテ「知リテ」トデモ書イテアレバ

「引掛ル」コトガアルカラモ知レマセヌガ、是

入ルコトニ依ツテ或ル程度金額ヲ増加セシ

メルコトモ出來ルト云フヤウナ考ヘ方ヲ以

テ、一社ニ付キマシテハ一人二千圓ト云フ

アリマセヌ」ト云ヘバソレ迄デス、是ハ「選

ノ經營上適當ナ處置デハナイカト考ヘテ居

テハ私モ大體ハ承知致シテ居リマス、又或

ガ、此ノ事ニ付キマシテハ軍當局トシテハ

御尋致シマスガ、今、申上ゲタヤウニ、是ハ

數字ハ差控ヘタ方ガ宜イト思ヒマスカラ、

左様御諒承ヲ願ヒマス

○紅露委員 ソレデハ又是カラ商工當局ニ

御尋致シマスガ、今、申上ゲタヤウニ、是ハ

數字ハ差控ヘタ方ガ宜イト思ヒマスカラ、

左様御諒承ヲ願ヒマス

監督ニ付テ注意シタラ處罰セヌ』トアルノ  
トチツトモ變リハアリマセヌ「圖リテ」ト云  
「コトヲアツチコツチニ定メテアリマス  
若ハ社員ヲ害センコトヲ圖リテ其ノ任務ニ  
背キ云々トアツテ、計畫的ニヤラナケレバ  
犯罪ニナラヌ、ナゼ之ヲ「知リテ」トシテ置  
カヌフデスカ、是モ惡ク言ヘバ拔穴ノ一ツ  
デス、コンナコトヲシテ置イタノデハ「七年  
以下ノ懲役ニ處ス」トカ或ハ「一万圓以下ノ  
罰金ニ處ス」トカ言ツモ、惡口ヲ言ヘ  
バ、コケ嚇シデ殆ド公判廷デハ皆無罪ニナ  
ルデセウ、コンナコトデハ決シテ處罰ヲ重  
クシタトカ監督權ヲ擴大、強化シタトカ言  
ツテモ、監督ハ逆モ出來マセヌ、是ノ點ハ、  
質問スルト長クナリマスカラ御考慮願ツテ  
置キマス、ソレカラ更ニ第百四十二條ヲ御  
覽下サイ、第二號ニコンナコトガ書イテア  
ル、サツキ、中村君モ間ハレタヤウデスガ  
「何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ會社ノ計算  
ニ於テ不正ニ其ノ株式ヲ取得シ又ハ質權ノ  
目的トシテ之ヲ受ケタルトキ」……、「不正  
ニ」ナドト云フ文字ガ出テ居ル、是デハ大抵  
處罰ハ出來ハセヌ、ソレカラ第四號ニモ「會

マセヌ、斯ウ云フコトヲシテ置イタノデハ  
會社ノ重役ハ皆逃ダテ行キマス、其ノ他百  
五十二條ヲ御覽下サイ、但書ノ前ニ斯ウ書  
カレテアリマス、「職務代行者又ハ支配人ハ  
左ノ場合ニ於テハ五千圓以下ノ過料ニ處  
ス」……「過料」ニアリマス、五千圓以下、ナ  
ドト云フエライコトヲ言ツテアルケレドモ  
……、私が申上ゲルマデモナク、我ガ日本  
ノ刑法ハ死刑、懲役、禁錮、罰金、拘留、  
科料……、是ダケガ犯罪ナンデ、此ノ「過  
料」ナンカハ何千圓科セラレタツテ、彼等  
ハ屁トモ思ヒマセヌ、是モ惡口ヲ言ヘバ拔  
穴ノ一ツデス、矛盾、撞着デス、コンナコ  
トデハ何ニモナリマセヌ、百五十三條ダツ  
テモ其ノ通デス、「虛偽ノ答申ヲ爲シタル  
トキ」云々……ヤハリ五千圓以下ノ「過料」  
デアツテ「犯罪名簿」ニモ載ラナケレバ、昔  
ナラバ「戸籍」モ汚レハシマセヌ、百五十四  
條然リ、百五十五條然リ、百五十六條亦然  
リ、皆斯ウ云フ風ニナツテ居リマセヌ、結局  
ニ於テ會社保護デアツテ、何等、保険契約  
者ハ、直接ニ、保護サレテ居リマセヌ、然  
ラバ、進ンデ、他面ニ於テ、保険契約者ハ、  
ドウナツテ居ルカ、……是ハ、此ノ間、民  
事局長モ言ツテ居ラレタガ……「保険約款」

ト云フヤウナコトヲ答辯セラレテ居ル、「保険約款」ヲ御覽下サイ、事故ガアレバ殆ド總テ「告知義務違背」ニナツテ居ル、サツキ中村君モ追究シテ居ラレタヤウデアルケレドモ、外務員、代理店ト云フモノガアツテ、殆ド、ソレ等ニ勧誘サレテ誰デモ「約款」ヲ見ズシテ皆、契約ヲシテ行クノデアル、私ハ「判例」カラ是等ノコトヲ調べテ見マシタガ、前述ノ如ク、「約款」ハ會社ニ對シテハ緩慢デアルノニ、保険契約者ニ對シテハ酷デス、私ガ「判例」ヲ見タノデハ次ノヤウナモノガ皆「告知義務違背」トナリ、又ハ懲役等ノ刑罰ニ處セラレテ居ルノモアル、即チ肺結核ハ勿論、肋膜炎、膽石病、喘息、肺尖加答兒、盲腸、肛門周圍炎、胃潰瘍、胃加答兒、痔疾、血尿症、ソレカラ簡単ニ根治セザル黴毒、癲癇、脚氣、流行性感冒、斯ウ云フモノハ皆「告知義務違背」ダト言フノデ、契約ヲ解除サレテ失效ニナツテ保険金ハ支拂ツテ吳レヌノデス、ソレカラ、醫者ガ一寸診察ヲ誤レバ「保険詐欺」デ引括ラレルノモアル、ソレナラバ、ドンナモノガト、判例ヲ調べテ見ルニ實ニ滑稽デ噴飯ニ價スルモノスラアル、讀ンデ見マ

而モソレハ既往症デナケレバイカヌ、ソレカラ、滑稽極マルモノト思レルノハ、輕イ胃擴張、輕イ胃酸過多症、極メテ輕微ノ氣管支炎、極メテ輕微ノ喘息、普通ノ軟性下疳、普通ノ胃腸病……コンナモノガ告知義務違背ニナラヌ、……當然デス、一體斯ナモノヲ病氣ナシテ、心得テ居ル者ガ天下ニアリマセウカ、コンナモノハ、自己症狀スラナイモノバカリデス、處ガコンナモノダケハ「告知義務違背」ニナラヌト裁判所ハ認メテ居ルノデス、サウシテ他面ニ於テ此ノ法律ヲ御覽下サイ、拔穴ガアルデヤアリマセヌカ、コンナコトデ、一體保険契約者ガ救ハレルノダ、業者ニ對シテハ、監督ヲ嚴重ニシタノダト言ヘマセウカ、ナゼニ、アナタ方ハ、コンナコトヲナサレルカ、ト云フコトニ付テ、私ハ全ク想像ニ苦シムノデス、私ハ厚生省ノ體力制度ノ委員ヲシテ居リマシタガ、此ノ間、彼處デ話ヲ聽イテ見ルノデハアリマセヌケレドモ、吉原ノ病院デ徽毒ノ検査ニ從事シタ醫者ナンカニ聽イテ見ルト、嚴重ニ検査シタラ皆病人ナシダ、

フコトデアル、實際グラウト思フ、此ノ東京ノヤウナ空氣ノ惡イ、塵ノ中ニ住ツテ居ル者ヲ摑ヘテ、極ヌテ輕イ胃擴張トカ、極ヌテ輕イ胃酸過多症ナドナラ告知義務違背ニナラスト云フヤウナコトヲ、裁判所ガ判決スルト云フコトハ常識デハ考ヘラリスト思フ、而モ其ノ外ニモマダ、當人ノミデハナク、血族ノ遺傳的症狀、血族ニサウ云フヤウナ病氣ガアツカドウカ、ト言フコトマデ裁判所ハ要求シテ居ルヤウデアリマス、是ハドウシテモ酷ト思フ、私ハ司法政府委員ガ居ラレタ能ク聽カウト思ツタノ「デスガ、御用ガアルト云フノデ、逃ゲラレタヤウデスカラ止シマス、尙ホ此ノ法案ノ罰則ノ點ニ付テ、實際ヤラナイアナタ方ニ斯ウ云フコトヲ申上ゲテハ惡イト思フ、此ノ罰則ハ司法省ガ持ヘタト言フコトハ、私ハ知ツテ居ル、併シ社會ノ實情ガ契約ニ加入スルノニ、「保險約款」ヲ見ナイト云フコトヲ裁判所ハ知ツテ居ルノニ之デハ酷デアリマセウ、……私ダツテモ保險ニ五ツヤ六ツハ入ツテ居リマスケレドモ、實際「保險約款」ナド見タコトハナイ、實際ハ皆サウヤツテ居ル、サウダノニ判決ヤ判例ハ、斯ウ云フヤウナ苛酷ナ裁判ヲ下シテ居ルノデス、ソシテ此ノ罰則ヲ極ヌルノニコンナ

拔穴バカリ持ヘテ置イタノデハ、迎モ完全ハ期シ得ラレナイデセウ、是ニ付テ一々聽イテ居リマスト又數時間要シマスカラ、私ハ寧ロ政府ニ對スル「警告」ト言ヒマスカ「希望」ト申シマスカ、「質問」ヲ兼ネタコトニ致シテ置キマスカラ、私ノ只今申上ゲタ「條文」ヲ後デ御覽下サイ、チヤントサウ云フ風ニナツテ居リマス、業者保護デアツテ契約者ハ保護サレテ居リマセヌ、私ハ此ノ判例ヲバ、一々、何年何月ノ大審院ノ判例トカ、控訴院ノ判例トカ調べテアリマスケレドモ、ソレモ一々述ベマスト長クナリマスカラ止メテ置キマス、重ネテ言ヒマスガ業者ガ能ク保護サレテ契約者ハ完全ニ保護サレテ居リマセヌ、「約款ノ改正」ト云フコト「約款ノ統一」ト云フコト、是ハドウシテモ私ハヤツテ戴カナケレバナラスト思フノデアリマス

ソレカラ、マダ一、二點質問ガアリマス、是ハ簡單ニ御答辯ヲ願ヒマス、是モドナタカ御聽キニナツタノデシタラ其レデ結構デスガ、代理店及ビ外務員ノコトデス、外務員ニ付テハドナタカ御聽キニナツタヤウデスカラ止ヌマス、法案ニ代理店ノ直接ノ規定ガナノデアリマス、商法ニ規定ガアルカラ商行為ノ規定ガ準用サレルノダト仰シ店ヲ其ノ儘ニ置ク、置クト三箇月カ四箇月

ヤレバ、ソレマデデスガ、御承知ノ如ク外務員、代理店ハ保險契約締結カラ死亡事故發生後、保險金受取マデハ直接ニ契約者ニ接觸スル者デアリマスカラ、是ハ獨逸ノヤウノデアリマスカラ、或ハ米國ノ紐育州ノヤウニ免許主義ニスルカ、或ハ塊地利ノヤウニ特ニ委任狀ヲ附與シテ置イテ嚴格ニ取締ルトカ、何トカ規定ガ欲シカツタト思フノデアリマス、ソレトモウ一ツ……是ハ實情ヲ申上ゲルノデアリマスガ、此ノ代理店ト云フノガ中々惡辣ナコトヲ致ス者ガアリマシテ、保險醫ニ威壓ヲ加ヘタリ外務員ニ對话止メテ置キマス、重ネテ言ヒマスガ業者シテモ相當ノ威壓ヲ加ヘマス、又代理店ガ權利ノ讓渡ヲ受ケルサウデス、即チ加入者ニ對シオ前ハサウ云フ譯デ保險會社ガ文句ヲ言ツテ金ガ取レナイノナラ、「俺ガ取ツテヤル」「委任狀ヲ書ケ」ト言ツテ……私共ノ調べタ所ニ依ルト或ル地方ノ代理店ノ十分ノ利害關係ヲ考慮シテ、即チ加入者ニ付テソレガ不當ノ所爲ニ付キマシタイト思ヒマス

○今井政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シマス、代理店中ニ契約ノ募集ヲ取扱ヒマス、代理店中ニ契約ノ募集ヲ取扱ヒマス者ハ、保險募集取締規則ニ依ツテ保險外務員ノ意思ト致シマシテ登録ヲ爲スノデアリマス、ソシテソレガ不當ノ所爲ニ付キマシテハ同則ノ規定ニ依リマシテソレドモ取締モ致シテ居リマス、又一般ノ代理店ニ關スル事項ハ施行規則ニ依リマシテ事業方法書ニ記載スルコトトナツテ居リマスガ、益々此ノ規定ヲ整備シマシテ、保險契約者保護ニ遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ機會ニ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、先程紅露委員カラノ御指摘ニ依リマス

シテ此ノ罰則ノ規定ガ所々ニ穴ガアル、拔ケ道行爲デアツテ、是ハ會社ヲ擁護スルモノ威信ノ上カラ非常ニ遺憾ニ考ヘマス、此ノ罰則ノ規定ハ昨年議會ニ於テ協賛ヲ得マシタ商法ノ規定ヲ其ノ儘適用致シテ居リマス、若シ此ノ規定ガイケナイト云フコトデアリマスナラバ、昨年議會ヲ通過シマシタ商法がイケナイト云フ結論ニナリマス、私共ハサウハ信ジマセヌ、仍テ私共ハ會社ヲ保護スル爲ニ特ニ此ノ脫法的、穴ノ明イテ居ル所ノ罰則ヲ作ツタトハ考ヘマセヌ、此ノ機會ニ於キマシテ之ヲ明ニシテ置キタイト思ヒマス

○紅露委員 政務次官カラ大分御叱リヲ受ケマシタガ、ソンナコトヲ言フナラ私モ申上ゲマス、次官ハ商法ニ規定ガアルカラ其ノ商法ヲバ準用シタノダト仰セラレルガ、ソレナラバ、ソレハ此ノ立法ノ趣旨ヲ履キ違ヘテ居ルト思フ、商法ニハ御承知ノ如ク保険法規ガアリマス、商行爲法會社法ガアリマス、デアルカラ商法ニ據ツテ、全部ヤツテ行クノナラバ何モ「保険業法」ト云フ特別ノモノヲ御制定ニナル必要ハナイ、保険業法ハ商法ニ依ツテハ十分ニヤツテ行ケナイカラ……即チ斯ウ云フヤウナ、特別法ヲ設ケル必要ガアレバ、コソ、吾々ハ今之ヲ審

議シテ居ルノデアリマス、次官ハ商法ニ據ツタノダカラ、完全無缺ダト……併シソシナコトナラバ、何故、會社法、商行爲法ニ全部御據リニナラヌノデアリマスカ、特別法ナルガ故ニ私ハ申上ゲルノデアル、換言セバ商法ノ規定ニ依ツテハ完全ニ保護モ出來ナケレバ監督モ出來ヌ……ソレデ折角斯ウ云フ特別法ヲ設ケルノダカラ、商法ヨリハモツト罰則ヲ嚴重ニシナケレバイカスト云フ風ニ私ハ申上ゲテ居ルノデアリマス、商工當局ガ特ニ拔ヶ穴ヲ掩ヘタトカ何トカ言ツテ居ルノデハナイ、私ハ先程モ言ツタヤウニ此ノ罰則ハ商工當局ガ御掩ヘニナツタモノノデハナク、罰則規定ガ完全ニナルヤウニ、司法省ニ持ツテ、行ツテヤツテ貫ツタト云フコトハ、能ク知ツテ居ル……ダカラ、今モ申シタヤウニ、此ノ席ニ司法省ノ政務次官ガオ出デニナルナラ此ノ點ヲ十分突込マウト思ツタノデス、アナタ方ヲ責ルノハ的違ヒデアルガ、何カノ機會ニ一ツ司法省ヘ御傳ヘ願ヒタイ……斯ウ云フ意味デス商工當局ガ惡イトカ、又商工當局ガ此ノ罰則ヲドウ斯ウシタト云フヤウナ意味デ質問シテ居ルノデハアリマセヌ、又次官ガサウ御立腹ニナル程強イ意味デ……即チ法案ノ權威ニ關スルト

云フヤウナ意味デ尋ネテ居ルノデハナイノ  
デス、ダガ世ノ實際ハ商法ニハ任シテ置ケ  
ヌノデス、デ斯ウ云フ特別法ヲ持ヘルノナ  
ラ、モツト嚴重ニシタ方ガ宜カツタノデハ  
ナイカト思フ、併シ商工當局ヲ御責スルノ  
ハ酷ナノデ、私ハ、司法次官ニ、モツト強  
イコトヲ申上ゲル積デアツタノデアリシテ、  
商工當局ヲ非難シテ居ルノデハアリマセヌ、  
法案ノ權威ニ關スルト云フ風ニ強ク取ラヌ  
ヤウ致シタイ、又罰則ハ商工當局ガ御持ヘ  
ニナツタノデナイト云フコトハヨク承知致  
シテ居ルノデアリマス、其ノ點ハヨク諒解  
致シテ居リマス、ソレカラモウ一ツニツ極  
メテ簡單ニ伺ツテ見タイト思ヒマス、茲ニ  
營業ノ全部又ハ一部ノ停止ト云フヤウナコ  
トガアルノデスガ、是ハドウ云フヤウナコ  
トヲオヤリニナルノデスカ、ソレカラ又一部  
停止サレタ場合ニ其ノ殘ツテ居ルモノ——  
私ハ業者デナク素人デ能ク分リマセヌガ、  
其ノ事業ハドウ云フ風ニヤツテ行ツタラ宜  
シイノデスカ、ソレカラモウ一ツ關聯シ  
テ……、免許ノ取消ト營業ノ禁止ト云フ風ニ  
分ケテ法文ガ書カレテアリマスガ、法文ヲ  
見マスト雙方トモ當然ニ解散スルコトニナ  
シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ效果上  
ノ差異ト申シマスカ、何處ガドウ違フノ

カ……先日業者ニ一度聽イテ見マシタケレ  
ドモ、皆ハツキリ判ツテ居ナイヤウデスカ  
ラ、當局カラ一ツ其ノ實際上ノコトヲ御説  
明願ツテ記録ニ止メテ置イテ戴キタイ  
○牧政府委員 事業停止ニ付キマシテハ前  
ニ御答シクト思ヒマスガ、如何デゴザイマ  
スカ、全部停止スル場合ハ御分リダラウト  
思ヒマスガ、一部ヲ停止スル場合ハ、例ヘ  
バ損害保險會社デ新規契約ヲ取ルコトヲ停  
止スル、併シ再保險ナドハ取ツテ宜イ場合  
モアルカト思ヒマスガ、サウ云フ例ヲ擧ゲ  
テ申シマスト同一資本系統ニ屬スル會社ガ  
其ノ會社ヲ救濟スルヤウナ意味ニ於テ、有  
利ナ再保險ヲ出スト云フヤウナ場合ハ、其  
ノ再保險ヲ引受ケルト云フヤウナ業務ハ停  
止シナイデモ宜イダラウト思ヒマス、サウ  
ノ次ノ御尋デアリマスガ、舊法時代ニ、法  
律施行前ノ保險會社ガゴザイマシテ、ソレ  
云フ場合ニ御諒承フ願ヒマス、ソレカラ其  
ノ次ノ御尋デアリマスガ、舊法時代ニ、法  
律施行前ノ保險會社ガゴザイマシテ、ソレ  
ハ營業ノ免許ト云フコトヲ致シテ居リマセ  
ヌ、隨テ舊法ニ於キマシテハ事業ノ禁止ト  
社ト看做スト云フコトニナツテ居リマスカ  
ラ、事業ノ禁止ト云フ言葉ヲ取ツタノデア

○田中委員長 一寸紅露君ニ御諸リシマス  
ガ、アナタノ質問ハモウ十分位デ濟ミマス  
カ

○紅露委員 十分デハ濟ミマセヌ、マダニ  
三點アリマス

○田中委員長 成ルベク早クヤツテ戴キタ  
イト思ヒマス

○紅露委員 ソレカラ一、保險料ノ低減ト  
云フコトニ付テ……時間モ遅イカラモウ一  
ツ茲ニ附ケ加ヘテ二、生命保險事業ノ合理  
化ヲ圖ルト云フニツノコトヲ、厚生大臣モ  
商工大臣モ言明サレテ居ルノデアリマスガ、  
實際政府ハドウ云フヤウナコトヲオヤリニ  
ナル御積リデアリマセウカ、ソレヲ一ツヅ  
ツ伺ヒタインデス

○牧政府委員 保險料引下ノ點ニ付キマシ  
テハ、本會議デ大臣カラ申上ゲテ居リマス  
ガ、其ノ要點ハ火災保險ニ付テ申上ダタ譯  
デアリマス、之ニ付キマシテハ火災保險料  
ヲ安クスルト云フコトノ必要、即チ一般ノ  
經濟ノ點カラ、火災保險料ヲ安クシテヤル  
必要ノアルコトハ當然デアリマス、併シ安  
クスルニ致シマシテモ、會社ガ立行カナク  
ナルヤウニナツテハイケナイ譯デアリマス  
カラ、ドウ云フ保險料ヲ決メタガ適正デア  
ルカト云フコトガ結局一番問題ニナラウト

思ヒマス、ソレデ目下危險分類統計表ヲ作  
成致シマシテ、最モ適正ナ保險料ヲ出スト  
云フコトニ努メテ居ル譯デアリマス、結局  
ソレ以上ニ保險料ヲ取ツテ居ルモノトスレ  
バ、ソレハ引下ゲルト云フコトニナル譯デ  
アラウト思ヒマス、生命保險ニ於キマシテ  
モ、色々此ノ委員會デ御議論ノゴザイマシタ  
不當競争ヲ防止スルトカ、或ハ其ノ結果ト  
致シマシテ、事業費ヲ制限スルトカ云フコ  
トニ致シマシテ、實際保險料ヲ安クスルヤ  
ウナ結果ヲ生ゼシムルト云フコトノ必要ハ  
アラウカト思ヒマス、具體的方法ト致シマ  
シテハ、今回ノ法律ガ改正セラレマスト、  
サウ云フコトニ資ベキ方法ヲ會社ニ指示  
致シマシテ、サウシテ監督シテ行クコトガ  
出來ルヤウニナルト考ヘテ居リマス、ソレ  
カラ保險會社ノ合理化ヲ圖ルニ、如何ナル  
方法ヲ考ヘテ居ルカト云フ譯デゴザイマス  
ガ、一番問題ニナルノハ、業績ガ餘り旨ク  
行カナイ、結局無理ナ募集ヲシテ、新契約  
費等ヲ澤山取ツテ居ルト云フヤウナモノニ  
對スル對策ガ、勿論一番問題デアラウカト  
考ヘマス、是等ノモノニ對シマシテハ、サ  
ウ云フ經濟ノ濫費ヲ來ス原因ニナルベキ事  
情ヲ指摘シマシテ、是等ヲ是正スルヤウニ

思ヒマス、ソレデ目下危險分類統計表ヲ作  
成致シマシテ、最モ適正ナ保險料ヲ出スト  
云フコトニ努メテ居ル譯デアリマス、結局  
ソレ以上ニ保險料ヲ取ツテ居ルモノトスレ  
バ、ソレハ引下ゲルト云フコトニナル譯デ  
アラウト思ヒマス、生命保險ニ於キマシテ  
モ、色々此ノ委員會デ御議論ノゴザイマシタ  
不當競争ヲ防止スルトカ、或ハ其ノ結果ト  
致シマシテ、事業費ヲ制限スルトカ云フコ  
トニ致シマシテ、實際保險料ヲ安クスルヤ  
ウナ結果ヲ生ゼシムルト云フコトノ必要ハ  
アラウカト思ヒマス、具體的方法ト致シマ  
シテハ、今回ノ法律ガ改正セラレマスト、  
サウ云フコトニ資ベキ方法ヲ會社ニ指示  
致シマシテ、サウシテ監督シテ行クコトガ  
出來ルヤウニナルト考ヘテ居リマス、ソレ  
カラ保險會社ノ合理化ヲ圖ルニ、如何ナル  
方法ヲ考ヘテ居ルカト云フ譯デゴザイマス  
ガ、一番問題ニナルノハ、業績ガ餘り旨ク  
行カナイ、結局無理ナ募集ヲシテ、新契約  
費等ヲ澤山取ツテ居ルト云フヤウナモノニ  
對スル對策ガ、勿論一番問題デアラウカト  
考ヘマス、是等ノモノニ對シマシテハ、サ  
ウ云フ經濟ノ濫費ヲ來ス原因ニナルベキ事  
情ヲ指摘シマシテ、是等ヲ是正スルヤウニ

セシムルコトハ、今後出來ルヤウニ考ヘテ  
居リマス、ソレカラ業績惡化ノ原因トシマ  
ス、ソレハ先程モ一寸觸レテ置キタイト思ヒ  
シテ、各會社個々ノヤリ方カラ生ズルモノ  
バ、此ノ「規定」ハ幾多ノ「行政命令」ガ、大  
ニ付キマシテハ、今申上ダタヤウナ方法デ  
アラウト思ヒマスガ、此ノ相互關係ト申  
行ケルノデアリマスガ、シマスノハ、競爭關係等カラ生ズル業績ノ  
惡化ト云フモノニ對シマシテハ、先程モ度々  
御尋ガアリマシタノデゴザイマスガ、不  
當競争ヲ防止スルト云フコトニ依リマシテ、  
致シマシテ、事業費ヲ制限スルトカ云フコ  
トニ致シマシテ、實際保險料ヲ安クスルヤ  
ウナ結果ヲ生ゼシムルト云フコトノ必要ハ  
アラウカト思ヒマス、具體的方法ト致シマ  
シテハ、今回ノ法律ガ改正セラレマスト、  
サウ云フコトニ資ベキ方法ヲ會社ニ指示  
致シマシテ、サウシテ監督シテ行クコトガ  
出來ルヤウニナルト考ヘテ居リマス、ソレ  
カラ保險會社ノ合理化ヲ圖ルニ、如何ナル  
方法ヲ考ヘテ居ルカト云フ譯デゴザイマス  
ガ、一番問題ニナルノハ、業績ガ餘り旨ク  
行カナイ、結局無理ナ募集ヲシテ、新契約  
費等ヲ澤山取ツテ居ルト云フヤウナモノニ  
對スル對策ガ、勿論一番問題デアラウカト  
考ヘマス、是等ノモノニ對シマシテハ、サ  
ウ云フ經濟ノ濫費ヲ來ス原因ニナルベキ事  
情ヲ指摘シマシテ、是等ヲ是正スルヤウニ

居リマス、ソレカラ業績惡化ノ原因トシマ  
ス、ソレハ先程モ一寸觸レテ置キタイト思ヒ  
シテ、各會社個々ノヤリ方カラ生ズルモノ  
バ、此ノ「規定」ハ幾多ノ「行政命令」ガ、大  
ニ付キマシテハ、今申上ダタヤウナ方法デ  
アラウト思ヒマスガ、此ノ相互關係ト申  
行ケルノデアリマスガ、シマスノハ、競爭關係等カラ生ズル業績ノ  
惡化ト云フモノニ對シマシテハ、先程モ度々  
御尋ガアリマシタノデゴザイマスガ、不  
當競争ヲ防止スルト云フコトニ依リマシテ、  
致シマシテ、事業費ヲ制限スルトカ云フコ  
トニ致シマシテ、實際保險料ヲ安クスルヤ  
ウナ結果ヲ生ゼシムルト云フコトノ必要ハ  
アラウカト思ヒマス、具體的方法ト致シマ  
シテハ、今回ノ法律ガ改正セラレマスト、  
サウ云フコトニ資ベキ方法ヲ會社ニ指示  
致シマシテ、サウシテ監督シテ行クコトガ  
出來ルヤウニナルト考ヘテ居リマス、ソレ  
カラ保險會社ノ合理化ヲ圖ルニ、如何ナル  
方法ヲ考ヘテ居ルカト云フ譯デゴザイマス  
ガ、一番問題ニナルノハ、業績ガ餘り旨ク  
行カナイ、結局無理ナ募集ヲシテ、新契約  
費等ヲ澤山取ツテ居ルト云フヤウナモノニ  
對スル對策ガ、勿論一番問題デアラウカト  
考ヘマス、是等ノモノニ對シマシテハ、サ  
ウ云フ經濟ノ濫費ヲ來ス原因ニナルベキ事  
情ヲ指摘シマシテ、是等ヲ是正スルヤウニ

居リマス、ソレカラ業績惡化ノ原因トシマ  
ス、ソレハ先程モ一寸觸レテ置キタイト思ヒ  
シテ、各會社個々ノヤリ方カラ生ズルモノ  
バ、此ノ「規定」ハ幾多ノ「行政命令」ガ、大  
ニ付キマシテハ、今申上ダタヤウナ方法デ  
アラウト思ヒマスガ、此ノ相互關係ト申  
行ケルノデアリマスガ、シマスノハ、競爭關係等カラ生ズル業績ノ  
惡化ト云フモノニ對シマシテハ、先程モ度々  
御尋ガアリマシタノデゴザイマスガ、不  
當競争ヲ防止スルト云フコトニ依リマシテ、  
致シマシテ、事業費ヲ制限スルトカ云フコ  
トニ致シマシテ、實際保險料ヲ安クスルヤ  
ウナ結果ヲ生ゼシムルト云フコトノ必要ハ  
アラウカト思ヒマス、具體的方法ト致シマ  
シテハ、今回ノ法律ガ改正セラレマスト、  
サウ云フコトニ資ベキ方法ヲ會社ニ指示  
致シマシテ、サウシテ監督シテ行クコトガ  
出來ルヤウニナルト考ヘテ居リマス、ソレ  
カラ保險會社ノ合理化ヲ圖ルニ、如何ナル  
方法ヲ考ヘテ居ルカト云フ譯デゴザイマス  
ガ、一番問題ニナルノハ、業績ガ餘り旨ク  
行カナイ、結局無理ナ募集ヲシテ、新契約  
費等ヲ澤山取ツテ居ルト云フヤウナモノニ  
對スル對策ガ、勿論一番問題デアラウカト  
考ヘマス、是等ノモノニ對シマシテハ、サ  
ウ云フ經濟ノ濫費ヲ來ス原因ニナルベキ事  
情ヲ指摘シマシテ、是等ヲ是正スルヤウニ

カラ、又カト思召スカモ知レマセヌケレドモ、實ハ、一昨年ノ總選舉ノ、跡始末ノ爲ニ「選舉處理委員」ト云フモノガ我黨ニ出来マシテ、名川侃市君、牧野良三君、私等デ、日本全國ヲ廻ツタノデアリマスガ、其ノ時ニ、大野伴陸君ノ選舉區ニ起ツタ事件デ、同君ノ選舉區ノ「關」ト云フ警察署ノ事件デス、林内閣ガ解散ヲ斷行シタ時デアリマスガ、其ノ際ニ時ノ内務當局ガ今度ノ選舉ハドシノヤレ、強クヤレ、苟モ違反ノアウタ者ニハドシノヤレト云フヤウナ「命令」ガ……警保局長ノ名デ出タラシイ、ソレ履違ヘマシテ關警察署デハ斯ウ云フ事件ガ持チ上ツタノデス、「本部」ニ電報ガ來マシタノデ私モ大ニ驚イテ急行シタノデアリマスガ、實情ハ斯ウデシタ、岐阜縣デハ「赤誠一票裏權スルナ」ト云フ、五十錢玉位ナ金屬ニ印刷シテ門表ノ傍ニ貼ラシタサウデアル、所ガ其レヲ配布スベク「戸長」ガ「ソレ」ヲ封筒ニ入レテ、自分ノ子供ノ、尋常小學校へ通ツテ居ル者ニ配ラシタ、ソレガ何處カラドウ間違ヘ傳ヘラレタカ、誰ガ授書シタノカ、戸長ガ五十錢玉ヲ入レテ皆ヲ買收シテ廻ツタト云フコトガ、傳ヘラレタ、ソレデ關警察署ノ警部補カ巡査部長カ忘レタガ、「ソレ

タ」處五十錢玉カ、ナンカ、知ラヌケレドモ、是レノは配ツタ」ト云フコトヲ話シタ、サウスルト又「ソレツ」ト云フノデ、無論「承諾留置」デスケレドモ叩込ンデシマツタ、所ガ、買收サレタコトハナイカラ、一同頑強ニ言ヒ張ル「此ノ野郎不都合ダ」ト云フノデ、今度ハ其ノ妻女連ヲ皆連レテ來テ、宿屋ヘ「承諾留置」シテ、サウシテ自白ヲ強要シテ居ツタ、シカシ、其ノ子供ノ言フコトト「陳述」ガ合ハヌモノダカラ、遂ニ其ノ十一、二歳ニナル子供ヲバ數日間警察ニ留メテ置イタノデス、併シ泣クモノデスカラ、誣方ナク繪本ト帽子ヲバ巡査カ刑事カガ買與ヘテニ一日間警察署ニ留置シテ置イテギュ～

責スマラシイデス、所ガ主人ハ引括クラレテハ居リマスケレドモ、實際五十錢玉ヲ貰ツタコトハナイノデスカラ、妻女達ハ誰モ白狀シナイノデス「是モ不都合ダ」ト云フノ最モ悲慘ナ事實ノ一デアリマシテ、警部マスガ、私共ガ體驗シタ選舉ノ跡始末ノ中ノ最モ悲慘ナ事實ノ一デアリマシテ、警部ニ會ヒ、檢事ニ會ヒ、巡査ニ會ヒ、何故、斯ノカ冷イモノガ走ツタノヲ感ジタノデアリマスガ、私共ガ體驗シタ選舉ノ跡始末ノ中ノ法案ノ九十九條、其ノ他所定ノ幾多ノ「命令」ヲ出ス時ニハ、是非トモ「諸問委員會」ニ掛

カ、吾々ガ選舉對策ヲ講ジ、選舉法ヲ審議スル時ニ於テ、参考ニナルカラ事實ヲ言ツテ吳レト云フノデ調ベタ人ヨリ聞イタノダ云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、時間ガアリマセヌカラ之デ止シマスガ、政府ハ、

云フモノヲ掛けナイカ、ト云フコトハ、質問シマセヌガ一ツ賢明ナル皆サンノ御判断ニ依ツテ、誤ナキヲ期シテ戴キタイト思ヒマス、更ニ第二ノ「警告」ト申シマスカ御注意ヲ申上ゲマス、私ハ一、決シテ業者ノミヲ攻撃スル譯デハアリマセヌ、又二、商工當局ヲ非難スル譯デモナク三、契約者ハ全部善良ナリトハ申シマセヌ、併シ兎モ角、先程申上ゲタコトヲ繰返スヤウデ、アリマスケレドモ、議會ニ於テハ、本會議、委員會ニモ國營……公營ト云フヤウナ問題ガ現ハレテ居ル、現ニ此處ニ居ラレル小池君ヤ學者モ評論家モ之ヲ論ジテ居ル、サウスルト是等ハ、私ハ現代ノ輿論ト言ツテモ宜イカト思フノデス、斯ウ云フ風ニ輿論ガアルニモ拘ラズ、商工當局ノ答辯デハ「是カラ御研究ヲ御續ケニナルノダ」、「今ハ國營ノ意思ハナイノダ」ト言ハレルシ、又他ノ各省ヘモ御相談ナスツタト云ハレルカラ、各省ノ委員ニ此席ヘ御出席ヲ願ツテ御聽キシテ見マシテモ、唯、厚生省デハ「評議ニ上ツタケレドモ、マア／＼此ノ法案デ宜力ラウ」、「國營……公營ハ當分ヤラナイト云

フ結論ニ達シタノダ」ト言ツテ居ラレマス  
ガ、併シ、茲ノ點ヲ私ハ能ク考ヘテ戴キタ  
イト思フノデアリマス、即チ吾々ハ幾多ノ  
實例ヲ見テ參ツテ居ルノデアリマス「選舉  
法ノ改正案」ガソレデアリマス、我黨ノ鐵  
腕宰相ト言ハレタ、原サンハ、力ヲ以テ政  
治ヲ斷行シヨウト決意シ、普通選舉尙早ナリ  
トシテ解散モ斷行セラレタ、中選舉區、小  
選舉區ノ爭ノアル時ニ、小選舉區、可ナリ  
トシテ之亦解散モ斷行シタ、サウシテ遂ニ  
二百七十餘名ト云フ絶對多數ヲ獲得シテ見  
タ、併シ是モ東ノ間デ、ヤハリ輿論ニハ勝  
テナカツタ、普通選舉八日ナラズシテ實施  
サレタ、デアルカラ、私ハ此ノ輿論、此ノ  
國營ト云フ叫ビヲ、アナタ方ノ手ニ依ツテ  
此ノ法案中ニ、何等カ、少シモ織込ンデ戴  
キタカツタノデアリマス、政府ハサウ云フ  
風ニ立法ナサツタト、仰セラレルケレドモ、  
遺憾ナガラ私共ニハサウ云フヤウナ點ガ發  
見出來ナイノデアリマス、又例ヲ明治維新  
ノ時ニ取リマシテモ、私ハサウダト思ヒマ  
ス、徳川幕府ガ三百百年ノアノ歴史ヲ誇ツテ  
居ツタト言フコトト……業者ガ數十年間、  
保険業界ノ爲ニ、今日マデ努力セラレテ、  
今日ノ盛大ヲ爲シテ來タト云フコトヲ比較  
シ其ノ努力ハ十分認ヌナケレバ、ナラヌト

思フノデアリマスケレドモ……木戸、久保、西郷ト云フヤウチ人ガ「幕府ハ膺懲スペシ」、「皇室中心ノ政治デ行カウ」、「吾々ノ手ニ政治ヲ取返ヘセ」ト云ヒ出シタ時ニハ、殆ド「輿論」ニモ伺ニモナラヌト思ツタケレドモ、ヤハリ國民大衆ノ共鳴ガ出テ來タ時ニハ其ノ力ニハ勝テナカツタ、ソシテ遂ニ明治維新ハ確立サレテ徳川幕府ハ亡ビタノデス、併シアノ當時勝安房ガ居タト云フコトヲ、商工當局ニハ是非トモ御考慮ヲ願ハナケレバナラヌノデス、即チ業者ヲ潰ス必要ハナイ、契約者モ保護シテヤラナケレバナラヌ、何故商工當局ハ此ノ際勝安房ニナラヌノカ、申ス迄モナクアノ時西郷ハ官軍ヲ率イテ江戸ニ攻込シテ來タ、若シ亞ノ時ニ勝安房ガ居ナカツタナラバ、江戸市中モ江戸城モ燒拂ハレテ居ツタカモ知レヌ、更デアリナガラ、西郷ニアノ江戸城ヲ明渡シテ居ル、而シテ是ノコトハ當時、非難ハアツタガ、今日勝安房ヲ有名ナ豪傑トシテ賞讃サセル原因ニナツテ居リマス、私ハ矢野社長ノ「パンフレット」ノ中ニ「轉ンデハ起

トハ言ヒナガラ、國賊呼ハリ見タイナコト  
ヲ云ハレルノハ、心外ダ」ト云フヤウナ  
意味ノコトヲ述ベラレテ居ルノヲ讀ミマシ  
タコトヲ思ヒ出シマシタガ、業者ノ今日マ  
デノ努力ト云フコトハ、是ハ認ヌナケレバ  
コトガ殆ド輿論ニナリ掛ツテ居ルノデアリ  
ナラヌト思フ、併シ今日ハ少クトモ契約者  
ヲ保護スルニハ、國營ガ宜イト云フヤウナ  
正ヲナサルナラバ、商工省ハ進シテ勝安房  
トナリ、業者ヲ活カシ、又契約者ヲ活カス  
ト云フヤウナ立法ヲ、モウ少し、強ク、ヤ  
ツテ戴キタカツタノデアリマス、併シナガ  
ラ私ノ見解ガ狹イノデゴザイマセウカ、私  
ノ見ル所デハ商工省ハ勝安房ニナリ得ズシ  
テ、ヤハリ「私營保險」ト云フコトニ落付イタ  
ノデアリマス、願クハ此ノ輿論ヲ無視セズ  
シテ、將來御研究ニナルト云フノデアリマ  
スカラ、公營保險ト云フコトニ付テモ、御  
留意下サランコトヲ切望致シマシテ、私ノ  
其ノ餘ノ質問ハ打切りマスガ、最後ニ吳レ吳  
レモ御願致シテ置クコトハ、ドウカ「命令」  
ヲ發動スル前ニハ「諮問委員會」ト申シマ  
スカ「顧問會議」ト申シマスカ、御極リノモ  
ノニ十分御諮詢ヲ願ヒマシテ、萬已ムヲ得  
ザル場合デナケレバ、無暗ニ「命令」ヲ發動

セヌヤウニ切望致シマシテ、甚ダ委員諸君ニ御迷惑ヲ掛ケマシタ……長クナリマシタガ、是デ打切りマス

○田中委員長　此ノ場合皆サンニ御諸リガアリマス、尙ホ關聯質問ヲ保留サレテ居ル方ガアリマスガ、此ノ場合質問ヲ打切ルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異譜ナシ〕ト呼フ者アリ  
○田中委員長 ソレデハ全部打切ルコトニ  
致シマス、是ヨリ直チニ討論ニ入りタイト  
思ヒマス、討論通告者ガアリマスカラ、順  
次之ヲ許可スルコトニ致シマス——木村淺

本法律案ニ對シマシテ原案ノ儘贊成ノ意ヲ表スルモノデアリマス、唯一言附加ヘテ置キタイコトハ、本法案ハ保險事業會社ノ現狀ニ鑑ミマシテ、政府ノ監督命令ノ規定ヲ整備スル、尙又進ンデ勸告命令ヲ發スルコトガ出來ル、而シテ此ノ改正法案ノ重點ハ、事業經營ニ關スル統制規定ヲ設ケテ、業界ノ革新ヲ圖ツテ行クコトデアルト思フノデアリマスガ、是ハ現在ノ事業界ノ現狀ノ鑑ミマシテ、洵ニ適切ナル改正案ダト考ヘルノデアリマス、併シナガラ此ノ法案ノ改正ガ傳ハルヤ、世間ニハ色々「デマ」ガ飛

シテ、「デマ」ノ飛ブト云フコト自體ガ、既ニソレダケ事業會社ノ方自體ニ、改善ヲ加フベキモノガ伏在シテ居ルノデハナイカト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、併シナガラ是等ノ監督指導ニ當リマシテハ、事業會社ノ經營ニ影響スルコトガ甚大タト思ヒマス、又保險事業ノ性質カラ鑑ミマシテ、社會公益ニ重大ナル關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ法案ノ運用ニ當リマシテハ、政府委員ノ方カラモ縷々御説明ハアツクナリマス、併シナガラ單ニ一事業會社ヲ救濟スルガ爲ニ、社會公益ヲ害シ、多數ノ被保險者ヲ害スルト云フヤウナコトハ、政府トシテモ餘程考ヘテ貰ハナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ法案ノ運用ニ當ツテハ慎重ナ態度ヲ執ルト共ニ、非常ナ御決心モ必要ダト考ヘルノデアリマス、殊ニ統制協定ニ關スル規定ガアルノデアリマスルガ、事業會社ノ事業相互間ノ改善ト云フコトニ付テ、非常ニ重要ナ關聯ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス、就キマシテハ此ノ事業協定

ト云フコトニ付テ、自治的ニ事業ニ關スル  
不當ノ競争ヲ除去スルコトヲ研究セシムル  
コトハ勿論デアリマスルガ、政府自體ガ現  
在ノ保険事業ノ經營ニ鑑ミマシテ、此ノ事  
業經營ニ關スル所ノ統制協定ニ付キマシテ  
ハ、指導的ノ立場ニ立ツテ、此ノ統制ニ依  
ツテ經營ニ於ケル所ノ不當競争ヲ除去スル  
コトハ、保険事業ノ改良ニ寄與スル所ガ大  
キイト思フノデアリマスカラ、此ノ點ニ關  
シマシテモ深甚ナ考慮ヲ拂ヒマンテ、適當  
ナル運用ヲセラレンコトヲ希望致シマシテ、  
全部本案ニ贊意ヲ表スル者デアリマス  
○田中委員長 西川貞一君

○西川委員 私ハ立憲政友會ヲ代表致シマ  
シテ、本案ニ贊成ノ意見ヲ述ペマス、本案  
ハ其ノ内容ガ極メテ重大デアリマスノミナ  
ラズ、是ハ近年世上ノ輿論トナツテ居リマ  
ス保険國營問題ニ對スル消極的理由トデモ  
申シマスカ、現在ノ營利主義又ハ民營ノ保  
險事業ニ於テハ諸種ノ弊害ガアルノデ、之  
ヲ國營ニシナクテハナラナイト云フ意見ニ  
對シテ、當局ハ此ノ案ニ依ツテソレ等ノ弊害  
ヲ除去スルコトヲ約束サレタノデ、其ノ意  
味ニ於テ極メテ重大性ヲ持ツテ居ルト思フ  
ノデアリマス、隨て本法ノ施行ニ依ツテ、  
現在ノ民營保険事業ノ弊害ガ除去サレ得ル

ヤ否ヤト云フコトハ、我國保險事業ノ將來ニ  
非常ニ大キナ影響ヲ持ツモノデアリマスガ故  
ニ、當局ハ其ノ運用ニ對シテ最モ慎重ヲ期  
セラレル必要ガアルト思フノデアリマス、而  
モ本法ニ依リ監督ノ規定等ガ、法文ノ上ニ於  
テハ強化サレテ居リマスケレドモ、實際ニ御  
監督ニナル際ニ於テ、政府當局ノ機關ガ十分  
ニ備ツテ居ルカ否カト云フ點ニハ、多大ノ  
疑問ガアル、隨テ當局ノ主觀的ナ意圖ハ飽  
クマデ善良デアルニ致シマシテモ、客觀的  
事實ニ於テ諸種ノ缺陷ガ生ズルコトヲ、吾  
吾ハ危惧セザルヲ得ナイノデアリマス、現  
ニ現在保險事業ノ弊害中最モ大デアル所ノ  
外務員ノ取締等ニ關シマシテ、重要ナル法  
文ノ規定ガ殆ド空文ニ化シテ居ツテ、其ノ  
取締ノ目的ハ達成サレザルノミナラズ、違  
反者ニ對スル制裁規定ノ如キハ、全然發動  
サレタコトノナイヤウナ事實ニ鑑ミマスル  
時ニ、此ノ法律ノ成立ト共ニ、之ニ伴フ當  
局ノ監督ヲ行ハレマスル實際機關ノ整備ニ  
付テ、吾々ハ注意ヲ促サザルヲ得ナイノデ  
アリマス、此ノ點ニ付キマシテ我黨ト致  
マシテハ、現ニ產業組合ガ自治監査制度ヲ  
設ケテ居リマスルガ如ク、保險業者ノ自治  
監査機關ノ如キモノヲ設ケテ、自治的ニ弊  
害ノ除去ニ努メマスルト共ニ、特ニ本法案

ノ重要ナル一つノ規定デアリマス協定等ノ違反防止ニ付テモ、斯ル制度ガ必要デハナイカト考ヘルノデアリマス、世上論議ノ中心トナツテ居リマス國營問題ニ關シマシテハ、事ノ重大性ニ鑑ミマンテ、更ニ慎重ナル用意ノ下ニ研究ヲ續ケラレンコトヲ希望スル者デアリマス、我黨ト致シマシテハ、當局方保険業者ノ保有致シテ居リマスル資金運用ノ利廻ノ低下ヲ成ベク防止致シマシテ、之ニ依ツテ保険契約者ノ利益ヲ損セザルベク深甚ナル考慮ヲ拂ツテ居ラマスノデ、其ノ點ニ對シテハ深ク共鳴ヲ致スマシテハ、尙ほ大イニ傾聽スル點モ多々アルノデゴザイマスカラ、引續キ慎重ナル態度ノ下ニ研究ヲ續ケラレンコトヲ希望スル者デゴザイマス、以上諸點ノ希望意見ヲ述べマシテ、本案ニ賛成スル者デアリマス  
○田中委員長 小池四郎君  
○小池委員 私ハ原案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス、本法案ノ目的ハ、言フマデモナク保険業ノ健全化ヲ圖ラウトスル所ニアルノデアリマスルガ、本來保険業ノ積弊ト云フモノハ、相當根強イモノデアリマシテ、一監督法令ヲ以テ其ノ積弊ヲ芟除スルコトハ、

リマス、此ノ保険業界ノ積弊ト云フモノヲ根本カラ匡シマシテ、其ノ健全化ヲ徹底致シマスル爲ニハ、最早今日ニナリマシテハ、其ノ目的ヲ達成スルコトハ出來ナイト云フマデニ至ツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、今日ノ儘ノ經營形態ヲ存續セシムテ監督スルト云フコトニ止ラズシテ、當局ハ直チニ經營形態ヲ何等カノ形ニ變ヘルコトニ依ツテ、積年ノ積弊ヲ芟除スルト云フ方向ニ急イデ御研究ヲ願ヒタイト云フコトヲ申添ヘテ置キマス、經營形態ヲ變ヘルト申シマシテモ、必ズシモ私ハ國營ヲ指スモノデハナイノデアリマシテ、各種ノ新シキ形態ガ考へ得ラレルモノト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテモ十分ナ御研究ヲ願ヒタイト云フコト申添ヘテ置キマス

カラ申シマスルト、本法律ノ監督力ヲ發動致シマスルニ餘リニ怯懦デアリマスルナラバ、本法ノ制定ハ、制定セザルト同ジコトニナル憾ミガ残ルノデアリマス、言フマデモナク、保険業界ト云フモノハ、日本ノ財界ノ中ニアリマシテ非常ナ威力ヲ持ツテ居ル財界デアリマシテ、トモスレバ商工當局ヲ威壓スルダケノ力モアルノデハナイカト思ハレル節ガアルノデアリマス、此ノ巨大ナ威力ノ前ニ、逆ニ當局ガ此ノ監督力ヲ持チナガラ屈服スルヤウナコトガアリマスナラバ、本法ヲ審議シ、本法ヲ通過シタ意義ト云フモノハ殆ド沒却サレルト云フコトモ、一面又考ヘラレルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマスルナラバ、當局ハ此ノ監督力ヲ嚴正ナ立場ニ立ツテ、相當勇敢ニ發動ナサルコトモ御勧メシテ置カナケレバナラヌノデアリマス、以上申上ゲマシテ贊成ノ意ヲ表シマス。

○田中委員長 中村高一君

○中村委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ本案ニ對シマシテノ意見ヲ一言附加致シテ置キタイト思フノデアリマス、業界ノ改革ト云フモノハ此ノ法律ニ依ツテ完全ナ目的ヲ達スルコトノ出來ナイト云フコトハ、私モ他ノ諸君ト同ジヤウニ考ヘテ居ルノデ

アリマスルガ併シ本案ノ目的ト致シテ居リ  
マスル所ハ、極メテ結構ナノデアリマスカ  
ラ、私ハ業界ニ多少ノ動搖ガアリマシテモ、  
政府ハ此ノ法律ガ實施ニナリマシタナラバ、  
積極的ニ此ノ法律ヲ運用セラレルコトガ宜  
イノダト思フ、業界ニ迷惑ヲ掛ケテハイケ  
ナイト云フ御意見モアリマシタナラバ、  
ノ中ナラバ私ハ迷惑ガ掛ラヌヤウニ整理モ  
併合モ、或ハ調整モ出來ルト思フノデスガ、  
ヒドクナツテ來テカラ此ノ法律ヲ適用スル  
ト云フコトニナツタナラバ、ソレニハ私ハ契  
約者ニモ業者ニモ迷惑ヲ掛ケルト思フ、法  
律ノ適用ハヒドクナラナイ中ニコソ其ノ效  
果ト云フモノガ發揮出來ルノデアリマス、  
ヲ持タレルノデアツタナラバ、私ハコンナ  
法律ハ要ラヌト思フ、斯ウ云フ法律ガ出來  
マシタコトハ既ニ弊害ノアルト云フコトヲ  
十分政府ハ考ヘテ出サレテ居ルノデアリマ  
スカラ、此ノ法律ヲ積極的ニ運用スルコト  
コソガ、業者ノ爲ニモ契約者ノ爲ニモ、私  
ハ適切ナリト考ヘマシテ、思ヒ切ツテ政府  
ハ法律ノ運用ニ當ラレタイト云フコトヲ強  
ク希望致シテ置キマス、意見ヲ色々申上ゲ  
マスルト、長クナリマスカラ、簡條的ニ私  
ノ希望意見ヲ附加致シマシテ、本案ニ賛成

ヲ致シタイト思フノデアリマス

希望條項

一、政府ハ速カニ生命保険ノ國營ヲ斷行  
スペシ

一、政府ハ保険業法改正ノ趣旨ニ則リ保  
險業者ノ不當ナル競争ヲ防止シ經營ノ  
合理化ノタメ積極的ニ實現ヲ期スベシ

一、政府ハ社會保険制度ヲ擴充整備シ老  
廢者、孤児、寡婦、失業者等ノ保護ノ  
タメノ政策ヲ樹立スベシ

此ノ希望意見ヲ附シマシテ本案ニ賛成致ス

次第デアリマス

○田中委員長 討論ハ終了致シマシタ、採  
決致シタイト思ヒマスガ、之ニ御異議アリ  
マセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○田中委員長 是ヨリ採決致シマス、保險  
業法改正法律案、賛成ノ諸君ノ起立ヲ望ミ  
マス

〔總員起立〕

○田中委員長 滿場一致本案ハ可決セラレ  
マシタ、尙ホ木村君、西川君、小池君、中  
村君ヨリ御述ベニナリマシタ御意見御希望  
ノ主ナル點ハ御意見ト承ツテ、本會議デ私  
ヨリ報告スルコトニ致シタイト思ヒマス——  
一寸此ノ機會ニ御挨拶ヲ申上ゲタイト思ヒ

マス、保険業法改正法律案が此ノ委員會ニ  
付託サレマシテカラ、連日皆様ノ極メテ熱  
心ナ且ツ慎重ナル御意見又御質問ヲ致サレ  
マシテ、圓滿ナル結果ニ到達スルコトヲ得  
マシタコトハ、深ク私ヨリ感謝致ス所デア  
リマス、尙ホ大過ナク此ノ會ヲ済スヲ得マ  
シタコトヲ併セテ厚ク御禮ヲ申上ゲマス、  
是ニテ本會ヲ閉ヅルコトニ致シマス(拍手)  
午後五時散會

昭和十四年三月八日印刷

昭和十四年三月九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局